ISSN 2186-7763

# おきなわ薬剤師会報

No.316.　2023(令和5年)　1・2月号

沖縄県薬剤師会

# 薬剤師行動規範

昭和43年８月26日　薬剤師倫理規定制定
平成９年10月24日　薬剤師倫理規定改定
平成30年１月17日　薬剤師行動規範制定

**薬剤師は、国民の信託により、憲法及び法令に基づき、医療の担い手として、人権の中で最も基本的な生命及び生存に関する権利を守る責務を担っている。この責務の根底には生命への畏敬に基づく倫理が存在し、さらに、医薬品の創製から、供給、適正な使用及びその使用状況の経過観察に至るまでの業務に関わる、確固たる薬（やく）の倫理が求められる。**

**薬剤師が人々の信頼に応え、保健・医療の向上及び福祉の増進を通じて社会に対する責任を全うするために、薬剤師と国民、医療・介護関係者及び社会との関係を明示し、ここに薬剤師行動規範を制定する。**

## １．任務

薬剤師は、個人の生命、尊厳及び権利を尊重し、医薬品の供給その他薬事衛生業務を適切につかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活を確保するものとする。

## ２．最善努力義務

薬剤師は、常に自らを律し、良心と他者及び社会への愛情をもって保健・医療の向上及び福祉の増進に努め、人々の利益のため職能の最善を尽くす。

## ３．法令等の遵守

薬剤師は、薬剤師法その他関連法令等を正しく理解するとともに、これらを遵守して職務を遂行する。

## ４．品位及び信用の維持と向上

薬剤師は、常に品位と信用を維持し、更に高めるように努め、その職務遂行にあたって、これを損なう行為及び信義にもとる行為をしない。

## ５．守秘義務

薬剤師は、職務上知り得た患者等の情報を適正に管理し、正当な理由なく漏洩し、又は利用してはならない。

## ６．患者の自己決定権の尊重

薬剤師は、患者の尊厳と自主性に敬意を払うことによって、その知る権利及び自己決定の権利を尊重して、これを支援する。

**7．差別の排除**

薬剤師は、人種、ジェンダー、職業、地位、思想・信条及び宗教等によって個人を差別せず、職能倫理と科学的根拠に基づき公正に対応する。

**8．生涯研鑽**

薬剤師は、生涯にわたり知識と技能の水準を維持及び向上するよう研鑽するとともに、先人の業績に敬意を払い、また後進の育成に努める。

**9．学術発展への寄与**

薬剤師は、研究や職能の実践を通じて、専門的知識、技術及び社会知の創生と進歩に尽くし、薬学の発展に寄与する。

**10. 職能の基準の継続的な実践と向上**

薬剤師は、薬剤師が果たすべき業務の職能基準を科学的原則や社会制度に基づいて定め、実践、管理、教育及び研究等を通じてその向上を図る。

**11. 多職種間の連携と協働**

薬剤師は、広範にわたる業務を担う薬剤師間の相互協調に努めるとともに、他の医療・介護関係者等と連携、協働して社会に貢献する。

**12. 医薬品の品質、有効性及び安全性等の確保**

薬剤師は、医薬品の創製から、供給、適正な使用及びその使用状況の経過観察に至るまで常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努め、また医薬品が適正に使用されるよう、患者等に正確かつ十分な情報提供及び指導を行う。

**13. 医療及び介護提供体制への貢献**

薬剤師は、予防、医療及び介護の各局面において、薬剤師の職能を十分に発揮し、地域や社会が求める医療及び介護提供体制の適正な推進に貢献する。

**14. 国民の主体的な健康管理への支援**

薬剤師は、国民が自分自身の健康に責任を持ち、個人の意思又は判断のもとに健康を維持、管理するセルフケアを積極的に支援する。

**15. 医療資源の公正な配分**

薬剤師は、利用可能な医療資源に限りがあることや公正性の原則を常に考慮し、個人及び社会に最良の医療を提供する。

**・表 紙**

**題字：豊平峰雲**（とよひらほううん）

**「イタリアの薬局」** photo by **成川 玲子**（有限会社成和興産）

薬局外壁の杯は「ヒュギエイアの杯」。ギリシア神話に登場する医神アスクレピオスの娘ヒュギエイアが持っていた蛇が巻きついた杯とされている。世界的に、アスクレピオスの杖が医学のシンボルとして用いられるのに対し、このヒュギエイアの杯は、薬学のシンボルとして用いられることが多い。

# ／目／次／


| | | | |
|---|---|---|---|
| 薬剤師行動規範 | | | |
| 年頭挨拶 | 新年のご挨拶 | 前濱 朋子 | （3） |
| | 新年ご挨拶 | 山本 信夫 | （4） |
| | 新年のあいさつ | 糸数　公 | （5） |
| | 令和5年年頭所感 | 本田 顕子 | （6） |
| | 新年にあたって | 神谷 政幸 | （7） |
| | 年頭ご挨拶 | 國場 幸之助 | （8） |
| | ご挨拶 | 宮﨑 政久 | （9） |
| | 新年のご挨拶 | 島尻 安伊子 | （10） |
| | 年頭のご挨拶 | 西銘 恒三郎 | （11） |
| | 年頭のごあいさつ | 比嘉 奈津美 | （12） |
| | 新年のご挨拶 | 古謝 玄太 | （13） |
| | 年頭の挨拶 | 松本　純 | （14） |
| | 年頭ご挨拶 | 渡嘉敷 奈緒美 | （15） |
| | 新年のご挨拶 | 新垣 淑豊 | （16） |
| 祝賀会 | 令和2年度・令和3年度・令和4年度 薬事功労受賞者合同祝賀会開催 | 伊江 朝士 | （18） |
| | ・・・令和2年度・令和3年度・令和4年度受賞者プロフィール | | （21） |
| トピックス | 日本薬剤師会・都道府県薬剤師会・地域薬剤師会<br>抗原定性検査キットの販売体制の整備・充実に関する意見交換会 | 吉田 典子 | （48） |
| 転載記事 | 検査キットと市販薬の常備を　キットは「医療用」を購入して | | （50） |
| | 地元紙　救急当直医頁 | | （51） |
| 実務実習 | 令和4年度第Ⅲ期薬学生実務実習報告 | 宮本 直樹 | （52） |
| | 令和4年度第Ⅲ期実務実習薬学生からの体験記・感想 | 赤嶺 ひかる・荘 智翔 | （53） |
| 保健福祉 | 第181回健康とおくすり相談会報告 | 盛本 直也 | （55） |
| 災害対策 | 令和4年度沖縄県災害医療コーディネート研修報告 | 鈴鹿 玲子 | （56） |
| 寄稿 | 大分上野丘高校探究活動報告（2年生薬学・化学グループ） | 吉藤　徹 | （58） |
| ぶれいくたいむ | ティータイム「薬剤師の今と昔」 | 友利　斉 | （61） |
| 県民の皆様へ | あまくま薬立つ情報 | 薬達ちゃー | （62） |
| DI | 薬事情報おきなわ No.273 | 薬事情報センター | （63） |
| リレー随筆 | MR残酷物語ー回顧録ー（前編） | 詫摩 敏康 | （73） |
| 薬草学 | 身近な薬草を知ろう　第58回 オオイタビ | 狩俣 イソ | （76） |
| 薬連だより | 政幸だより～薬剤師の確保～ | 神谷 政幸 | （78） |
| | オレンジ日記～ 2023年抱負～ | 本田 顕子 | （78） |
| ぶれいくたいむ | 茶のみ話「スマートフォン」／「アルバイト」 | 池間 きよ | （79） |
| 医療保険 | 調剤報酬請求業務Q&A：調剤報酬請求業務質問票 | 医療保険委員会 | （80） |
| 会務報告 | 令和4年12月～令和5年1月分 | | （82） |
| | 沖縄県薬剤師連盟会務報告（令和4年12月～令和5年1月分） | | （84） |
| 訃報 | 内間俊和先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 | | （84） |
| 職員人事 | 大城喜仁氏が事務局長に就任 | 伊江 朝士 | （85） |
| 会員作品 | 誌上ギャラリー（裏表紙）について…令和4年 誌上ギャラリー大賞＆優秀賞決定！ | | （86） |
| 編集後記 | | | （86） |
| お知らせ | 会報原稿募集のご案内 | | （75） |
| | 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について | | （84） |
| | 沖縄県薬剤師会Facebookをご覧下さい！ | | （85） |
| | 沖縄県薬剤師連盟Facebookをご覧下さい！ | | （87） |

# 新年のご挨拶

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長
**前濱 朋子**

新年明けましておめでごうございます。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発症から3年余りが経過した今もなお、未だ蔓延が収まらず、社会・経済活動に影響を及ぼし続けております。本会におきましても、ワクチン接種会場での充填業務、抗原定性検査キットの臨時販売、解熱鎮痛薬や新型コロナウイルス感染症経口薬の提供、コロナ相談窓口の設置、自宅・宿泊療養施設への配薬等を実施してまいりました。

年末年始にかけては同時検査キット販売に向けて準備が進められました。すべてにおきまして、薬局、病院勤務の薬剤師をはじめ、卸、行政、その他勤務の本会会員の皆様の他、配送の皆様のご協力により実現しております。改めてお礼申し上げます。

さて、国民の健康増進に果たす薬剤師の役割は、今後益々大きくなっていきます。

地域包括システムへの薬局・薬剤師の参画が進む中、「地域連携薬局」、「専門医療機関連携薬局」の整備により、薬剤師・薬局にはより高度な知識が求められています。薬剤師として生涯学習に努め、その職能を高めていくことが必須であることから、本会では日本薬剤師会が策定した「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」の各項目や内容を組み入れ、研修機会の充実を図っております。また、同シラバスは、地区薬剤師会、病院薬剤師会及び地域医療の向上に資する内容とすることが定められていることから、その趣旨をご理解賜り、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

薬業界でも進むDX化に伴い、薬局においてもオンライン資格確認や電子処方箋に対応していかなければならす、薬剤師資格証（HPKIカード）の取得を進めているところです。電子処方箋の運用は１月末からスタートしますが、未だ準備に時間を要する所です。

また、本年４月には薬価中間年改定を控えておりますが、医薬品供給体制の問題も合わせ、薬局経営に及ぼす影響が懸念されます。

2023年の干支は｀卯｀（う）年です。

「ぼう」とも読み、強い陽の衝動を意味する「冒」等に由来し、草木が茂る様子を表していて、転じてウサギのような飛躍と繁栄が期待される年と言われているそうです。また、関西のある神社では、命（みこと）一羽のウサギが道に迷ったご祭神の前に現れ、後ろを振り返りながら道案内をしたという言い伝えから「みかえりうさぎ」と呼ばれ、神使として大切にされているとか。ウサギに導かれ飛躍の年としたいものです。

結びにあたり、皆様のますますのご活躍とご発展を祈念申し上げますとともに、今後とも本会事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

# 新年ご挨拶

公益社団法人 日本薬剤師会 会長
山本 信夫

新年明けましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の進める諸事業に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、2020年に我が国で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、早くも3年が経過しました。急速な感染拡大により、社会･経済活動が停滞を余儀なくされる中で、地域の薬剤師・薬局は医療提供体制を医薬品提供の立場から支え続け、ワクチン接種の迅速化や、自宅で療養する患者等に対する治療薬の提供などに大きな力を発揮されました。さらに現在も、季節性インフルエンザとの同時流行に備え、検査キットや解熱鎮痛薬等の販売・相談対応をはじめ、医薬品提供体制の維持にご尽力されておられることに、心より厚く御礼申し上げますとともに、その心意気に敬意を表するものであります。

一方、電子処方箋やオンライン資格確認等あらゆる分野で進むDXに、薬局・薬剤師も例外なく対応せねばならず､薬剤師資格証（HPKIカード）は、その対応に不可欠な薬剤師資格を証明する手段となります。ご負担をお掛けいたしますが、速やかな資格証取得のための申請をお願いいたします。電子処方箋の運用を巡っては、厚生労働省において検討が重ねられ、モデル事業等で把握された課題を踏まえ、本年1月よりスタートします。その定着にはなお時間を要しますが、患者は勿論、医療現場に混乱を生じさせない「誰もが理解しやすい」仕組みとして活用できるよう、会員の皆様には都道府県薬剤師会・地域薬剤師会を通じて分かりやすくお知らせして参ります。

また、本年4月に予定されている中間年薬価改定の与える影響は、薬局経営や医薬品の供給体制など広範囲であることから、改定対象は「大幅な乖離のある品目」に限定し、薬局の経営状況等も勘案し実施の可否をも検討するよう要望しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰等による想定を超える薬局の経営状況の減衰を踏まえ、必要な財政支援を要望しているところです。

さらに、薬剤師・薬局に対する規制改革の圧力は、日増しにその強さを増しています。調剤業務の委受託、員数規制の緩和、専門家不在時のOTC薬販売など、薬剤師否定論にも似た無理難題を看過することなく、医療安全の確保や責任体制の明確化の視点から、今後とも薬剤師の必要性を主張して参ります。

今後も、山積する課題に果敢に取り組み、地域への医薬品提供を担う薬剤師・薬局がその責任･役割を果たせる環境づくりに向けて、覚悟と矜持を持って会務を進める所存です。

結びにあたり、沖縄県薬剤師会会員の皆様方にとって実り多い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。

# 新年のあいさつ

沖縄県保健医療部 部長
糸数 公

新年あけましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県の薬務行政の推進に格別の御支援と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、私たちの経済活動や日常生活に深刻な影響を与えた中、薬剤師の皆様におかれましては、抗原検査キット、解熱鎮痛薬、コロナ治療薬等の供給、さらにはワクチン接種への御協力等、この未曾有の危機を乗り越えるために多大な御尽力を頂き、厚く感謝申し上げます。

さて、国においては、少子高齢化が加速する中、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据えて全世代型社会保障の構築を目指した取組がされております。

こうした中で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められており、その一翼を担う薬剤師・薬局は、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導に加え、24時間対応・在宅対応や、医療機関等との連携、薬物療法の専門家として、その機能や職能を発揮していくことが期待されています。

また、本年１月末から本格運用が開始される電子処方箋においては、医療機関・薬局間の処方箋のやり取りが効率化されるだけでなく、電子的に記録されたお薬のデータを活用し、患者自身のお薬の把握や健康増進への第一歩となることが期待されています。

皆様には、県民の意識や生活スタイル、医療の要請が絶えず変化していることを踏まえつつ、自らも時代に即して、県民が期待する社会的使命を果たされますよう、今後とも、地域住民あるいは医療関係者から信頼され、保健医療に貢献できる薬剤師を目指し、不断の研鑽に努めていただきたいと思います。

また、近年、全国的に大麻事犯による検挙人員が増加傾向にあるとともに、薬物事犯の若年化が進んでおり、青少年への薬物乱用の拡がりが懸念されております。沖縄県においても、例外ではなく、青少年への薬物乱用防止対策の充実強化が求められており、県としても一層の薬物乱用防止対策が必要であると考えております。皆様におかれましても、薬の専門家である薬剤師として、医薬品の適正使用と併せて、今後とも、薬物乱用防止対策に一層の御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

医薬品の安定供給や適正使用の推進等を通じ、県民の健康増進に御尽力を賜りますとともに、県が取り組む「薬剤師の確保と資質向上」の推進にあたり、今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、沖縄県薬剤師会の限りない御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

# 令和５年年頭所感

参議院議員・薬剤師
本田顕子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新たな年を迎えられたことと存じます。本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は少しずつ人の往来や人が集う機会が増えてきたように感じますが、依然としてコロナ禍は続いており、マスクをつけての年越しは今年で３回目となりました。その間、会員の皆様におかれましては、処方箋調剤をはじめとする薬剤関連業務に加えて、新型コロナワクチン接種へのご協力、抗原検査キットの販売・配布及びPCR検査の実施支援等の新型コロナ対策などを通じて、地域にお住まいの皆様の健康づくりや公衆衛生の向上に貢献されておりますことに敬意と感謝を申し上げます。

今年こそはマスクを外して会話をしたいと思っておられるのは先生方も同様と存じますが、季節性インフルエンザの同時流行も懸念されるため、同時検査キットの供給により検査機会を確保することとなりました。限られた医療資源を有効活用し、この冬を乗り越え春を迎えられるようにと思います。

また、処方箋の電子化に伴う体制整備等のご負担も多いと思われますが、重複投薬や併用禁忌のチェック等がより確実かつ効率的に行われ、薬剤の安全使用につながるよう、導入に向けてのご理解とご協力をお願いいたします。

新春はおかげさまで静かに迎えることができました。

昨年8月の第二次岸田改造内閣におきまして厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官を拝命し、医療・子育て等の厚生行政と新型コロナワクチン接種推進を担当させていただくこととなりました。通常国会では来年度予算案をはじめ国民生活に直結する議案が本格論戦されます。大臣政務官として加藤勝信厚生労働大臣を補佐し、薬剤師の先生方の明日の環境整備につなげていけるよう努力してまいります。

結びに、会員の皆様にとりまして本年が実りある輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ､新年にあたっての挨拶といたします。

# 新年にあたって

参議院議員・薬剤師
**神谷 政幸**

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のご支援により、昨年7月に国会に送り出していただいてから半年が経過しました。8月3日の初登院、その後の党本部における各種会合への出席、10月3日に招集された臨時国会における初めての国会質問等、毎日が初めての経験の連続であり、薬剤師の声を国政の場に伝えるという役割を果たすべく精一杯の努力を続けております。

思い起こすと、2年を超える私の全国訪問活動は新型コロナウイルス感染症に翻弄されたものであったと考えています。組織内候補と決定していただいた令和2年3月は緊急事態宣言が出されており、訪問活動は宣言が解除された5月25日以降となってしまいました。令和3年2月から始まった全国の支部訪問も同年1月に二度目の緊急事態宣言が発令されている中での活動でした。まさに、ウィズコロナ活動であったと、今となっては懐かしく思い出しています。2年間の活動、そして選挙活動におきましては会員の皆様に大変お世話になりました。改めまして御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も終息の兆しが見えない中で新年を迎えることになり、会員の皆様もウィズコロナ生活を強いられておられるのではないでしょうか。本年は卯年であり、ウサギには跳ねる特徴があるため、景気が上向きに回復するといわれており、縁起のよい年だとのことです。また、ウサギは穏やかで温厚な性格であることから「家内安全」、「飛躍」、「向上」を象徴するものという捉え方もあるそうです。

本年が会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たりましての挨拶とさせていただきます。

1．Facebookページ 『薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌』を公開しました。
右のコードから閲覧してください →

2．神谷まさゆきのホームページを開設しました。
右のコードから閲覧してください →

3．神谷まさゆきメールマガジンを開始しました。
右のコードから登録をお願いいたします →

4．神谷まさゆきのＬＩＮＥアカウントを開設しました。
右のコードから登録をお願いいたします →

# 年頭ご挨拶

衆議院議員
**國場　幸之助**

新年あけましておめでとうございます。

沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、令和5年、良き新年をお迎えのことと存じます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より、皆様には私の国会並びに沖縄での活動に対しましてご理解ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は参議院議員選挙が行われましたが、皆様の熱い熱いご支援で神谷政幸先生が当選をされ本田顕子先生とともに、薬剤師参議院議員2人の議席を維持することができました。皆様の声を引き続き国政に反映するために一緒に活動していく同志として、大変心強く感じるとともに、私もしっかりと連携をしながら活動してまいります。

沖縄県においては、慢性的な薬剤師不足であり薬剤師の確保が急務であることから、沖縄県薬剤師会を中心に県内国公立大学への薬学部創設を求める署名活動を実施され、10万筆を超える署名を集められたことにより、2028年までに県内に薬学部を開学するという沖縄県の発表がありました。本年は薬学部が設置される大学の選定を行う予定となっており、これまで県外に流出してしまっていた未来を担う薬剤師を沖縄県内で育成することができます。これも皆様の努力がより良い形で実ったと実感しております。

新型コロナウイルス蔓延の際には、薬剤師の皆様には最前線で県民のためにご奮闘いただいておりますこと､改めて敬意を表します。新型コロナウイルスに関しまして、感染症法上の位置づけが、5月8日から「5類」に引き下げられます。マスクの着用についても個人個人の判断にゆだねられるところはありますが、着用について緩和されます。「5類」に引き下げられるとはいえ、引き続き皆様にはご負担をおかけいたしますが、国民全体の負担軽減に向けて努力してまいります。

日本薬剤師会政策提言2022では、地域包括ケアシステム、地域完結型医療を構築するために、各都道府県が、地域医療計画に連動した「地域医薬品提供計画」の策定を行い、薬剤師・薬局が多職種と連携して、その機能を十分発揮することで、地域住民の医薬品アクセスを確保し、安全・安心な医薬品提供システムを確立する方策を構築すべきであるとしています。沖縄県には離島もあり薬剤師・薬局が不足している地域が多くあります。地域医療品提供計画の策定により、地域の実情に合った薬剤師・薬局の整備が進みすべての方々に薬剤師サービスをもれなく提供できる環境づくりに向けて、貴会とともに取り組んでいくことをお約束いたします。

結びにあたり、沖縄県薬剤師会の益々のご発展、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年2月吉日

# ご挨拶

衆議院議員
宮﨑 政久

新年あけましておめでとうございます。

前濱会長をはじめ、沖縄県薬剤師会の皆様、ご関係のすべての皆様におかれましては、お健やかに新たな年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、貴会ならびに会員の皆様からひとかたならぬご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応もいよいよ5月8日に感染症法上の分類も5類に引き下げられることとなりました。一般的な社会生活と経済活動の立て直しを目指して参りますが、一方で、高齢者や基礎疾患がある方には重症化リスクもあります。県民の生命を守るための活動が引き続き求められることもあり、これは薬剤師の皆様の協力なしでは実現しないものです。日々、最前線でお仕事をしておられる沖縄県薬剤師会会員の皆様に心から感謝申し上げます。

コロナ対応に関連しては、医療機関、薬局においても、感染者と接する際の防護、導線を分けるゾーニングなどの実施で、人手、時間、物資、空間を必要とすることを承知しています。このような事情のもとであるからこそ、5類移行後であっても財政支援の必要が続くことを認識しています。薬局は医療機関と同様の医療提供施設として、薬を必要等する方々に対し、必要な医薬品を提供し続けなければならない調剤応需義務があることを、改めて認識しています。

県民が必要とする医薬品を安心して、かつ確実に入手できるよう、薬局の経営を安定させるとともに、薬剤師の皆様の生活を安定させ、ひいては、すべての県民に安全安心な生活を届けることも、政治家の重要な責務の一つと考えております。この責務をしっかりと果たすことができるよう、私も、現場の実情を十分に理解し、薬剤師の皆様のご意見やご要望をしっかりと受け止め、皆様のご意向に沿えるよう全力を尽くして職務にあたる所存です。

皆様におかれましても、引き続き、県民の健康を支えていただくとともに、県民の医療福祉の向上のため、ご貢献いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年も変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、前濱会長はじめ役員の皆様、そして会員の皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月吉日

# 新年のご挨拶

衆議院議員
島尻　安伊子

新年あけましておめでとうございます。

前濱会長はじめ、沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

医療の担い手として高い倫理観と職能技術に基づく使命感をもって、薬事衛生業務に取り組み、県内の公衆衛生の向上及び増進に貢献され、また県民の健康で安心安全な生活を確保することに常日頃からご尽力いただき、心から敬意を表する次第であります。

さて、昨年は新型コロナの大流行、ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー危機や24年ぶりの水準にまで急激に進んだ円安ドル高、それに伴う物価高、さらには、安倍元総理の銃撃事件等、歴史を画するような出来事が次々と起こる激動の一年となりました。

年が明け、県内では少しずつ観光客数も戻りつつあり、経済指標も改善に向いておりますが、他方、長引く新型コロナと季節性インフルエンザとの同時流行により、医療界の皆様の緊迫感は、まだひと段落とはなっていない現状です。政府は本年5月8日から、新型コロナの感染症法上の位置づけについて、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を正式に決めました。早く日常を取り戻したいと思う一方で、薬剤師を含む医療従事者の皆さまのご負担を増やさないように政治の側も努力しなければなりません。

さて、第一次ベビーブームの時期に生まれ、さまざまな分野で日本の成長を牽引してきた、いわゆる「団塊の世代」800万人が75歳以上の後期高齢者となり、日本が超高齢化社会となる2025年を間近に控え、その一方で少子化による医療従事者の確保はさらに困難となっていくことが予想されているところであります。人生100年時代を迎える中で、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの一翼を担い、いつでも気軽に相談できる、かかりつけ薬剤師・薬局が地域社会において、様々な機関との連携において県民の健康を守る橋渡し役として、健康長寿に寄与できると期待しております。

また、近年では、医療分野におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）が進められており、マイナポータル等を通じた各種医療情報共有、電子処方箋やオンライン服薬指導、電子お薬手帳などICT等の技術発展に伴い、薬剤師を取り巻く環境も急速に変化しております。これらの技術を効果的に活用していただき、地域医療の担い手として、地域住民の健康づくりの拠点となる薬局や薬剤師の皆様方には、県民の健康維持、促進のために引き続き、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

私も、県内の慢性的な薬剤師不足の状況を踏まえつつ、県民の悲願である薬学部新設に関しての、ご要請にたいしましても、関係省庁と引き続き、連携して取り組んで参る所存であります。

結びに、沖縄県薬剤師会のますますのご発展と前濱会長はじめ貴会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

# 年頭のご挨拶

元 復興大臣・内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)
衆議院議員
**西銘 恒三郎**

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

沖縄県薬剤師会のみな様におかれましては、平素より格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国に、新型コロナウィルス感染症が確認されてから、丸3年が経過いたしました。昨年の夏には、発熱患者の増大による解熱・鎮痛剤等の需要が増大し、供給がひっ迫する状況になりました。現在も一部の薬品の供給が不足し、それらの商品が確保しづらい状況に有ります。それ故に、みな様に大変なご負担をお掛け致し心を痛めております。そのような状況下においても調剤業・服薬指導等を通じて県民の健康管理に寄り添って頂くとともに、健康や介護等に関する相談にも快く応じて頂いていることに、深く感謝を申し上げる次第です。

新型コロナウィルスにつきましては、感染症法上の位置づけが5月8日から季節性インフルエンザと同等の5類に移行することになりました。医療や社会活動に関する制限措置が緩和　されますが、引き続き沖縄県民の皆さんが安心できる体制の確保に尽力してまいります。

また、本年1月から電子処方箋の運用が開始され、4月からは薬局におききましても、オンライン資格確認が原則義務化されます。さらに、マイナンバーカードと保険証の一体化を進めるため、令和6年秋には保険証の廃止を進めることになります。このような医療DXに係る取り組み等は、県民全体の保健医療の向上と最適な医療を実現するための基盤整備として、必要と考えております。今後とも、薬剤師会みな様の組織力を賜りたく存じます。

加えて、深刻な少子高齢化・減少社会を迎える中で、全世代型社会保障の構築に向けた医療保険制度や医療提供体制の見直し、地域包括ケアシステムの更なる深化のための取り組みを進めていく必要があります。あわせて地域住民が健康について気軽に相談できる身近な存在としての『かかりつけ薬局･薬剤師』に係る取り組みを着実に進めていくことが重要です。

薬剤師のみな様への期待は、一層高まって来るものと思われますが本県には、薬学部を設置する大学がなく人口10万人当たりの薬剤師数が、全国最下位です。薬学部の設置は、剤師不足の解消と地域の活性化や地域医療の強化につながり、多様な効果をもたらすものであり県内の大学への薬学部設置を早期に実現する必要があると考えております。

薬剤師みな様のスキルを十二分に発揮いただく環境づくりに、国政の場において全力で取り組んでまいります。

結びに、本年も沖縄県薬剤師会の益々のご発展並びに、お一人お一人のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# 年頭のごあいさつ

参議院議員
比嘉 奈津美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。また､薬の専門家として県民の健康増進のため、ご尽力されておりますことに深く敬意を表します。

昨年を振り返りますと、コロナ禍で疲弊した経済回復に向けた「withコロナ」の時代がはじまり、マスクの着用についても大幅に緩和されるなど、街を歩く人々の姿も変わりはじめました。

本年４月よりオンライン資格確認の導入、マイナ保険証など、ネットワークの原則義務化となります。諸外国に比べ、遅れをとっていた日本の医療DXも政府主導のもと、環境整備に向け動き出しました。

これまで行ってきた受付時の健康保険証の記号番号や氏名などの確認や入力が、マイナンバーカードをカードリーダーにかざすだけで最新の保険資格情報の取得ができ、資格過誤によるレセプトの返戻作業の削減、過去３年間分の薬剤情報の閲覧が可能になることにより、薬剤の重複投薬の防止など、複数の持病をお持ちの方や、体調の変わりやすい高齢者に対しては適切な対応ができるようになります。

より良い医療を受けられる環境整備に向け、医療DX化を一歩先に進めましょう。

また、人生100年時代に向け、地域の実情に応じた、切れ目のない医療・介護サービスの提供体制を構築することが求められています。特に、住み慣れた地域では、必要なサービスが一体的に提供される地域包括ケアの確立はとても重要であります。沖縄県内の離島においても、地域包括ケアを十分に整えることは様々な課題もありますが、薬剤師の皆様が、地域住民からの相談や服薬指導、かかりつけ医との連携・協力などを取り組むことにより、住民が安心して暮らしていくことができるものと期待されております。

薬剤師の皆様は、これまでも住民に一番身近な医療人として、薬が必要な方からの相談に大変親身になって対応いただいておりますが、今後も、県民の皆様が安全に、安心して薬を服用していくことができますよう、健康状態や服薬状況等について、これまで以上のお心配りやお声掛けをいただきますようお願い申し上げます。

私も、皆様と同じく医療人としての歩みを基に、参議院議員としての務めを果たしておりますが、かかりつけ薬剤師・薬局、また、セルフメディケーションの推進といった取組みを円滑に進めていくことが、今後の医療界にとっても重要課題であると認識しております。

そのためには、薬の専門家である皆様のお力が不可欠となりますので、今後とも皆様のご意見を賜りながら、国政活動に邁進してまいります。

最後になりましたが、沖縄県薬剤師会のますますのご発展、皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私からの年頭のご挨拶といたします。

# 新年のご挨拶

那覇市副市長
古謝 玄太

はいさい　ぐすーよー　いいそーぐぁちでーびる。

沖縄県薬剤師会前濱朋子会長をはじめ、会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、保健・医療の向上及び福祉の増進を図り、薬事衛生業務にご尽力くださり、深く敬意を表します。

昨年10月の薬剤師会学術大会では、特別講演の機会をいただくなど、貴会の皆さまには大変お世話になりました。

この度、昨年12月に県都那覇市の副市長に就任する運びとなりました。国や地方、民間においてこれまで培ってきた経験をもとに、市民福祉の向上や地域の発展など、全力を尽くす所存でございますので、今後とも、皆さま方のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から約3年が経とうとしていますが、未だ勢いが衰えることなく、今後の免疫減衰及び変異株の置き換わりも予想されているところです。これまでの3年間、オンラインによる服薬指導、医療用抗原定性検査キットの販売等の対応のみならず、新型コロナウイルスワクチン接種におきましても、充填業務という重責を担っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

今般、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、一般用同時検査キットが販売開始となりましたが、年末年始、成人式等における接触機会の増加による、感染拡大に注意が必要な状況が続いております。更に、電子処方箋及びマイナンバーカードの健康保険証利用対応など、国が推進するデジタル化も同時に進められ、通常業務に大きな影響が生じていることと存じますが、市民県民の健康な生活を維持するためにも、これまで同様、貴会の皆さまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和2年の国勢調査によると、本市における生産年齢人口の割合は県庁所在地の中で8番目の高さで、平均年齢は3番目の若さとなっており、全国的に少子高齢化が深刻化している中、本市は他の大都市と肩を並べるほどのポテンシャルを秘めていると言えます。これを踏まえ、市長公約の中長期重点推進事項の一つに「地域包括ケアシステムの構築による支えあいの仕組みを作る」ことを掲げております。地域で暮らすすべての市民の安全・安心な生活が広がるまちづくりを進めるためにも、薬剤師はその一員として、安全で適正な医薬品の供給に努め、信頼のおける薬剤師・薬局としてこれまで以上に地域の関係機関との連携を深めていく必要がございます。

私事で恐縮ですが、私も貴会会員であることから、自らも医療体制の維持・向上に働きかけて参りますので、貴会におかれましては、薬事衛生業務の円滑な推進に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健康ご活躍をお祈りするとともに、本年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。

# 年頭の挨拶

麻生太郎副総裁特別補佐
前衆議院議員
**松本　純**

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの闘いは3年になりました。コロナに負けない、明るく元気な年になるよう、前濱朋子会長をはじめ沖縄県薬剤師会・薬剤師連盟の先生方と力を合わせて、今年も頑張っていきたいと思います。

さて私事で恐縮ですが、この度自民党神奈川一区支部長にふたたび就任することができました。まずもって、ここまでお支えいただいてきた多くの薬剤師仲間の先生方に心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

現在､議員バッジは失ってしまったものの、日常の活動の中で薬剤師職能、薬業問題については、これまで培ってきた人脈を活かして活動を継続しております。

昨年11月に開かれた自民党神奈川1区支部設立総会におきましては、麻生太郎副総裁、菅義偉前総理、萩生田光一政調会長、鈴木俊一財務大臣、加藤勝信厚生労働大臣、河野太郎デジタル大臣をはじめ多くの国会議員に駆けつけていただきました。薬剤師職能の向上に向けて、今後もこの信頼関係を大切にしていきたいと考えています。

麻生太郎副総裁からは下記のようなご挨拶をいただきました。

「国会対策委員会、いわゆる国会を動かしていく委員会で通称『国対』。この国対は野党と話ができないといけない、かつ法案もきっちりわかっていなきゃいかん、この法案のどこを交渉するのかわかっていないといかん。国会を運営していくときの最もキーとなる役職で、その役職をやれる人はそうはおりません。政策解るだけじゃない、人付き合いもできなきゃいかん、かつ交渉しなくてはいけません。そういったようなことやるためには普段から、政策と同時に、仲間の付き合い、プラス野党との付き合いもできないとこの国対は務まりません。

そういった意味で、我々は長いこと松本純の人柄、この人の持っているキャラに頼って国会運営をしてきましたが、なかなかそういう人が度々でてくる訳ではない。育てていくためにはかなりの時間を要し、本人の努力も要るだろう。その結果、大いに成功し、花開きつつある、そういった時に残念ながら躓いて、ご存じのような事態になりました。えらく国会全体にも影響が出ましたけども、曲がりなりにもこういった形で復帰の目途がつきました。

ぜひ、皆さん、国会で、色々苦労してやってきました松本純が新たにここから再出発を期すべき設立総会という形をとらせていただいて再スタートを切ろうとしておるということです。ぜひ今後ともお力添えいただいて、松本純が再び、我々と一緒にお国のために働ける力を、働ける場を与えていただきますよう心からお願い申し上げてご挨拶そして御礼にかえさせていただきます。」

結びにあたり、兎年の2023(令和5)年が、沖縄県薬剤師会の更なる飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。国家、国民、患者さんのために、そして我々薬剤師のために、共に頑張りましょう！

# 年頭ご挨拶

前衆議院議員
**渡嘉敷 奈緒美**

新年明けましておめでとうございます。

前濱朋子会長をはじめ関係者皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになりましたことと、心よりお慶び申し上げます。

一昨年の落選以降も現職の頃と変わりなく県薬の皆様には応援頂き感謝の言葉もありません。

皆様の温かいお気持ちに応えるにはどうしたら良いのか。

私は4期勤めた薬剤師の国会議員としての経験を活かして、バッチが無くとも出来る政治活動に挑戦して行くべきではないか、これこそが薬剤師の政治家として今出来る恩返しの形ではないかと考えるようになりました。

そこで熟考を重ね次の結論に至りました。

まず一つ目は「医薬品産業を日本を支える成長産業に育てること」二つ目は「薬剤師の活躍の場を増やして行くこと」三つ目は「北大阪健康医療都市の知名度を上げて、日本の予防医療のモデル地域にする」、この3点に挑戦しようと目標を定めたのでした。

一つ目の「医薬品産業を‥」の取り組みでは多方面に働きかけた結果、昨年6月に発表された自民党の骨太の方針に「創薬医薬品産業を成長産業にすべく取り組みを進める」と位置付ける事が出来ました。そして、毎年薬価を下げて維持している社会保障制度に一石を投じようと厚労省と財務省と有識者・製薬産業のトップ経験者と一緒に「持続可能な医療財源の構築と新たな安定財源を考える研究会」を立ち上げました。その結果、これらの動きに連動するように、厚労省内で医薬品の将来を見据えて薬価の問題を話し合う有識者検討会が、昨秋から開催されるようになりました。

二つ目の「薬剤師の‥」では、予防医療で薬剤師の活躍の機会を増やそうとワクチン接種の研修の実施を提案。全国で最初に府薬が手をあげて下さった結果、全国の薬剤師会や薬科大学にも広がりが出てきました。この研修の積み重ねにより、薬剤師がワクチン接種出来る日が確実に近づいています。この他、積極的推奨を再開した「子宮頚がんワクチン」に対する情報発信の一翼を薬剤師の先生方に担って頂きました。三師会で株式会社が認められているのは薬局だけです。薬剤師は患者さんの満足度を高める仕事に積極的に取り組んで良いとお墨付きが与えられているのです。その機会を広げる挑戦を今後も造っていきたいと思っています。

三つ目の「北大阪健康医療都市(健都)‥」では、知名度を上げるために本を出版することになりました。この本を基軸にして、イベントやSNSを駆使した発信に挑戦し、予防医療で力を発揮出来るのは地域に根を張った薬剤師なのだと証明していきたいと考えています。

今年もこの3点を充実させながら、地道に地域をまわる政治活動を心がけて再起目指して頑張って参ります。

昨年は神谷まさゆき参議院議員を皆様と共に誕生させる事が出来ました。

次回は再来年の本田顕子参議院議員が再選できるように私自身も必死に応援させて頂きます。

今年も薬剤師の将来のために頑張りますので、変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶

沖縄県議会議員
**新垣　淑豊**

令和5年、あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

前濱朋子会長をはじめとする沖縄県薬剤師会会員、関係者のみなさまにおかれましては、普段からの調剤・服薬指導などの地域医療に加え、3年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応と沖縄県民が健康的な生活を送るために御尽力いただいていますこと感謝申し上げます。

沖縄県の動きとして、令和5年度には国立感染症研究所との連携による感染症研究センター設置事業が新規に計上されるなど、県内医療体制の強化が行われる予定です。また、今回の新型コロナウイルス感染症拡大下において島嶼県ならではの課題も改めて浮き彫りになりました。現在でもその課題の解消・体制強化のために様々な医療関係者が関わっていただいていますが、陸続きでない小規模離島の多くの島々では医療体制が脆弱であることは周知の事実であります。

特に人口10万人比での薬剤師数が全国で最も少ない上に県内でも地域偏在があることから薬剤師の育成機関である国公立大学薬学部の設置も沖縄県にとって重要な施策であり、医療関係者だけでなく多くの県民にも望まれています。県内で国公立大学薬学部の設置がなされれば、県民にとって進学時の経済的な負担の軽減ができるようになります。また沖縄の子どもたちが薬学に興味を示し、学び、社会に出ることで、生まれ育ったこの沖縄の地域医療に積極的に関わるようになることも効果として予想されています。県でも令和2年から令和4年度までの可能性調査事業から令和5年度は設置推進事業となり、先般、令和10年開学に向けてのロードマップも目標として示されました。

県内大学薬学部の設置は大学病院や県立病院、民間病院や民間企業など医療関連の施設や職業との連携だけではなく、職業選択教育の一環として小中高校生などとの関わりを持つ事も大きな役割となり得ます。また、学生が地域活動との連携を行うことで地域活性化に結びつく事例も他県で確認されていますので、沖縄の未来に向けての新たな取り組みの種を蒔くことにもつながると確信しております。しかし、実現に向けてはまだ解決すべき課題もあるかと思いますので、ぜひとも県薬剤師会の皆様との意見交換を重ね、議会の場において実現に向けての議論と働きかけを続けてまいります。

昨年は沖縄県が日本国へ復帰して50年を迎え、第6次沖縄振興計画もスタートしました。今年も含めてこの10年は今後の沖縄の発展に向けて非常に大切な時期となります。新型コロナウイルス感染症による混乱も少しずつ落ち着いてきましたが、ロシアによるウクライナ侵攻や台湾海峡の危機も予測され、資材やエネルギー資源の高騰など県経済や沖縄を取り巻く環境はまだまだ予断を許さない状態です。医療政策としも地域包括ケアシステムを離島も含めて充実させていかねばなりません。他にも様々な業務のDX化など対応すべきことは山積しておりますが、どうか薬剤師会の皆様からも多くのご意見とお力添えを賜りたく存じます。

結びになりますが、今後の貴会の益々のご発展と、会員・関係者のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、年初のご挨拶とさせていただきます。

# 謹賀新年

昨年は会運営にご理解ご協力を賜わりお礼申し上げます。
皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

法社一人団般
**沖縄県薬剤師会**

相談役　新垣正次　神村武之
　　亀谷浩昌
監　事　江夏京子　山里　勇
会　長　前濱朋子
副会長　中村克徳　村田美智子
　　川満直紀
常務理事　佐藤雅美　盛本直也
　　宮城幸枝　西川　裕
理　事　浅沼健一　阿部義則
　　石川恵市　上原卓朗
　　幸地良信　古謝真己
　　島袋さゆり　知名博樹
　　名嘉紀勝　姫野耕一
　　吉田典子
会営薬局医療センター前　城間盛光
会営薬局うえはら　仲宗根鳴香
会営薬局とよみ　宮里威一郎
薬事情報センター　吉田典子
試験検査センター　小泉宝之
事務局　大城喜仁
他職員一同

**沖縄県薬剤師連盟**
**沖縄県本田あきこ後援会**
**沖縄県神谷まさゆき後援会**
会　長　前濱朋子
幹事長　石川恵市
他役員一同

よみがえれ！首里城

# 薬事功労受賞者

令和5年1月15日（日）正午から、那覇市首里のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城の首里の間において、沖縄県薬業連合会主催の令和2年度・令和3年度・令和4年度薬事功労受賞者合同祝賀会が開催された。司会進行は、本会の宮城幸枝常務理事が務めた。

合同祝賀会は、新型コロナウイルス感染症感染防止等の観点から、令和2年度以降開催を取り止めていたが、令和4年10月の同連合会代表者会議及び本会理事会において開催することが決議された。会場及び来場者への感染防止策を万全に講じた上で、平成31年度の開催以来3年ぶりとなる開催が実現した。また、今回の合同祝賀会は、開催を取り止めていた期間にあたる令和2年度の21人・1団体、令和3年度の28人、令和4年度の31人の受賞者・受賞団体を対象とした。

はじめに幕開けとして、本会の前濱朋子会長と同会広報委員会の池間記世委員による「かぎやで風」が披露された。お二人は、「今日の喜びを何とたとえる事ができましょう。まるで花の蕾が朝露を受けて、パッと咲き開いた様な心持ちです。」という歌詞にのせ、厳かで優雅な舞いで、会場を大いに魅了した。

続いて、沖縄県薬業連合会の米村一成理事による開会の挨拶の後、同会の前濱朋子会長が、「今回の薬事功労受賞者合同祝賀会の開催にあたっては、感染防止策に万全を期するとは言え、引き続くコロナ禍における開催となることから、関係者から叱りを受けるのではと懸念していたが、『待ちに待った合同祝賀会の開催にとても喜んでいる。是非、開催してほしい。』とのお言葉をいただき、前向きに開催の準備を進めることができた。」と述べるとともに、受賞者、関係者、事務局に改めて感謝の意を示し、主催者挨拶とした。

続いて、来賓である玉城デニー知事に代わりご出席いただいた沖縄県保健医療部の糸数公部長の代読により、知事からのご祝辞を賜った。

その後、沖縄県薬業連合会の伊集院良憲副会長による乾杯のご発声の後、令和2年度、令和3年度、令和4年度の順に各年度の受賞者が登壇し、司会から受賞者が紹介され、記念撮影が行われた。受賞者の氏名が読み上げれる度に、会場から大きな拍手が送られ、各受賞者の功績をたたえた。

また、懇談の途中、本会会員でもある古謝玄太那覇市副市長から祝辞を賜った。

そして、令和4年度秋の叙勲において旭日双光章を受章した亀谷浩昌氏が、「私たちは、薬局薬剤師や病院薬剤師及び登録販売者や配置販売者としての地域医療への貢献、また、学校環境衛生の確保及び医薬品の供給、医療行政など保健衛生に関連する多くの業務において日々精進をしてきた。このことを、各分野の向上発展に功績があったとして評価していただき、本日、祝賀の宴を設けていただいたことは身にあまる光栄であり、感激している。私たちが表彰されたのは、多くの方々のご指導、ご鞭達、さらには、家族や関係各位の温かい励ましとご協力の賜である。今後とも健康に気をつけて、薬業界の発展と地域社会のお役に立てるよう、微力を尽くしていく。」と、受賞者を代表してお礼と挨拶を述べられた。

最後に、沖縄県薬業連合会の前里忍理事による閉会のことばにより、3年ぶりに開催した薬事功労受賞者合同祝賀会は盛況のうちに閉会となった。　　（文:事務局　伊江 朝士）

# 合同祝賀会開催

会期　令和５年１月 15 日（日）　正午～ 13 時 30 分
会場　ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城　首里の間
司会　沖縄県薬剤師会常務理事　宮城　幸枝
会次第

祝賀式典
幕開け　かぎやで風

| | | |
|---|---|---|
| 開会のことば | 沖縄県薬業連合会理事 | 米　村　一　成 |
| 主催者あいさつ | 沖縄県薬業連合会会長 | 前　濱　朋　子 |
| 来賓あいさつ | 沖縄県知事 | 玉　城　デニー |
| 乾　杯 | 沖縄県薬業連合会副会長 | 伊集院　良　憲 |
| 受賞者登壇・紹介（令和２年度、令和３年度、令和４年度） | | |
| 祝　辞 | 那覇市副市長 | 古　謝　玄　太 |
| 受賞者代表挨拶 | | 亀　谷　浩　昌 |

懇　談
閉会のことば　　前　里　　忍

幕開け　かぎやで風
厳かで優雅な舞いで会場を大いに魅了した広報委員会の池間記世委員（左）と前濱朋子会長

# 祝賀会

## 令和 2 年度受賞者

（後列）左から、新垣秀幸氏、米村一成氏、松山朝雄氏、江夏京子氏、小波蔵智恵子氏
（前列）左から、川上義久氏、佐藤雅美氏、渡嘉敷見氏、幸地良信氏、前里由紀子氏

## 令和 3 年度受賞者

（後列）左から、中村章弘氏、友利弘一氏、川満正啓氏、下地睦夫氏、柴田忠佳氏
（前列）左から、又吉智賀子氏、日高久美子氏、浜元朝孝氏、吉田久子氏、長嶺義一氏、山内昌彦氏

## 令和 4 年度受賞者

（後列）左から、普久原隆氏、田場英治氏、亀谷浩昌氏、我喜屋美香氏、宮城敦子氏
（前列）左から、知名博樹氏、島袋さゆり氏、村田成夫氏、神山朝喜氏、伊波恵美子氏、上間秀子氏

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔旭日双光章〕

## 松山　朝雄 氏

昭和 46 年に弱冠 26 歳で沖縄県薬剤師会の理事に就任し、薬局勤務の薬剤師ならびに新卒薬剤師を対象に薬事講習会を毎年開催し、薬剤師の資質向上に尽力した。昭和 51 年、九州山口薬学大会が初めて沖縄県で開催、率先して陣頭指揮を取り大会を成功裡に終了させ、担当理事としての役務を全うした功績は大きい。さらに、昭和 59 年に沖縄県で開催された第 17 回日本薬剤師会学術大会でも同様に役務を全うし大成功裡に終了させた。

昭和 54 年に医薬品情報の収集伝達に関し大幅な薬事法の改正が行われたのを受けて、沖縄県薬剤師会に薬事情報センターを設置し、薬事情報の迅速かつ正確な伝達や質疑に対する対応に努めた。日本薬剤師会薬事情報委員会委員、沖縄県病院薬剤師会理事も務め、病院と薬局間の連携を図り、医薬品に関する情報の提供、収集等に努め、会員の資質向上に多大なる貢献をした。

医薬分業の推進と共に､生涯教育ならびに毎年開催される沖縄県薬剤師会学術大会の計画、運営を担当し、会員の資質向上に貢献した。平成 5 年には、学術、薬事情報、生涯教育、病院診療所部会等の担当副会長に就任、平成 6 年開催の第 59 回九州山口薬学大会沖縄大会の実行委員会副委員長も務め、同大会を盛会裡に収め、県内薬剤師の地位向上に尽力した。

医薬分業の進展に伴い、調剤事故・過誤の問題が取りざたされる中、調剤事故・過誤対策委員会を立ち上げ委員長に就任すると、安全管理を徹底し医療事故を未然に防ぐ調剤事故防止や調剤過誤時の対応等について講演し、県内の薬局薬剤師の資質向上に尽力した。

沖縄県病院薬剤師会においては、昭和 60 年から 20 年間、副会長を務め、組織並びに活動の基盤づくりを構築し、組織的確立をみて、国公立・広域病院に勤務する薬剤師はめざましい質的向上を遂げたことは会史上、最大の功績といえる。さらに、医師および病院・薬局薬剤師を対象とした病院薬剤部実習を開催し、薬剤師のみならず医療関係者も含め、その資質向上にも多大なる貢献をした。

〔日本薬剤師会功労賞〕

## 江夏　京子 氏

院外処方箋が皆無に等しかった頃において、沖縄県薬剤師会代議員、中部地区薬剤師会副会長・会長として会務の活動に関わるようになり、医薬分業への取組についてグループ的な勉強会を立ち上げ、医師会と連携するなど、院外処方せん応需体制の確立に並々ならぬ熱意で傾注した。沖縄県薬剤師会の役員に就任後は、医薬分業対策委員会の他、保健福祉委員会、薬学生実務実習受入委員会、開局委員会、財務委員会を歴任し、業務に対する誠実さと責任感の強さは会員からも絶大な信頼と評価を得ており、事業の活性化に大いに貢献した。

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔薬事功労者厚生労働大臣表彰〕

## 新垣　秀幸 氏

平成 11 年より糸満市にて薬局の管理薬剤師として勤務し、かかりつけ薬局として、医薬品の安定供給と地域住民の保健福祉、公衆衛生に尽力するとともに、医薬品の安全な使用、医薬品の正しい情報提供を行っている。平成 15 年より南部地区薬剤師会会長として、組織の強化と会員の資質の向上に貢献した。平成 11 年から平成 14 年、平成 17 年から令和 3 年の長きに亘り沖縄県薬剤師会の理事に就任し、両組織の発展に大きく貢献した。

また、学校薬剤師としても平成 12 年から複数の学校を担当し、学校環境衛生、児童生徒の健康増進に貢献している。

〔公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰〕

## 知名　繁夫 氏

昭和 51 年 4 月に北谷町立北谷幼小学校の学校薬剤師として委嘱され、以来、複数の学校の学校薬剤師に委嘱され積極的に学校薬剤師活動を行い、専門的立場から学校環境衛生検査を通して、学校環境衛生に関する適切な指導助言を学校長及び養護教諭と連携し関係職員に行うなど公衆衛生の向上に貢献した。

また、学校保健委員会を通して、学校環境衛生、特に日常点検の重要性を説き、また、薬物乱用防止教育活動も積極的に行うなど学校保健の発展に寄与した。

〔学校保健功労者文部科学大臣表彰〕

## 玉山　善正 氏（故人）

昭和 48 年、コザ市（現：沖縄市）立美里中学校の学校薬剤師として委嘱されて以来、沖縄市内の小中学校、昭和 58 年には沖縄県立北谷高等学校を担当し、意欲的に学校環境衛生の維持改善に関し専門的立場から助言、指導を行い、学校保健管理に尽力した。

薬局を開局する傍ら沖縄支部長として、県外、県内の講習会、大会等に積極的に参加し県内の講習会等の講師として学校保健の伸展に寄与、沖縄市教育委員会と連携を蜜にして学校水泳プール衛生管理講習会等の講師等を務め、学校保健の充実発展に貢献した。

平成 3 年には沖縄県学校薬剤師会副会長に就任､組織の強化と会員の資質の向上に努めた。平成 5 年には学校環境衛生研究協議会（沖縄大会）の実行委員として運営に関わり大会成功裏に終えた。

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

## 笠原　大吾 氏

日研化学株式会社大宮研究所に 19 年間勤務後、平成 13 年に来沖。県内の薬局に勤務し、在宅医療支援を中心に現在も活動している。平成 21 年に沖縄県薬剤師会の理事に就任し、保健福祉分野に関する研修会を企画、時には講師となり、会員の質の向上に寄与した。また、薬局のない離島・へき地に赴き、地域住民に対して健康とおくすり相談会を開催するなど、セルフメディケーションの普及、健康管理（一次予防）の強化に努めている。この活動が評価され、平成 30 年度には、沖縄県健康づくり表彰（がんじゅうさびら表彰）地域活動部門にて準グランプリを受賞した。

平成 18 年に学校薬剤師に委嘱され、積極的に学校薬剤師活動を行い、薬物乱用防止教室や薬の正しい使い方の講演を行なっている。さらに、交通の不便な地域に積極的に出向き、学校環境衛生の充実と発展にも尽力している。

〔日本薬剤師会有功賞〕

## 小渡　宏二 氏

昭和 47 年に学校薬剤師に委嘱され、現在も精力的に活動している。専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与している。

## 小波蔵　智恵子 氏

現在も薬局薬剤師として携わり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

## 渡久山　京子 氏

昭和 44 年に本会理事に就任され、学術研修の充実に努め、会員の資質向上に尽力した。昭和 46 年から沖縄県病院薬剤師会の初代会長に就任し、現在の病院薬剤師会の礎を築いた。昭和 56 年から平成 19 年の長きにわたり、沖縄県女性薬剤師会会長・副会長を務められ、活発な部会活動を展開し、女性会員の資質向上に寄与された。の礎を築いた。昭和 56 年から平成 19 年の長きにわたり、沖縄県女性薬剤師会会長・副会長を務められ、活発な部会活動を展開し、女性会員の資質向上に寄与された。

## 義元　愛俱 氏

長年に亘り、薬局薬剤師として医薬品の安全な使用助言・情報提供を行い、地域住民の健康増進に尽力した。平成 2 年から平成 7 年には短大前薬局を開局し、地域住民のかかりつけ薬局として地域医療に貢献した。

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔日本学校保健会創立100周年記念表彰〕

## 渡嘉敷　見 氏

昭和 62 年から平成 9 年まで沖縄県学校薬剤師会副会長、平成 10 年から平成 24 年までは沖縄県学校薬剤師会会長を務め、薬局を開局しながら学校薬剤師活動に専念、学校環境衛生検査及び公衆衛生の普及に努め児童生徒の健康増進に貢献してきた。

又、学校環境衛生・プール安全講習会などの講習会等を開催し会員の組織強化と資質向上に貢献、今現在も複数校受け持ち学校薬剤師活動に関し会員の相談役を担っている。

〔日本公衆衛生事業功労者表彰〕

## 仲真　良重 氏

昭和 57 年に沖縄市に開局して地域保健医療に関わるようになり、昭和 63 年から 31 年間に亘り沖縄市立島袋幼小学校の学校薬剤師として委嘱され、学校長及び養護教諭と連携し積極的に学校薬剤師活動を行っている。薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等の学校保健､学校環境衛生に関し公衆衛生的見地から指導助言を行っている。

また、平成 6 年から沖縄県薬剤師会の会営薬局うえはらに勤務する傍ら、調剤及び服薬指導を通して地域医療に貢献し、会員の資質向上に貢献した。

平成 23 年には社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員の公職に就き、診療側、保険者側に偏ることのない、公正な審査の立場から保険薬局の指導助言を積極的に行い、沖縄県の保険医療等の充実発展に尽力している。

## 学校薬剤師部会八重山支部（団体表彰）

沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会八重山支部では、数少ない学校薬剤師が本業の薬局業務の傍ら、石垣島ならびに現在も交通不便な周辺離島の幼稚園・小学校・中学校・県立高等学校などの学校環境衛生に関して公衆衛生的見地から指導助言を献身的に続けている。学校環境衛生の充実と薬物乱用防止等においても、都市部と格差のないように企画・運営し、園児、児童・生徒の健康増進に貢献してきた。

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

## 大城　朝徳 氏

国の医療機関で勤務していたが、国の末端で働く将来よりも、たとえ小さくても保険調剤薬局で、沖縄の医療に貢献したいという思いで起業。沖縄県薬剤師会の各種委員会・部会等へ若手薬剤師を送り込み、積極的に協力している。そして、東日本大震災の際には、素早い決断により薬剤師職員をボランティア派遣した。また、沖縄県下の慢性的な薬剤師不足で困っている地元薬局への薬剤師派遣（派遣業取得）も行っている。

## 金城　雄一 氏

那覇市立病院の薬剤部部長として勤務する傍ら、沖縄県病院薬剤師会では副会長、沖縄県薬剤師会では常務理事の要職に就き、双方の組織運営の発展に寄与し、病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携にも尽力している。

沖縄県薬剤師会においては、学術研修委員会、組織強化委員会、会営薬局移転検討特別委員会の委員としても活躍している。

那覇地区薬剤師会では、副会長として会長を補佐、研修担当役員も務め、会員の職能及び資質向上を目的に臨床講座や研修会等を企画、開催し尽力している。

平成 21 年日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師（沖縄県初）

## 佐藤　雅美 氏

長年に亘り沖縄県薬剤師会薬学生実務実習受入委員会委員として活動を続け、現在は同委員会委員長と担当理事としてその責務に尽力している。また、中部地区薬剤師会の役員を務めると同時に中部地区薬剤師会代表理事として沖縄県薬剤師会の運営・発展・向上に尽力している。

## 川上　善久 氏

長年に亘り南部地区薬剤師会の副会長を務め、会活動の企画・運営はもちろん、役員や会員へ積極的に助言を行っている。南部保健所関連においても、健康相談事業、委員会、協議会等へ積極的に参加し南部地区薬剤師会との連携を図っている。

沖縄県薬剤師会では理事の他、保険薬局部会、医薬分業対策委員会、お薬手帳検討委員会、自殺対策予防検討委員会、医療保険委員会、財務委員会、薬学生実務実習受入委員会等、多くの委員会に委嘱され活躍している。また、学校薬剤師としても積極的に活動している。

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

## 山城　晶 氏

名城大学薬学部を卒業後、渡米して米国薬剤師免許取得を目指し語学留学。米国薬剤師免許証を取得後､米国の薬局に勤務しながら米国の医療制度や薬剤師業務等を学び経験を積む。帰国後は、沖縄本島に居住しながら久米島町立仲里幼小学校の学校薬剤師として委嘱され、学校環境衛生検査や薬物乱用防止教室の講話等の実施、指導助言を行い児童生徒の健康増進に貢献している。

また､沖縄県薬剤師の会営薬局うえはらと薬事情報センターにも勤務し自己研鑽に努めた。沖縄県薬剤師会館内に掲げられた「神聖ローマ皇帝フリードリッヒ２世・薬剤師に薬を調剤する権利証書の交付式」の使用許可を米国薬剤師会およびファイザー米国本社と許諾交渉を行った。

久米島町で唯一の調剤薬局の代表者になると、久米島町、公立久米島病院、那覇地区薬剤師会と合同企画で健康とおくすり相談会～アウトリーチ型健康づくり推進事業～等の開催を行うなど、特派員的存在で情報提供を行い、島民の健康増進に貢献している。

## 前里　由紀子 氏

平成 18 年より宮古島市内にある両親が経営するコジャ薬局市場前店の責任者となる。昔ながらの繁華街に位置する老舗の薬局には、馴染みの客から観光客も多く、調剤と OTC 販売を両立させ地域の健康センターとして役割を担ってきた。かかりつけ薬局、薬剤師として積極的にセルフメディケーションを進めるとともに患者の生活背景まで考慮した服薬指導で医薬分業の本質を実践し、地域住民の健康増進に貢献している。

また､学校薬剤師として複数校を担当し､校内の定期検査を通して積極的にアドバイスし、学校長、養護教諭から信頼を得るとともに学校環境整備における薬剤師の重要性を高めた。地区薬剤師会の学校薬剤師の代表として会員の意見を市や委員会と折衝するなど、会員の活動環境の向上、組織強化に貢献している。

沖縄県薬剤師会では、広報委員会宮古地区通信員として地区薬剤師会活動報告、広報活動を続け貢献している。

# 令和２年度受賞者プロフィール

〔沖縄県学校保健功労者表彰〕

## 金城　守 氏

平成 11 年 4 月に宜野湾市立宜野湾中学校の学校薬剤師に委嘱され、平成 30 年には沖縄県立中部商業高等学校をも受け持ち、20 年間学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献した。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与した。

## 座喜味　美智子 氏

平成 11 年 4 月に沖縄県立中部農林高等学校、平成 14 年 4 月には具志川市（現:うるま市）立高江洲中学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、20 年間学校薬剤師活動を続け、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献した。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与した。

## 勢理客　由美子 氏

昭和 63 年 4 月に沖縄市立美里中学校、平成 9 年 4 月に沖縄県立美咲養護学校（現：美咲特別支援学校）、平成 10 年 4 月には沖縄市立美原幼小学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数の幼小学校、県立学校を長きに渡って担当を受け持ち、現在も学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献している。

# 令和３年度受賞者プロフィール

〔薬事功労者厚生労働大臣表彰〕

## 川満　正啓 氏

昭和 62 年川満薬局東店の管理薬剤師として、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に努める。平成 11 年、沖縄県立宮古病院の院外処方箋発行にあたっては、宮古地区薬剤師会の運営実行委員の一人として県、市への要望、医薬品情報の収集、県立病院との折衝、地域住民への啓蒙活動など、宮古地区の医薬分業開始またその後の推進へ大きく貢献した。院外処方箋発行と同時に沖縄県立宮古病院前へ薬局を開設。会営薬局の無い宮古地区にあって会営薬局的役割を担い、宮古地区の医薬分業のスムーズな移行に貢献した。

また、平成 15 年からは沖縄県薬剤師会理事として運営に携わり、同時に宮古地区薬剤師会と県薬とのパイプ役を果たした。平成 19 年より宮古地区薬剤師会会長就任し、運営の舵取りを担う。隔月に開催する沖縄県立宮古病院との「医薬分業連絡協議会」の進行役を務め、地区における医薬分業問題の解決、推進に貢献した。

〔公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰〕

## 小渡　宏二 氏

昭和 47 年 4 月に那覇市立真和志中学校の学校薬剤師として委嘱され、以来、複数の学校から学校薬剤師に委嘱され積極的に学校薬剤師活動を務め、学校環境衛生に関する適切な指導助言を行い公衆衛生の向上に貢献している。

また、学校保健委員会を通して、学校環境衛生、特に日常点検の重要性を説き、また、薬物乱用防止教育活動にも積極的に行うなど学校保健の発展に寄与した。

平成元年に沖縄県立浦添工業高等学校調理科非常勤講師、平成 6 年から平成 23 年までは沖縄県立美里工業高等学校調理科非常勤講師の職に就き、生徒らに調理過程における食品衛生学・公衆衛生学授業を行っている。

〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

## 下地　睦夫 氏

昭和 59 年にむつみ薬局を開局して以来、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に努めている。昭和 63 年度から平成 19 年度の長きに亘って宮古島の小中学校および養護学校の学校薬剤師として学校環境衛生の充実と発展に貢献した。

また、平成 10 年に宮古地区薬剤師会副会長に就任し、平成 11 年の沖縄県立宮古病院の院外処方箋発行にあたっては、宮古地区薬剤師会の運営実行委員の一人として県、市への要望、医薬品情報の収集、県立病院との折衝、地域住民への啓蒙活動など、宮古地区の医薬分業開始、その後の推進に大きく貢献した。

# 令和３年度受賞者プロフィール

〔沖縄県公衆衛生大会知事表彰〕

## 新川　重一 氏

昭和 45 年、宜野湾市に新川薬局を開局の傍ら、昭和 55 年には沖縄県薬剤師会の宜野湾支部長、平成 4 年に沖縄県医薬品小売商組合副理事長に就き、長年にわたって宜野湾支部の会員や小売商組合員の資質向上や組織強化など公衆衛生の向上に貢献してきた。平成 8 年には、ぎのわん調剤支援センターを立ち上げ地域の薬局への支援を行いながら、平成 13 年から 15 年まで厚労省のモデル事業実施を行うなど、地域の方や会員の健康、病気の予防等に積極的に取り組んでいる。

昭和 47 年に宜野湾市立宜野湾小・中学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数校の学校を受け持ち、積極的に学校薬剤師活動を行い学校環境衛生の定期検査等、専門的立場から学校環境衛生に関する適切な指導助言を行い公衆衛生の向上に貢献している。

〔日本薬剤師会有功賞〕

## 安富祖　勇 氏

長年、薬局薬剤師として携わり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

## 新垣　美恵子 氏

薬局に勤務し、そして現在は卸会社に勤め、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を行っている。

## 伊集　俊雄 氏

都市圏から離れた地に薬局を開設し、現在も良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

また、昭和 52 年に学校薬剤師に委嘱され、現在も、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与している。

平成 26 年に学校保健功労賞を受賞。

## 森根　美智子 氏

自ら薬局を開設し、現在も数店舗を経営する傍ら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

# 令和３年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

## 浜元　朝孝 氏

昭和 42 年に開局。平成 6 年には沖縄県薬剤師会の会営薬局の薬局長を務めた。現在に至るまでの 50 年余り、薬局における健康相談、処方薬調剤、一般薬の販売を通して、地域へ安心・安全な医療を提供すると共に、一般市民向けの薬に関する講話を行うなど、地域住民の健康保持増進に寄与している。

また、昭和 47 年から学校薬剤師として 43 年以上活動してきた。昭和 58 年に学校薬剤師会副会長に就任。昭和 54 年には沖縄県薬剤師会理事に就任。

平成 27 年に瑞宝双光章を受章。

## 長嶺　義一 氏

自ら薬局を開設し、現在も良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

## 玉那覇　康三郎 氏

現在も薬局薬剤師として携わり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

## 吉田　久子 氏

昭和 51 年、学校薬剤師に委嘱されて以来、複数校を担当し、その専門性を活かして学校側に適切な指導助言を行い、学校環境衛生及び学校保健の向上に努めた。平成 13 年には沖縄県麻薬中毒者等相談員として社会復帰に向けた再犯防止の指導相談活動を行っている。本会理事を務める傍ら、平成 14 年に沖縄県薬物乱用防止協会の中央支部長及び理事を務めて以来、専務理事、副会長の要職を務め協会の運営に尽力した。

平成 29 年に瑞宝双光章を受章。

## 我喜屋　宏 氏

昭和 60 年沖縄県医薬品卸業協会理事に選任、平成 4 年から平成 9 年まで 5 年間に亘り同協会副会長、平成 9 年より同協会会長を歴任。以来、平成 22 年まで 25 年余にわたり、諸々のハンディを負った離島県の医薬品流通業界の指導者としてその重責を全うし、組織の強化と発展､会員企業の経営基盤の安定と共に社員の資質向上と社会的地位の向上に尽力しつつ、ハンディを克服し沖縄県における医薬品の安定供給に多大な貢献をした。

平成 16 年に藍綬褒章、平成 24 年に旭日双光章を受章。

# 令和３年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

## 金城　喜榮 氏

沖縄県職員として、主に、国民健康保険課長、医務課長、薬務課長、環境保全室長、衛生環境研究所長を歴任し、平成 13 年に定年退職。本会への指導・助言、監督をする傍ら、衛生環境研究所長時には専門施設における若手薬剤師の育成、学会等への派遣を行った。

## 渡嘉敷　見 氏

自ら薬局を開設し、長年、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。昭和 58 年に学校薬剤師に委嘱され、学校環境衛生検査を通して適切な指導助言を行い、学校環境衛生の改善に努めている。沖縄県学校薬剤師会副会長、会長を務め、組織の強化・発展に多大な貢献をした。

平成 15 年に薬事功労者厚生労働大臣表彰、平成 23 年に学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰を受賞。

## 與座　圭子 氏

長年、薬局薬剤師として携わり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

## 山内　昌彦 氏

都市圏から離れた地に自ら薬局を開設し、現在も、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

## 川武　政子 氏（故人）

都市圏から離れた地に薬局を開設し、長年、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

# 令和３年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

## 瑞慶山　純子 氏

昭和63年に学校薬剤師に委嘱され、学校環境衛生の指導・助言および薬の専門的立場から、薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を行い、公衆衛生的見地から児童・生徒達の健康増進に貢献している。

平成 28 年に薬局開設者となり、地域住民の健康増進とセルフメディケーションに寄与している。うるま市の介護認定審査会、地域包括ケア会議、医療介護連携推進会議に参加し、多職種連携の中で薬剤師の職能とその必要性を講じている。

コロナ禍においては、自宅療養者への緊急的な処方せん調剤及び配達を率先して行い、地域へ多大なる貢献をしている。

## 友利　弘一 氏

沖縄県の行政薬剤師として、薬務課麻薬係長を歴任され、薬物乱用防止及びその普及啓発活動に長年取り組まれた。その後は、環境部に長年在籍し、沖縄県の環境対策に多大なる貢献をした。沖縄県を退職後は、沖縄県薬剤師会に専務理事、監事を歴任し、組織の発展に大いに貢献した。

## 友寄　安彦 氏

沖縄県立北部病院の院外処方箋が発行される事を受け、北部地区薬剤師会の備蓄センターおよびFAX コーナー設置運営を行った。広域病院の院外処方箋発行は県内初の導入であり、備蓄センターおよびFAX コーナーの担当理事として職員研修や事務運営などに携わり、医薬分業を大きく発展させ尽力された。

北部地区薬剤師会の常務理事、監事、副会長の要職を歴任し、長年に渡り、北部地区薬剤師会の活動に積極的に関わり、組織運営等を支えてきた。関係職種団体とも積極的に連携をとり、会ならびに薬剤師の地位向上に努めた。名護市社会福祉協議会主催の健康相談会にて、高齢者の服薬指導やお薬手帳の有用性について講演して回るなど、積極的に地域医療の貢献に務めた。

また、北部地区薬剤師会ホームページを立ち上げ、地域住民だけではなく県内外多くの人々に会の活動状況を発信してきた。

## 中村　章弘 氏

行政薬剤師の立場から薬物乱用防止及びその普及啓発活動に長年取り組まれている。平成30 年度には、沖縄県薬剤師会へ行政薬剤師の新規会員の勧誘を積極的に行い大幅増員させ、組織強化に尽力すると同時に、若手行政薬剤師の育成や資質向上にも多大なる尽力をした。

# 令和３年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

## 日高　久美子 氏

沖縄県薬剤師会において、平成４年の会営薬局うえはらの立ち上げに携わる。浦添支部代議員として長きに亘り務めている。学術研修委員会委員としても活躍し会員のスキルアップ企画に貢献している。女性薬剤師部会活動にも積極的に協力し、浦添市乳児健診におけるお薬相談員としても大いに活躍している。

## 又吉　智賀子 氏

那覇地区薬剤師会の研修委員、小禄支部支部長、理事、副会長の要職に就き、会の発展と事業の円滑な運営のため尽力している。

沖縄県薬剤師会においても、代議員及び学術研修委員会委員を務めている。また、長きに亘り学校薬剤師として複数校を担当し、専門的な立場から指導助言を行い、学校環境衛生の充実と発展に貢献している。

〔沖縄県学校保健功労者表彰〕

## 井村　倫子 氏

昭和57年に沖縄県立石川高等学校の学校薬剤師として委嘱され、後に石川市立（現:うるま市立）城前小学校、石川中学校等、複数校の学校薬剤師を兼務し、長きに亘り学校薬剤師として学校環境衛生の定期検査や学校保健委員会を通して、専門的な立場から指導助言を行った。

また、学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、薬物乱用防止講話等の健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。

## 上原　学 氏

平成７年に沖縄県立辺士名高等学校の学校薬剤師に委嘱され、長きに亘り学校薬剤師活動を続け、学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献した。また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与した。

## 松井　美智子 氏

平成７年に恩納村立恩納小中学校（現：恩納小学校）を始め複数校の学校薬剤師に委嘱され、長きに亘り、学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献した。また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与した。

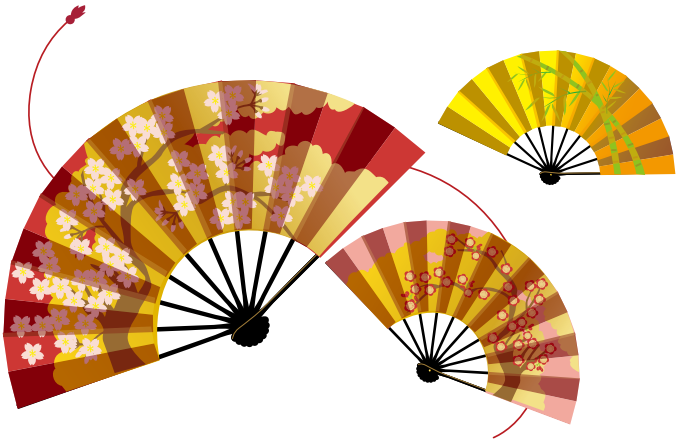
# 令和３年度受賞者プロフィール

〔沖縄県公衆衛生大会長表彰〕

## 柴田　忠佳 氏

平成 19 年に渡名喜村立幼小学校の学校薬剤師として委嘱され、以来、複数校を受け持ち沖縄本島のみならず現在も交通不便な離島の学校を担当し、学校環境衛生検査の指導助言を行い児童生徒の健康増進に貢献している。学校長及び養護教諭と連携し、学校保健、学校環境衛生について公衆衛生的見地から指導助言を行っている。

学校保健委員会を通して学校環境衛生、特に日常点検の重要性を説き、学校保健の発展に寄与した。また、薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話、資料提供等の指導助言等を行い、生徒らの健康増進に貢献した。



# 令和４年度受賞者プロフィール

〔旭日双光章〕

## 亀谷　浩昌 氏

大学卒業後の昭和 49 年に琉球大学医学部附属病院薬剤部に勤務するやいなや、沖縄県病院薬剤師会の理事も任されると、長きに亘り会の事務的役割も担い、病院薬剤師の教育・研修環境の改善に取り組んだ。病院薬剤師と薬局薬剤師のいわゆる薬薬連携として、薬剤師間の情報の共有化の取組等を主動的に行った。

その後、沖縄県薬剤師会理事・常務理事及び那覇地区薬剤師会会長を併任し、学術研修担当理事として､薬局勤務の薬剤師並びに新卒薬剤師を対象に薬事講習会や学術大会を開催し、薬剤師の資質向上及び後進の育成指導に尽力。並びに、医薬分業の発展に伴った調剤事故・過誤の対策を会員へ啓発ならびに指導した。平成 27 年 6 月にはこれまでの実績が認められ沖縄県薬剤師会会長に就任し、令和 3 年 6 月まで常勤の会長として積極的にあらゆる分野への薬剤師の参画の推進や薬剤師職のスキル向上、そして厚生労働省が推進する「患者のための薬局ビジョン」の確立のために奮闘した。

また、平成 25 年から現在において、学校薬剤師として専門的な立場から学校環境検査のみならず学校環境においての問題事項にも積極的に指導助言し、学校環境衛生の重要性を説き、学校保健の発展に寄与している。

〔日本薬剤師会賞〕

## 亀谷　浩昌 氏

前記の旭日双光章に記載。

〔薬事功労者厚生労働大臣表彰〕

## 下地　睦夫 氏

令和 3 年度薬事功労受賞者頁の沖縄県薬事功労者知事表彰に記載。

〔公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰〕

## 新川　重一 氏

令和 3 年度薬事功労受賞者頁の沖縄県公衆衛生大会知事表彰に記載。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔学校保健功労者文部科学大臣表彰〕

## 宮良　善孝 氏

昭和 63 年に石垣市立石垣小学校、他 4 校の学校薬剤師に委嘱され、学校環境衛生検査等の実施を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして学校環境衛生の改善、健康教育等に関する資料提供や指導助言を行い、学校保健活動の向上を以て児童生徒の健康増進に貢献した。

学校薬剤師部会八重山支部では数少ない学校薬剤師の離島担当者の公平及び個人負担の軽減を目的に、3 ～ 5 年を 1 クールの輪番方式とし、石垣島本島ならびに離島の幼稚園、小学校、中学校及び県立高等学校など複数校の学校薬剤師活動を献身的に行ってきた。八重山支部長として活動もされ、支部組織の強化、支部研修会を開催し会員の資質の向上、新人学校薬剤師の発掘、遠隔地・離島への学校薬剤師の配置などに貢献した。また、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話、資料提供、指導助言等を献身的に行い、公衆衛生的見地から生徒らの健康増進に貢献した。

全国学校保健研究大会を始め、種々の学校保健に関する講習会に参加し、得た知識を担当校での「薬物乱用防止教室」等を講演して学校現場で役立てた。

〔九州山口薬剤師会会長賞〕

## 神谷　朝雄 氏

沖縄県内の大手医薬品卸売販売業に長年に亘り従事し、医薬品の品質管理・安定供給に尽力するとともに、医薬品の情報提供のうち、特に患者の生命に危険のある情報の開示と啓蒙に努力し、社員教育、後進の薬剤師の育成指導等、薬剤師業務の発展向上に寄与した。また、県内の各薬局へ労務提供し、薬局の設立、医薬品の品質管理等の指導を行った功績は大きい。

沖縄県薬剤師会卸勤務薬剤師部会代表理事として会務に関わり、また、財務担当理事を経て監事として会の健全な財務管理・運営に尽力するとともに、薬剤師会の発展に寄与した。

## 我喜屋　美香 氏

平成 23 年に沖縄県薬剤師会理事に就任。保健福祉委員会委員として、健康とおくすり相談会、県民健康フェア等を担当。禁煙活動にも第一人者として尽力した。薬学生実務実習受入委員会では委員長として薬学生の受入に積極的に取り組んだ。災害対策委員会としては、2011 年の東日本大震災へ逸早く被災地支援薬剤師として活躍し、同年に沖縄県で開催された九州山口薬学大会の災害シンポジウムにおいては座長を務めた。

また、学校薬剤師としても、薬剤師の立場から、児童・生徒、又は地域の方に対し、公衆衛生、薬物乱用防止、禁煙等の講話を行ってきた。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔九州山口薬剤師会会長賞〕

## 田場　英治 氏

沖縄県薬剤師会専務理事及び沖縄県病院薬剤師会副会長・会長代理を併任し、組織並びに活動の基盤づくりを行った。薬剤師生涯学習の分野において薬局ならびに病院に勤務の薬剤師ならびに新卒薬剤師を対象に毎年薬事講習会を開催し、薬剤師の資質向上に尽力した。薬薬連携活動の当初より、薬薬連携会議や研修会等で薬剤師間の情報の共有化の取組等を主動的に行い、薬薬連携の強化に努めるとともに、後進の育成指導に尽力した。

## 宮城　敦子 氏

薬局を経営する傍らメディカルハーブコーディネーター、アロマテラピーアドバイザー、健康ジャーナリストとして雑誌やサイトのコラム執筆など活動を広げ、地元ケーブルテレビやラジオ放送において自らの番組でパーソナルティー・キャスターを務め、薬剤師職能 PR も行った。自著に「薬剤師クララが行く！」「薬の正しい飲み方・使い方がよくわかる本」、共著書に「薬剤師のためのコミュニケーションスキルアップ」がある。

沖縄県薬剤師会では、広報担当理事を長きに務め、現在も広報委員会委員長を務めている。会員や薬局・病院を取材し会報誌「おきなわ薬剤師会報」誌面を充実させ、薬と健康の週間における県民公開講演会や九州山口薬学大会（沖縄県開催）の司会も務めた。

〔日本公衆衛生事業功労者表彰〕

## 大浜　貴子 氏

昭和 50 年石垣市に薬局を開設、地域保健医療に関わるようになり開局の傍ら昭和 52 年、石垣島本島及び離島など複数校の学校薬剤師として委嘱され、以来、40 年以上、学校長及び養護教諭と連携し、薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等の学校保健、学校環境衛生について公衆衛生的見地から指導助言を行っている。

平成 11 年から平成 30 年まで学校薬剤師八重山支部の支部長に就き、組織の強化、会員の資質向上を図り、石垣島並びに交通不便な遠隔地・離島へき地の幼小中学校の学校保健の発展に貢献した。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

## 普久原　隆 氏

平成 10 年にアリス薬局を開局して以来、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に努めている。平成 15 年には沖縄市介護認定審査会委員に就任し、地域社会の活動に積極的に協力している。平成 17 年から長きに亘って沖縄県立泡瀬特別支援学校の学校薬剤師として学校環境衛生の充実と発展に貢献している。

また、平成 18 年に中部地区薬剤師会理事に就任して以来、会運営の要役として運営に取り組み、副会長、会長と要職も務めてからも、病院薬剤師との薬薬連携、若手薬剤師の育成を強化するなど、会員の資質向上と組織の発展に多大な貢献をしている。

## 金城　雄一 氏

昭和 63 年に国立都城病院薬剤科に入職。平成 2 年に那覇市立病院薬剤部に入職。平成 24 年に同副薬剤部長、平成 2　年に薬剤部長に就任し、病院薬剤師として 30 年以上地域医療に貢献している。

また、平成 28 年に沖縄県病院薬剤師会理事、令和 2 年に同会副会長に就任し、職責を精励してきた。がん分科会代表者として県内各施設のがん担当者との連携のための集まりを継続的に企画し、県内がん医療の発展を牽引してきた。　また病棟薬剤業務実施加算の責任者として、病棟薬剤業務実施加算業務が開始された当　初から県内の病棟業務の推進に尽力されてきた。

同時に、沖縄県薬剤師会常任理事、那覇地区薬剤師会副会長として、病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携を深めた。

〔日本薬剤師会学校薬剤師賞〕

## 村田　成夫 氏

沖縄県薬剤師会理事並びに学校薬剤師部会長の要職を歴任し、沖縄県における薬事衛生、公衆衛生の発展に献身的に努力され、特に学校保健については、諸施策を実施し飛躍的な推進により、学校薬剤師職能の向上を図った功績は顕著である。また、宮古郡多良間島、粟国島及び北大東島など離島、また国頭郡僻地等で薬物乱用防止講話を積極的に行うなど、学校保健衛生の向上に寄与した。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

## 新垣　勝子 氏

長年、薬局薬剤師として携わり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

## 新垣　秀子 氏

長年、地域の薬局に勤務し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与していた。また、学校薬剤師としても長きに亘り活動され、現在も、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与している。同時に、沖縄県学校薬剤師会の役員を 17 年務めた。

平成 16 年に学校保健功労者文部科学大臣表彰を受賞。

## 大城　輝子 氏

自ら薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与していた。

## 神山　朝喜 氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給･医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、昭和 46 年県薬剤師会理事就任と同時に広報委員会委員長に就任。会報誌発行の責任者として会報発行を定着化させ、その内容の一層の充実をもたらした功績は多大である。以後、同委員長を退いた後も 40 年以上の長きにわたり、会報の執筆活動に携わり、会員の資質向上に大きく寄与している。

平成 21 年に九州山口薬学大会会長表彰を受賞。

## 仲尾次　貞夫 氏

自ら薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与していた。

## 仲宗根　重弘 氏

自ら薬局を開設し、現在も良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、学校薬剤師としても長きに亘り活動され、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与した。

平成 16 年に沖縄県学校保健功労者表彰を受賞。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

## 仲村　英和 氏

都市圏から離れた沖縄本島北部の地に薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。同時に、北部地区薬剤師会の役員にも長年歴任した。また、学校薬剤師としても長きに亘り活動され、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与した。

平成 13 年に薬事功労者厚生労働大臣表彰、平成 22 年に沖縄県学校保健功労者表彰を受賞。

## 屋宜　信秀 氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、長年、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与していた。同時に、那覇地区薬剤師会の役員にも長年歴任した。また、学校薬剤師としても長きに亘り活動され、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与した。

昭和 56 年に沖縄県学校保健功労者表彰を受賞。

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

## 伊波　恵美子 氏

昭和 59 年に浦添市に薬局を開設以来、地域に根差した身近な健康相談薬局として近隣住民からの信望も厚く、また、医薬品の安全使用、医療品の正しい情報提供に努め地域医療に大きく貢献した。食生活アドバイザーの資格を有し、食生活の面からも健康維持のアドバイスを実施してきた。

## 上間　秀子 氏

沖縄県薬剤師会会営薬局に勤務しながら、青年部役員を務めるなど会活動にも積極的に参画。結婚・子育てのため退社後は、長年、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供をしている親族が経営する薬局に入社、現職している。また、中部地区薬剤師会においても、「健康とおくすり相談会」に相談員として参加するなど、地域の保健・福祉活動にも積極的に協力している。さらに、子育ての中、沖縄県薬剤師会の活動にも復帰し、薬学生実務実習指導薬剤師や学校薬剤師としても精力的に活動している。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

## 島袋　さゆり 氏

県内の大手医薬品卸販売業に長年に亘り従事し、医薬品の品質管理・安定供給に尽力しており、日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部では、長きに亘り理事を務め、会の運営に寄与している。

沖縄県薬剤師会では、卸勤務薬剤師会代表理事を務める他、多くの委員会に委嘱され活動している。薬学生実務実習において、医薬品の流通に関わる卸勤務薬剤師の業務を解説し卸会社見学・研修会を毎年行っている。

## 神山　康博 氏

昭和 50 年に名護中央薬局を開局して以来、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に長きに亘り行っている。また、学校薬剤師を 30 余年務め、地域の公衆衛生向上に貢献した。さらに、「健康とおくすり相談会」や「ダメ。ゼッタイ。普及運動 6.26 街頭キャンペーン」にも参加するなど、地区薬剤師会や地域活動にも積極的に協力している。

## 平良　真哉 氏

平成 11 年に県立宮古病院の分業開始に応じて開局した地元薬局へ勤務。手探りの分業創生期の頃、門前薬局薬剤師として分業のメリットを患者へ啓蒙しつつ分業普及へ努めた。その後、開業医に分業が浸透していく中、堅実な調剤で開業医の信頼を得、平成 21 年には眼科医院の門前に自らの調剤薬局を開設した。他の保険薬局への情報提供や薬剤の小分けなどの役割を担い、各応薬局の調剤業務をフォローし負担軽減に寄与している。また、地区薬剤師会では平成 21 年度から調剤過誤、ヒヤリハットの情報収集を行う調剤過誤担当委員として会員の資質向上に取り組み、平成 26 年度からは地区薬剤師会理事として会の運営に貢献している。

## 知名　博樹 氏

平成 18 年に学校薬剤師として委嘱されて以来、複数の担当校を受け持ち、薬の専門的立場から学校環境衛生の指導・助言および薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を行い、公衆衛生的見地から児童生徒の健康増進に貢献している。学校薬剤師部会の副部会長として、学校環境衛生・安全管理講習会の定期検査・日常検査の講義や新任・新人研修会や学校薬剤師部会新人研修会での学校薬剤師部会紹介及び学校環境衛生に関する講義、実務実習生向け学校薬剤師職能紹介の講義など、多岐にわたり講師を務め学校薬剤師の普及と資質向上に貢献している。

# 令和４年度受賞者プロフィール

〔沖縄県学校保健功労者表彰〕

## 知念　邦之 氏

昭和 63 年に那覇市立城北中学校、平成 7 年には沖縄県立首里東高等学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、長きに亘り学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献している。

## 伊波　勇 氏

昭和 51 年に宜野湾市立大謝名幼小学校、平成 4 年には沖縄県立宜野湾高等学校の学校薬剤師を務め、意欲的に学校環境衛生の維持改善に関し専門的立場から助言・指導を行い、県内外の講習会や大会等に積極的に参加し、学校保健の伸展に寄与した。また、ネズミの駆除、隣接地のセメント等の廃棄処理場からの粉塵測定などを実施し指導助言を行った。さらに、薬局を開局する傍ら学校薬剤師部会中部支部長を務め支部の組織強化と会員の資の向上及び学校保健の充実発展に貢献した。

## 平敷　恒弘 氏

昭和 63 年に西原町立西原東幼小学校、平成 7 年には西原南幼小学校の学校薬剤師に委嘱され、平成 29 年まで長きに亘り学校薬剤師活動を続け、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献した。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与した。

〔沖縄県公衆衛生大会長表彰〕

## 又吉　智賀子 氏

平成 18 年から複数校の学校薬剤師として委嘱され、以来、学校長及び養護教諭と連携し積極的に学校保健、学校環境衛生について公衆衛生的見地から指導助言を行い、学校保健の発展に寄与している。学校保健委員会を通して学校環境衛生､特に日常点検の重要性を説き、学校保健の発展に寄与した。薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話、資料提供等の指導助言等を行い生徒らの健康増進に貢献した。

平成 22 年には学校薬剤師部会那覇地区支部長に就き、組織強化、会員の資質向上を図るとともに、那覇市教育委員会主催の学校水泳プール管理講習会で講師を務め、以来、薬剤師が講習会の講師として関わる体制を確保するなどの貢献をした。

# 祝賀会スナップ写真

開会のことば
米村 一成 氏

主催者あいさつ
前濱 朋子 会長

来賓あいさつ
糸数 公 氏

乾杯の音頭
伊集院 良憲 氏

受賞者代表挨拶
亀谷 浩昌 氏

祝　辞
古謝 玄太 氏

閉会のことば
前里 忍 氏

司　会
宮城 幸枝 氏

出席者全員で乾杯！

中部地区薬剤師会関係者

那覇地区薬剤師会関係者

南部地区薬剤師会関係者

宮古地区薬剤師会関係者

八重山地区薬剤師会関係者

登録販売者協会関係者

学校薬剤師部会関係者

女性薬剤師部会関係者

病院薬剤師部会関係者

行政薬剤師部会関係者

卸業協会関係者

熟年の集いのみなさま

受賞者のみなさま
心よりお祝い申し上げます

トピックス

# 日本薬剤師会・都道府県薬剤師会・地域薬剤師会
# 抗原定性検査キットの販売体制の整備・充実に関する意見交換会

薬事情報担当理事
吉田 典子

令和4年12月20日・21日の両日にweb開催された日本薬剤師会との意見交換会には、本会と6地区薬剤師会の役員等が参加した。

この意見交換会は､抗原定性検査キット(以下、キットと記載）のさらなる販売体制の充実に関する協力依頼及び薬局や薬剤師会から地域住民に向けて、より分かりやすい方法で周知・発信していくことを早急に検討・対応すべく、各地域での取組状況をはじめ、問題点や課題などを共有し確実に推進していくことを目的に開催された。

キットの販売体制については、各都道府県薬剤師会が販売薬局のリスト化等に取り組む中、厚生労働省や日本薬剤師会などに、国民からキットが購入できないという声が未だに寄せられているとして、12月9日に日本薬剤師会が「新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査キットに関するさらなる販売体制の充実ついて」を発出し協力依頼されている。

意見交換会では、「年末年始を含む休日当番薬局における検査キットの販売」、「キット販売薬局のリスト・マップの作製・周知」、「ネット活用だけではない情報発信の工夫(高齢者の多い地域では不十分)」、「ケーブルテレビなどの活用（ローカル性の高いメディアの活用)」、「行政と連携した広報・SNSなどの活用」､「地域医師会等とのリスト等の共有等」が報告された。

本会では第7波の反省も踏まえ、以下の取組を行った。

令和4年11月4日に全保険薬局へ、発熱等の体調不良時に備えてキットと解熱鎮痛薬等を予め購入しておくことを患者等の来局者に周知するようFAX一斉同報した。

夜間・休日等の対応については、薬局独自で夜間・休日等の対応をしている薬局・薬剤師がコロナ禍当初より少しずつで増えているが、それでも夜間・休日等に対応できる薬局が大いに不足していることから、11月11日に沖縄県庁内の記者クラブにおいて会見を開き、県民へ流行前にキットや解熱鎮痛剤等を備えておくことなどについて呼びかけた。キットについては本会ホームページに掲載されているキット販売薬局一覧（1月18日現在209件）を見ていただき最寄りの薬局・薬剤師を利用するよう重ねて呼びかけた。平日の夜間と土・日・祝日には、本会の会営薬局医療センター前にて販売していることも広報した。キット販売薬局一覧の頁は随時更新し、グーグルマップで自宅近くの薬局が探せるよう工夫した。

これにより11月14日には、改めて、全保険薬局へFAX一斉同報にて販売体制を確認し、キット取り扱い薬局のリスト更新を行うと同時に、唾液用および新型コロナウイルス・インフルエンザ同時検査キットの取り扱いの項目追記し、夜間・休日における対応についても情報収集を行い､本会ホームページに公開、関係機関等へ共有した。

意見交換会の翌日には沖縄県に新型コロナパーソナルサポートRICCAにキット販売薬局リストを掲載していただくよう伝え、即日掲

載された。

12月6日には、地元紙の副読紙（週刊ほ～むぷらざ）の記者から、新型コロナウイルス感染第8波に向けての対策等に係る取材を受け、キットと市販薬の常備を呼び掛けた。（令和5年1月12日号掲載）

12月28日には「抗原検査キット販売薬局の案内窓口」を薬事情報センターに設置し、同日に行われた地元放送局の琉球放送（RBC）の取材の中で、前濱会長がキットの事前備えと共に同案内窓口についても広報した。また、同案内窓口の県民への周知については、地元紙2社の紙面にある救急当直医欄に本会の会営薬局医療センター前の案内ともに記載していただいた。さらに、本会制作のCMに、キットと市販薬の常備することとともに「抗原検査キット販売薬局の案内窓口」の呼び掛けキャプションを追記し、年明け1月7日からRBCにて放送した。これらの広報活動等により、12月28日以降1月19日現在で同案内窓口への問い合わせは111件にも達した。年末年始には、本会の会営薬局医療センター前に多くの県民がキットを求めて訪れ対応に追われた。キット販売には急な依頼にもかかわらず役員やワクチン相談センター担当薬剤師、事務局職員にも協力していただいた。

その他、本会では第7波の反省も踏まえ、10月・11月の定例理事会において地区薬剤師会代表理事に、地域医療提供に係る地域医師会や自治体、医療機関との体制整備の調整を積極的に行える旨を地区薬剤師会にて共有していただくよう伝えた。早速、那覇市医師会が軽症者発熱外来を設置することになり、那覇地区薬剤師会が輪番薬剤師を募り、年末年始、土・日・祝日営業の同発熱外来所で対応した。投薬窓口においてもキットと解熱鎮痛剤の備えについて広報した。また、5歳未満の小児に対する抗インフルエンザ薬の処方を本会の会営薬局医療センター前で受けた。1月8日からは沖縄県医師会において沖縄県小児等発熱軽症者抗原検査センターを臨時発熱外来として設置したのを受け、抗インフルエンザ薬の処方については本会の会営薬局医療センター前で対応したが、非常に混み合ったため、近隣の薬局に協力依頼をして輪番体制で対応を行った。

第7波で感染者数が全国的にも突出し医療提供体制が危機的な状況となった沖縄県では、全国に先んじて新型コロナウイルス感染症対策に関する取組を行っている。意見交換会で報告された他県の取り組み事例も参考にして、本会としてもさらなる体制整備や情報発信に取り組んでいく。

※　次頁に関連記事掲載
○転載記事　週刊ほーむぷらざ『検査キットと市販薬の常備を』
○転載記事　琉球新報・沖縄タイムス『救急当直医頁』

## 転載記事

令和5年1月12日（木）　週刊ほーむぷらざ

万一のコロナ 備えて安心

# 検査キットと市販薬の常備を

## キットは「医療用」を購入して

万が一、コロナに罹患した時の薬の備え、していますか？　沖縄県薬剤師会は、「医療用の抗原検査キット、市販の解熱鎮痛剤を常備しておいてください」と呼びかける。何を備えておくべきか、教えてもらった。

Q　抗原検査キットって、どんなもの？

A　コロナウイルスの構成成分のタンパク質に特異的な抗体を用いてコロナウイルスを検出します。判定時間はキットによって異なりますが、約30分ほど。自宅で手軽に行えます。

キットには、唾液を使うタイプと、鼻にめん棒を入れて拭うタイプがあります＝左イラスト。

鼻からの検体は、手軽で使いやすいのが特徴。ただし、痛みを伴うことがあるため、使用が難しい人もいます。使用の際は、くしゃみによる二次感染を防ぐため、周りに人がいないところで検査をしましょう。

唾液を使うタイプは痛みがなく、子どもから高齢者まで幅広く使えます。使用の際は、30分前からうがいや飲食は控えて、発症後9日目までの間に使用してください。また、症状がない時に使用すると結果が正しく出ない可能性があります。

検査キットには研究用と医療用があるのですが、行政の陽性登録に使えるのは、国が承認した「体外診断用医薬品」または「第一類医薬品」と表示された製品です。誤って「研究用」を購入しないよう、ご注意ください。購入の際は、薬剤師のいる薬局で、使用法の説明を受けた上で購入してください。

県薬剤師会のホームページで、医療用の抗原検査キットを販売している薬局を公表しているので、参考にしていただけるとうれしいです＝左下囲み。医療用が手に入りにくい時期もありましたが、現在は広く出回り、手に入れやすくなっています（一つ150円～2000円前後）。

Q　どんな市販薬を備えるといい？

A　医療現場のひっ迫を抑えるため、軽症の人は自宅での療養が勧められています。

一家に一箱、解熱鎮痛剤を常備しておきましょう。解熱鎮痛剤は、熱、喉の痛みを緩和します。

解熱鎮痛剤は、非ステロイド性抗炎症薬（イブプロフェン・ロキソプロフェンなど）と、それ以外（アセトアミノフェン）に大きく分類されます。どちらも長く使われてきた薬ですが、アセトアミノフェンは、より副作用が少なく、妊娠や授乳中、乳幼児にも使えます。

一時期アセトアミノフェンが手に入りにくくなったことがありますが、そのほかの解熱鎮痛剤も使用できます。使い慣れた薬があれば、そちらを使うといいでしょう。常備薬がある人は、コロナに罹患した際に使えるか、前もって薬剤師に確認してください。

Q　ほかに、備えておいたほうがいいものは？

A　マスクや消毒用エタノール、体温計、経口補水液、食糧は備えておくと安心です。

体温計は、電池が切れていないかチェックしてください。

実際にコロナにかかると動揺しやすいので、かかりつけの病院や薬局、家族の連絡先を控えておくといいでしょう。いざという時に相談ができる、かかりつけの薬局、薬剤師を決めておくといいですよ。

（栄野川里奈子）

常備しておきたい医療用の抗原検査キットや解熱鎮痛剤。基礎疾患がある人や妊娠・授乳中などの場合は、購入前に薬局の薬剤師に相談を

右から、県薬剤師会の吉田典子薬情報センター長、前濱朋子会長、大城喜仁事務局長

### 解熱鎮痛剤を一家に１箱

### 抗原検査キットは２種類

**鼻から検体**

綿棒を鼻から挿入し、粘膜部分を拭ったものを使用する。手軽で使いやすいが、痛みを伴うことがある。

**唾液から検体**

唾液を用いて判定する。痛みや出血がないため、子どもから高齢者まで利用しやすい。

**インフルとの同時検査キット発売**

新型コロナウイルスとインフルエンザを同時に検査できる医療用の抗原検査キットが、先月末に販売開始した。県内の薬局やドラッグストアでも販売中。

**医療用キットの販売店一覧を公表**

県薬剤師会のHPで、医療用の抗原検査キットの販売店の一覧が公表されていて、地図上で確認できる。【沖縄　抗原検査キット】で検索。

抗原検査キット販売案内窓口　電話＝098（963）8931（午前９時～午後５時）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

## 転載記事

琉球新報　令和4年12月23日（金）

23日（金）救急当直医

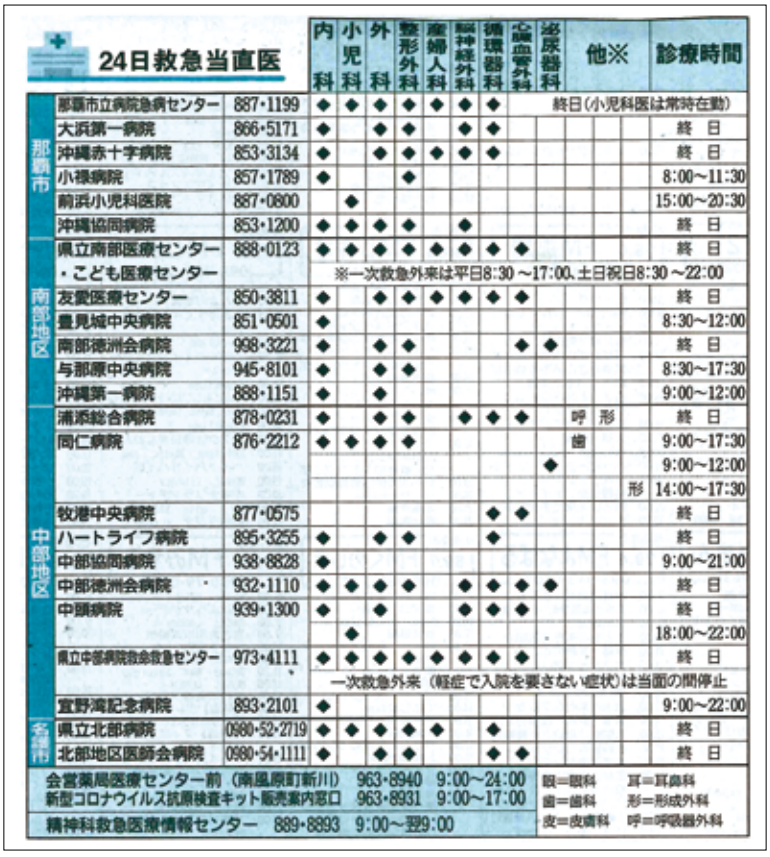
| | 病院名 | 電話 | 内 | 小 | 外 | 整 | 産 | 脳 | 循 | 心 | 泌 | 他 | 診療時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 那覇地区 | 那覇市立病院 | 884—5111 | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | ＊ | | 8：30～17：00 |
| | 〃急病センター | 887—1199 | | ＊ | | | ＊ | ＊ | | | | | 17：00～翌8：30 |
| | | | | | | | | | | | | (小児科医は常時在勤) | |
| | | | ＊ | | ＊ | ＊ | | | ＊ | | | | 17：00～19：30 |
| | 沖縄赤十字病院 | 853—3134 | ＊ | | ＊ | ＊ | | | | | | | 9：00～20：00 |
| | | | | ＊ | | | ＊ | ＊ | ＊ | | | | 9：00～17：00 |
| | 大浜第一病院 | 866—5171 | ＊ | | ＊ | ＊ | | ＊ | ＊ | | | | 終日 |
| | 小禄病院 | 857—1789 | ＊ | | | | | | | | | | 8：00～16：30 |
| | 前浜小児科医院 | 887—0800 | | ＊ | | | | | | | | | 15：00～20：30 |
| | 沖縄協同病院 | 853—1200 | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | ＊ | ＊ | | | | 終日 |
| | | | (小児科医在勤は8：30～17：00、18：00～20：00) | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | ＊ | | | 8：30～17：00 |
| | 沖映通り眼科 | 868—8082 | | | | | | | | | | 眼 | 10：00～12：00 |
| | | | | | | | | | | | | | 13：40～18：30 |
| 南部地区 | 県立南部医療センター・こども医療センター | 888—0123 | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | | 終日 |
| | | | ※一次救急外来は平日8：30～17：00、土日祝日8：30～22：00 | | | | | | | | | | |
| | 豊見城中央病院 | 851—0501 | ＊ | | | | | | | | | | 8：30～18：30 |
| | 南部徳洲会病院 | 998—3221 | ＊ | | ＊ | ＊ | | | | ＊ | ＊ | | 終日 |
| | 与那原中央病院 | 945—8101 | ＊ | | ＊ | ＊ | | | | | | | 8：30～17：30 |
| | 友愛医療センター | 850—3811 | ＊ | | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | | 終日 |
| | 沖縄第一病院 | 888—1151 | ＊ | | ＊ | | | | | | | | 9：00～17：00 |
| 中部地区 | 浦添総合病院 | 878—0231 | ＊ | | ＊ | ＊ | | ＊ | ＊ | ＊ | | 形・呼 | 終日 |
| | 牧港中央病院 | 877—0575 | | | | | | | ＊ | ＊ | | | 終日 |
| | 同仁病院 | 876—2212 | ＊ | ＊ | ＊ | | | | | | ＊ | | 9：00～17：30 |
| | | | | | | ＊ | | | | | | 皮 | 9：00～12：00 |
| | | | | | | | | | | | | 歯 | 14：00～17：30 |
| | 宜野湾記念病院 | 893—2101 | ＊ | | | | | | | | | | 9：00～22：00 |
| | 中部協同病院 | 938—8828 | ＊ | | | | | | | | | | 9：00～21：00 |
| | 中部徳洲会病院 | 932—1110 | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | 終日 |
| | 中頭病院 | 939—1300 | ＊ | | ＊ | | | ＊ | ＊ | ＊ | | | 終日 |
| | | | | ＊ | 月曜日～土曜日は18：00～22：00、日曜・祝祭日は9：00～12：00、18：00～22：00 | | | | | | | | |
| | 県立中部病院救命救急センター | 973—4111 | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | | 終日 |
| | | | 一次救急外来（軽症で入院を要さない症状）は当面の間停止 | | | | | | | | | | |
| | ハートライフ病院 | 895—3255 | ＊ | | ＊ | ＊ | | | ＊ | | | | 終日 |
| | | | | | | | | ＊ | | | | | 22：00迄 |
| 北部地区 | 県立北部病院 | 0980-52-2719 | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | ＊ | | ＊ | | | | 終日 |
| | 北部地区医師会病院 | 0980-54-1111 | ＊ | | ＊ | ＊ | | | ＊ | ＊ | | | 終日 |

新型コロナウイルスの影響で変更の場合があります。事前に各医療機関にお問い合わせください。
新型コロナウイルス感染症 相談窓口（コールセンター） 電話098(866)2129（24時間対応）
新型コロナウイルス抗原検査キット販売案内窓口電話098(963)8931（午前9時～午後5時）

■精神科救急医療情報センター、電話098(889)8893 午後5時～翌日午前9時（土・日曜・祝祭日は午前9時～翌日午前9時）▶沖縄県薬剤師会会営薬局医療センター前（南風原町新川218—10）電話098(963)8940 午後7時～午前0時（土・日曜・祝祭日は午前9時～午前0時）

（注）内＝内科、小＝小児科、外＝外科、整＝整形外科、産＝産婦人科、脳＝脳神経外科、循＝循環器科、心＝心臓血管外科、泌＝泌尿器科、耳＝耳鼻咽喉科、眼＝眼科、歯＝歯科、形＝形成外科、呼＝呼吸器外科、皮＝皮膚科

沖縄タイムス　令和4年12月24日（土）



24日救急当直医

| | 病院名 | 電話 | 内科 | 小児科 | 外科 | 整形外科 | 産婦人科 | 脳神経外科 | 循環器科 | 心臓血管外科 | 泌尿器科 | 他※ | 診療時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 那覇市 | 那覇市立病院急病センター | 887・1199 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | | 終日（小児科医は常時在勤） | |
| | 大浜第一病院 | 866・5171 | ◆ | | ◆ | ◆ | | ◆ | ◆ | | | | 終日 |
| | 沖縄赤十字病院 | 853・3134 | ◆ | | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | | | 終日 |
| | 小禄病院 | 857・1789 | ◆ | | | ◆ | | | | | | | 8:00～11:30 |
| | 前浜小児科医院 | 887・0800 | | ◆ | | | | | | | | | 15:00～20:30 |
| | 沖縄協同病院 | 853・1200 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | ◆ | | | | | 終日 |
| 南部地区 | 県立南部医療センター・こども医療センター | 888・0123 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | | 終日 |
| | | | ※一次救急外来は平日8:30～17:00、土日祝日8:30～22:00 | | | | | | | | | | |
| | 友愛医療センター | 850・3811 | ◆ | | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | | 終日 |
| | 豊見城中央病院 | 851・0501 | ◆ | | | | | | | | | | 8:30～12:00 |
| | 南部徳洲会病院 | 998・3221 | ◆ | | ◆ | ◆ | | | | ◆ | ◆ | | 終日 |
| | 与那原中央病院 | 945・8101 | ◆ | | ◆ | ◆ | | | | | | | 8:30～17:30 |
| | 沖縄第一病院 | 888・1151 | ◆ | | ◆ | | | | | | | | 9:00～12:00 |
| 中部地区 | 浦添総合病院 | 878・0231 | ◆ | | ◆ | ◆ | | ◆ | ◆ | ◆ | | 呼 形 | 終日 |
| | 同仁病院 | 876・2212 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | | | | | 歯 | 9:00～17:30 |
| | | | | | | | | | | | ◆ | | 9:00～12:00 |
| | | | | | | | | | | | | 形 | 14:00～17:30 |
| | 牧港中央病院 | 877・0575 | | | | | | | ◆ | ◆ | | | 終日 |
| | ハートライフ病院 | 895・3255 | ◆ | | ◆ | ◆ | | | ◆ | | | | 終日 |
| | 中部協同病院 | 938・8828 | ◆ | | | | | | | | | | 9:00～21:00 |
| | 中部徳洲会病院 | 932・1110 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | 終日 |
| | 中頭病院 | 939・1300 | ◆ | | ◆ | | | ◆ | ◆ | ◆ | | | 終日 |
| | | | | ◆ | | | | | | | | | 18:00～22:00 |
| | 県立中部病院救命救急センター | 973・4111 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | | 終日 |
| | | | 一次救急外来（軽症で入院を要さない症状）は当面の間停止 | | | | | | | | | | |
| | 宜野湾記念病院 | 893・2101 | ◆ | | | | | | | | | | 9:00～22:00 |
| 名護市 | 県立北部病院 | 0980・52・2719 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | | ◆ | | | | 終日 |
| | 北部地区医師会病院 | 0980・54・1111 | ◆ | | ◆ | ◆ | | | ◆ | ◆ | | | 終日 |

会営薬局医療センター前（南風原町新川） 963・8940 9:00～24:00
新型コロナウイルス抗原検査キット販売案内窓口 963・8931 9:00～17:00
精神科救急医療情報センター 889・8893 9:00～翌9:00

眼＝眼科　耳＝耳鼻科
歯＝歯科　形＝形成外科
皮＝皮膚科　呼＝呼吸器外科

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

実務実習

# 令和４年度第Ⅲ期薬学生実務実習報告

薬学生実務実習受入委員会
宮本 直樹

令和4年度第Ⅲ期薬学生実務実習が無事に終了したので報告する。

第Ⅲ期は8月22日(月)～11月6日(日)までの日程で行われ、2大学（横浜薬科大学・愛知学院大学）から2名の学生を受け入れた。

第Ⅲ期はⅠ期・Ⅱ期と比べて学生数は少ないが、その分集合研修などでは学生の理解度や進捗状況に合わせて指導でき、また2人が協力して作業する姿なども見られた。実務実習受入委員会としては、将来のために大学の枠を越えた学生同士の横のつながりも作って欲しいと考えているので、その点でも良かったと思う。

日々の薬局での実習に加え、外部実習では漢方・OTC・薬局製剤・在宅医療・学校薬剤師・医薬品卸の見学など各関係機関の協力の下、薬剤師が関わる様々な業務を体験してもらうことができた。

集合研修では、薬剤師資格を持ち現在琉球大学医学部生の平井聖司先生による『実務実習のツボとコツ』では“受容体から薬の作用・副作用を考える”をテーマに独自の資料を用いて指導して頂き、琉球大学病院薬剤部の佐久川卓先生による『災害時医療と薬剤師』では先生のDMAT隊員としての経験から、災害に対する備えや災害時における最前線での薬剤師の役割などをご指導頂いた。どちらも毎回大好評で、学生だけではなく我々現場の薬剤師としてもとても勉強になる内容であった。

コロナ禍の状況で日々の業務も多忙な中、今回も快く実習生を受け入れて頂いた薬局・指導薬剤師・薬局スタッフ・外部実習や集合研修でご協力頂いた先生方・関係協力機関には改めて感謝を申し上げ、私からの報告とする。

**協力施設・委員会・団体**　（順不同）

○こくら虹薬局　○ぼたん薬局　○ヴァインドラッグ 末吉店　○株式会社 スズケン沖縄薬品
○各地区薬剤師会　○学校薬剤師部会　○学校薬剤師

**実務実習薬学生・受入薬局**　（敬称略・順不同）

| 薬学生氏名 | 大　学 | 受入薬局 | 指導薬剤師氏名 |
|---|---|---|---|
| 赤　嶺　ひかる | 横浜薬科大学 | こくら虹薬局 | 兼　城　明　子 |
| 荘　　智　翔 | 愛知学院大学 | とくりん薬局 赤嶺駅前店 | 仲宗根　雅　恵 |

# 令和4年度第Ⅲ期実務実習薬学生からの体験記・感想

横浜薬科大学５年　赤嶺 ひかる
（こくら虹薬局 実習　指導薬剤師　兼城 明子）

薬局実習にて、たくさんのことを学ぶことができました。

外部実習では漢方薬局、ドラッグストア、医薬品卸の見学を行い沢山の貴重な経験が出来ました。

実務実習終了後に大学で、実習でどういうことをしたのかお互いに共有する目的の小討論会が行われた際もここまで外部実習が充実していた方は他にいませんでした。

色々企画して実施してくださっている皆様に感謝しなければいけないと再度認識しました。

どの実習、講習もとても勉強になりましたが、個人的にはドラッグストアでの研修と医薬品卸の見学が特に印象に残りました。

ドラッグストアは一番身近な場所ということもあり興味がありました。

まず、漢方専門の相談カウンターがあるのに驚きました。続いて、薬剤師の先生の話を聞き、シャンプーなどの日用品からサプリメント、OTC 医薬品までいろんな分野の知識の多さにびっくりしました。私も、いろんな分野で患者さんと話のできる知識を持った薬剤師になりたいと思っているので、とても印象に残りました。

医薬品卸に関しては、そもそも卸に薬剤師がいるという事を知らなかったので印象に残りました。仕事内容も丁寧に教えてもらい、とても貴重な経験ができたと感じました。

また、医薬品の流通・管理の方法は今回の機会が無ければ知る事は無かったと思います。

どこが欠けても患者さんに最良の医療を届けることはできないと思うので、病院・薬局だけでなくいろんな目線で薬を捉えることができてよかったです。

11 週間という短い期間の中でこんなに充実した実習ができたのは、薬局での日々の指導はもちろんのこと、外部実習もたくさん行ってもらえたからだと思います。関東で実習をする選択もありましたが、地元の沖縄で実習できてよかったと感じています。薬局実習で学んだことを生かして、この後に控えている病院実習、そして国家試験も乗り越えて行きたいです。地元に貢献できる薬剤師になって帰ってきます！本当にありがとうございました。

令和4年度第Ⅲ期実務実習薬学生 オリエンテーション（令和4年8月22日）

集合研修「天才！平井君のわくわく実務実習のツボとコツ」（令和4年10月5日）
講師：平井聖司氏（琉球大学医学部学生・薬剤師）：写真中央

愛知学院大学５年　荘 智翔
（とくりん薬局赤嶺駅店 実習　指導薬剤師　仲宗根 雅恵）

薬局実務実習を終えた今、沖縄で実習することが出来て本当に良かったと思っています。実習先の薬局では、私が困っているとすぐに薬剤師さんが丁寧に教えてくれました。実習が始まった頃は、調剤で、シートを切る時に穴を開けてしまったり、服薬指導では聞き漏れがあったり、飲み合わせについても全然分からなくて、薬歴を書くのに時間がかかっていました。薬剤師さんの指導のおかげで今では、服薬指導、薬歴の書き方、一包化調剤を含む調剤など多くの事をできるようになり、実習が始まった頃に比べて上達することもできました。

他店舗での実習もあり、実習期間中に多くの疾患の薬を見ることができました。

介護施設や在宅訪問では、施設の患者さんの健康を維持する為、薬剤師として何をすべきなのか、また、在宅医療に関わる場合、薬剤師の役割は何なのかを知ることができました。大学では詳しく学べない部分を知ること・経験することが出来ました。

外部実習でも多くの学びがありました。

薬局の薬剤師さんと実際に高校に行き、学校薬剤師業務である教室内の空気や照度、騒音の測定を行いました。

漢方薬局では生薬を調合し漢方薬を製剤し、ドラックストアではOTC医薬品などについて学びました。

他薬局での薬局製剤の作成や、卸の見学、夜間救急実習があり、普段の薬局では見る事が出来ない事や知らなかったことを学べ、より貴重な経験になりました。

薬局実習全体を振り返って、沖縄で働く薬剤師さん達の活躍を近くで見る事が出来て、薬剤師を目指して大学５年生まで頑張ってきて本当に良かったと改めて思いました。

私も将来地元沖縄に貢献・活躍出来るような薬剤師になるため、これから向かう国家試験を突破できるよう頑張りたいと思います。改めて今回沖縄で実習することが出来て本当に良い経験になりました。実習で学んだ事を今後活かせるようにしたいと思います。

集合研修「学校薬剤師って何？」（令和4年10月27日）
講師：知名博樹氏（学校薬剤師部会 副部会長）

集合研修「災害時医療と薬剤師」（令和4年10月17日）
講師：佐久川卓氏（琉球大学病院 薬剤部）

保健福祉

# 第181回健康とおくすり相談会報告

日時：令和４年12月23日（金）10：00～16：00
場所：琉球新報社２階ギャラリー

保健・福祉委員会
委員長 盛本 直也

沖縄県薬剤師会として、約3年ぶりに健康とおくすり相談会を開催した。

今回のおくすり相談会の開催は、協会けんぽ沖縄支部と琉球新報社との健康経営シンポジウムの実施に当たり、当協会けんぽ沖縄支部から、本会に対しおくすり相談会の開催について依頼があったことによるものである。

平日の日中での開催にもかかわらず、57名と多くの方が来場し、血圧測定、体成分測定、動脈硬化測定、血糖測定を実施して、最後に、薬剤師による各種測定結果に基づくアドバイスやおくすり相談を行った。

久しぶりの開催であったため、進行に不安があったが、相談員として、午前の部8名、午後の部6名の薬剤師の先生方にご参加いただき、盛況のうちに閉会を迎えることができた。ご参加いただいた先生方には、改めて感謝を申し上げる。

おくすり相談会は、かかりつけ薬剤師の地域活動に該当する。

次回は、令和5年3月23日（木）に開催を予定しており、開催日の1か月前には、本会から会員各位に対し、FAX一斉同報により相談員を募集する。相談員として参加を希望される会員の先生には、積極的な応募をお願いしたい。

◆　健康とおくすり相談員（敬称略・順不同）

| | |
|---|---|
| ○盛　本　直　也 | ○粟　国　麻　絵 |
| ○伊　藤　夕　紀 | ○金　城　清　二 |
| ○金　城　春　樹 | ○具　志　堅　咲 |
| ○崎　山　康　豊 | ○高　木　英　子 |
| ○大　城　泰　子 | ○源　河　麻　子 |
| ○田　仲　周　子 | ○西　川　　裕 |
| ○松　川　亜矢子 | |

会場入口付近

動脈硬化測定の様子

おくすり相談の様子

災害対策

# 令和4年度沖縄県災害医療コーディネート研修報告

日時：令和５年１月７日（土）9:00 ～ 18:00
場所：沖縄産業支援センター１階大ホール

災害対策委員会
鈴鹿 玲子

去る1月7日（土)、令和4年度沖縄県災害医療コーディネート研修会が3年ぶりに開催され、参加させていただきましたので報告いたします。

参加者は、行政・医療機関・消防・看護協会などの医師・薬剤師・保健師・獣医師・看護師等のほか医療に携わる多くの職種33名での開催となりました。

はじめに、沖縄県の災害医療体制についての説明がありました。体制づくりの強化、設備整備、人材育成・訓練を柱に活動されており、今後の取り組みの方向性として、

運営→災害対策本部との連携強化、災害医療コーディネーターの確保・育成、災害医療マニュアル等の見直し

提供→災害拠点病院の施設、設備及びヘリポートの整備、SCUの指定及び備品の整備をあげておられました。

その後、沖縄県災害医療コーディネーターでもある沖縄赤十字病院佐々木先生より、沖縄県での被害想定について講義がありました。

続いて、研修後半にある実践に則したチーム運営演習のために必要な知識や考え方、対応方法についての講義を受けた後、グループごとのミニ演習を行いました。

**1.情報管理演習①**

○整理されていない多くの情報の整理

つなぎ合わせ、分類し、未対応・対応済・要確認事項などを抽出していく

○情報を時系列に記録（いつ・どこ（誰）から　どこ（誰）あて・内容）

すべて記入し、重要な情報（要望や対応すべき事項等）を「整理（印・抜き書き)」「定時の確認（振り返り)」する。⇒クロノロ・To Doリストの作成

連絡先一覧（コンタクトリスト）の作成も忘れずに。

情報管理の注意点として・担当交代で抜けがないよう⇒申し送る事
・抜けがないように⇒紙に書く
・紙の記録の紛失がないよう管理(ナンバリング等)⇒記録は重要
・内容の確認⇒不確実なものがないように確認する。

**情報管理演習②**

○避難所評価演習

避難所評価の目的､評価の集計について学びました。評価の集計は非常に労力が必要となる。評価の集計はデジタル化の開発が進んでいる。

演習として、10か所の避難所の評価一覧（アセスメントデータを集計したもの）を使って・医療需要の必要性・簡易トイレの必要性・感染予防の強化の必要な避難所を各上位3避難所をあげ、理由も発表しました。情報がない避難所の情報を集めることも忘れない事。

**2.組織、ヒト、モノ、場所をつなぐ**

○つなぐ　演習①　組織、救護班

組織をつなぐための講義（エリア･ライン制について･救護班調整のコツ等）の後、グループごとでの救護班調整の演習。

○つなぐ　演習②　目標達成のためにヒトやモノ、場所、時間を考慮しつつ、誰につなぐか、何が必要か、場所やシステム、ルールなどはどうするか、いつまで継続するかを考える。

課題は4つありましたが、私の参加したグループは「新興感染症（COVID-19）蔓延時の避難所運営」についてでした。

連絡をしなければいけない先や、必要なもの、場所、ルール決めなど想像以上に作業が多く、あらかじめ準備をする等、対応を考えておく必要性を感じました。

**3.チーム作り**

グループ内で役割分担を決め、入ってきた情報を処理（対応）していく演習。

リーダー・サブリーダー・通信・記録に役割分担。

入ってくる課題に対して、必要となる具体的な調整作業を検討。

**4.チーム運営演習**

全体で2つの班に分かれ実践に則した運営演習。

この日の研修内容を活かし、想像し考えて対応していくような演習でした。

リーダーは、現在の全体状況を把握しながら、緊急性・重要度の高い情報や対応に悩む案件の対応を指示、全体の認識・すべきことの漏れがないかの確認をされていました。

サブリーダーは、今までの情報や入ってくる情報を精査しながら、次にどうすべきか指示を出していました。通信係は、電話をかけたり受けたり本当に大変そうでした。すべて記録に残すため、その内容を記録用紙に記入し、記録係がクロノロに記入しました。またその中で、重要案件や緊急案件をTo Doリストに書き出しました。他にも、避難所対応の担当者、医療チーム担当者などもいました。

また、フローターとして、作業が多く滞っているところにヘルプとして入る人もおり、慌ただしくはありましたが、チームの全員で協力して運営できました。

長時間の研修会ではありましたが、時間を感じている余裕は一切なく、あっという間に終了の時間を迎えました。二度目の参加でしたが、自分の力不足、未熟さを反省しました。臨機応変な行動、柔軟で幅広い知識、冷静な判断、平常心等々、考えると不安が募りますが、備え、学び続けるしかないと考えています。

演習の中で、薬剤師が様々な場面で出てきました。講師の佐々木先生も「チームに薬剤師はいて欲しい」と言ってくださいました。医療チームへの参加、医療資材の仕分等、薬や衛生面に関わる多くの事で薬剤師が必要とされていました。また、医薬品卸も医薬品の供給の場面で必要とされ卸連としても災害対応を学ぶ必要性を感じました。

講師の先生方は、東日本大震災をはじめとする様々な災害の支援に入られており、大切だと感じたことや経験談などを熱心に伝えてくださいました。

このような素晴らしい研修会に参加させていただきましたことを心より感謝いたします。

ここで学んだ内容を、災害対策委員として、また医薬品卸としての活動に活かしていこうと思います。

寄稿

# 大分上野丘高校探究活動報告（2年生薬学・化学グループ）

大分県立大分上野丘高等学校
教諭　吉藤 徹

## 1　はじめに

本校は137年の伝統がある進学校であり、5万人を超える同窓生が各方面で活躍している。生徒は知的好奇心が高く、学びへの興味・関心が旺盛である。平成30年までの5年間はSGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定され、総合的探究の時間（本校ではGS（グローバルスタディ）という）を中心として、大学や企業と連携してグローバルな探究活動を実践してきた。指定終了後も成果を継続し、全学年の生徒・教員でGSに取り組んでいる。

## 2　本校の「総合的探究の時間」のカリキュラムについて

本校の総合的な探究の時間（GS）のカリキュラムを以下に示す。

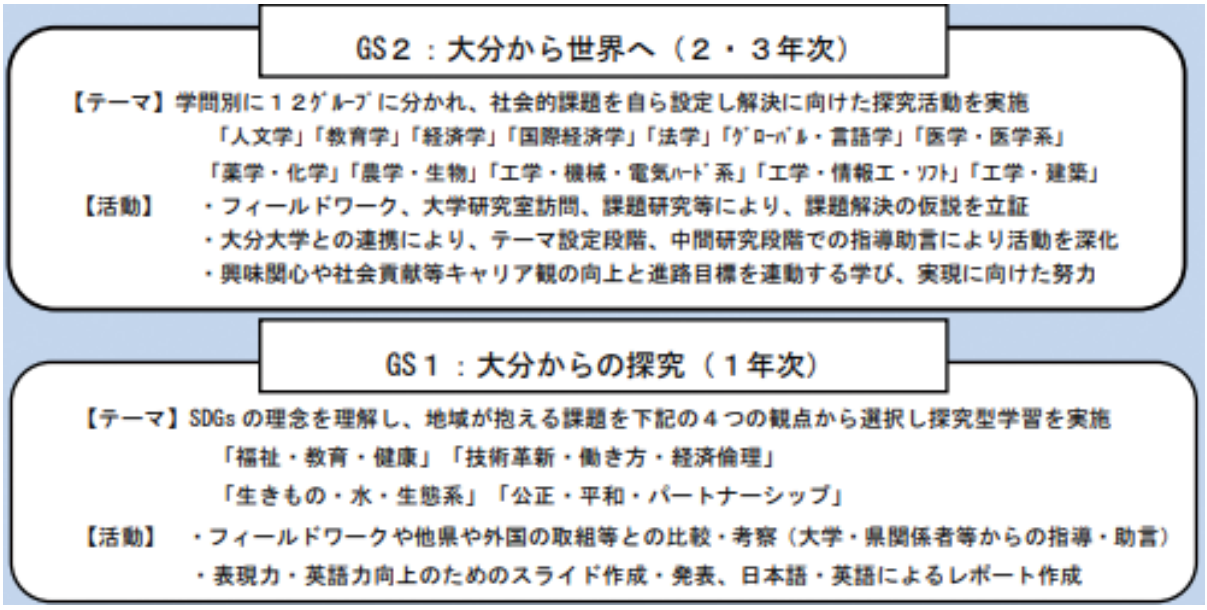



図１　3年間のGS内容

1年次はGS1として図中の4つの視点から地元大分について探究を行う。2、3年次はGS2として、個々の興味関心によって12の学問グループに分かれ、グローバルな視点で探究を行う。いずれの活動も探究課題は生徒自ら設定し、探究の中間段階で大学教授による指導・助言を受けている。

このGS活動を充実・発展させるため、本年度より新たな取り組みが始まった。まず、2年次において、これまでのグループ単位での活動から、個人の可能性や興味関心を最大限に生かす個人探究へとGS2を転換した。また、現2年生の2学期のGS活動を沖縄修学旅行と結びつけ、沖縄県内の大学や病院、企業のご協力の下、それぞれの学問分野ごとに課題をいただき、2学期間その課

題解決方法を探究し、2学期末の修学旅行で実際に研修先を訪れプレゼン発表を行うというかなり大がかりな取り組みにチャレンジした。今回はこの「修学旅行×GS」の取り組みについて、時系列に沿って活動報告を行わせていただく。参考までに1学期間行った個人探究のテーマをいくつか紹介する。

「食生活から考える体型維持方法」、「日本のワクチン普及について」、

「服薬アドヒアランスの向上のためにはどうすれば良いか」

### 3 「沖縄修学旅行×GS」の取り組みについて

#### (1) 学校での探究活動

薬学・化学グループは、琉球大学病院薬剤部長の中村克徳教授より探究課題をいただいた。いただいた課題は次に示す3つである。

課題①: ジェネリック医薬品は日本の医療経済の再生にどう貢献するか。

課題②: 世界と日本のジェネリック医薬品の状況比較。

課題③: バイオシミラーの開発と先行バイオ医薬品との比較。

中村教授から上記の課題だけでなく探究のポイントも示していただいた。いずれの課題も事実を調べて終わりではなく、それを元に沖縄や日本の進むべき医療を提言することがゴールである。その答えはもちろん1つではなく、生徒にとっては日頃の学習とは異なるハードルの少し高い課題設定で取り組み甲斐があった。30名の生徒を6班に分け、1つの課題につき2班が担当し探究をスタートした。

まず1時間ほどをかけてテーマに関する下調べを行った。薬学部志望者が多い本グループであるが、ジェネリック医薬品やバイオシミラーについての知識に乏しかったので、昨年度より県から貸与されているiPadを使用して、個人・班で徹底的に調べ理解に努めた。

下調べが終わると探究計画書を作成し、1度中村教授に確認していただいた。計画書はタイトル、キーワード、問題の所在、研究目的、仮説、研究方法をまとめたものである。その後は作成した計画に沿って探究を進めながら、発表資料をまとめていった。探究計画書作成直後と探究の最中の計2回、Zoomによるオンラインで中村教授から指導・助言をしていただいた（写真1）。

写真1　Zoomで中村教授から指導を受ける生徒

生徒は調べることや資料をまとめることは1年次に経験済みであったが、今回のテーマは専門性が高く苦戦している班が多かったため、専門家である中村教授のご助言は生徒の探究活動の促進に大きく寄与した。

修学旅行の前週にプレ発表会を行い、そこで出た課題を1週間で修正し、プレゼンの準備が整い修学旅行を迎えることができた。

**(2) 沖縄でのGS研修**

修学旅行2日目、各学問分野の探究発表と研修を行った。薬学・化学グループはまず探究発表の会場である沖縄県薬剤師会館を訪れた。発表会の連絡調整は事務局の伊江様が丁寧にして下さった。沖縄県薬剤師会のご厚意で、発表会の講師に中村教授含む3名のプロフェッショナルを招いて下さった。薬剤師・研究者・県薬剤師会副会長である中村克徳様、薬剤師・県薬剤師会常務理事の佐藤雅美様、薬剤師であり衆院選にも出馬し現那覇副市長の古謝玄太様の3名で、「研究」「臨床現場」「政治」と薬学・薬剤師に関わる課題について、多方向からのお話が聞けたことが大変有意義であった。

発表は8分程度で行い、その後質疑という流れで発表会を進行した（写真2)。どの班も与えられた課題に真摯に向き合い、高校生の視点で問題の所在を分析し、課題解決の方法を提案することができた。

発表会後は講師への質問を行った（写真2)。薬剤師志望の生徒が多いので質問が途切れることなく、その１つ1つに丁寧に回答していただき、生徒は励まされ将来の職業観が高まったようであった。最後に中村教授のご厚意で琉球大学病院より、最優秀と優秀の2班にトロフィーをいただいた。講師の方や事務局の方のお陰で、生徒にとって大変有意義な発表会を行うことができた。

写真2　発表と質問の様子

午後からは琉球大学理学部を訪れ、有光暁教授の研究室を訪問し、薬の開発にも繋がる「有機合成化学」の研究や分析装置について学んだ（写真3)

写真3　琉球大学理学部訪問

**4　まとめ**

本校は「修学旅行×GS」の取組を今年度初めて行った。沖縄県各地の関係者の協力なくして、このような生徒にとって有意義な時間を創出することはできなかったと強く感じ、協力して下さった関係者の方々に心から感謝している。生徒にとっては普段の学校内での学習とは異なる思考・判断・表現が必要とされ、苦労する場面も多かったが自分自身で深く思考し、また班員と意見を交わす中で探究内容が磨かれていった。また、本グループにおいては中村教授による2度の中間指導が大変効果的であり、生徒が新たな視点を得たり自己の主張の妥当性を再確認する機会を与えて下さった。総合的な探究の時間を生徒1人1人にとって有意義なものにするためには、今回の取組のように外部講師の協力が不可欠である。修学旅行に関連付けた今回の取組を1つの成功例として、持続可能かつ充実した活動を続けていけるよう職員全員でさらに指導体制を整えていきたい。

**【　講　師　陣　】**

中村 克徳
県薬副会長

佐藤 雅美
県薬常務理事

古謝 玄太 氏

## ぶれいくたいむ　転載記事

琉球新報　2022年9月9日

ティータイム

### 薬剤師の今と昔

友利　斉

薬剤師のことを「薬剤師の○○さん」「○○先生」と呼ぶ。35年前までは「おーい、おじさん、おばさん、兄さん、姉さん」と呼ばれた。

病院の薬局窓口では薬が少しでも遅いと「何している。早くしろ」と怒鳴られるのは毎度のことだった。その頃の病院薬剤師は外来、入院の調剤に忙殺された。今は服薬指導のほか、経腸栄養、回診随行など、その職能をいかんなく発揮している。

一方、調剤薬局も職能をフル回転させている。処方箋なしに買えるOTC医薬品を取り扱う薬局は大型スーパー並みの規模で、商品も日用雑貨から衛生用品と幅広い。

それらの店舗に最近、調剤薬局の看板が出てきた。調剤は薬剤師しかできない。薬局の名称は薬剤師がいないと使えない。薬種商は○○薬品とか○○薬房の看板を上げていた。

薬局には調剤室がなければならないが物置になっていた。処方箋が来ないためだ。そのため、薬種商と同じようにOTCしか扱わない。

薬剤師の社会的地位を確立したのは医薬分業である。四面楚歌の中、その事業は行われた。院外処方箋発行が右肩下がりになっていく中、宮古病院がそれをとどめた。反対する医師たちを説得した砂川恵伸副院長、「医薬分業マニュアル」「医薬分業の栞」を編集した具志堅興信薬局長の力は大きかった。

院外処方箋発行の日、外来ロビーには、砂川瀞事務部長ただ一人いすに腰掛け「ウン、ウン」と何度もうなずいていた。それを見て涙が止まらなかった。

（浦添市、67歳）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

## 県民の皆様へ　薬達ちゃーより

薬剤師会をご活用ください！

# あまくま薬立つ情報

### 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電　話　０９８－９６３－８９３０

### おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電　話　０９８－９６３－８９３５

### 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第１２条第１項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電　話　０９８－９６３－８９３４
e-mail　siken@okiyaku.or.jp

### 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの〝かかりつけ薬局〟をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス　http://www.okiyaku.or.jp＞

薬事情報おきなわ No.273
2023年 1-2月号 ： Vol.37 No.5
薬事情報センター TEL ： 098-963-8931
FAX ： 098-963-8937

## Medical News

**●重複投薬の検知8000件超に-電子処方箋モデル事業（薬事日報1月16日）**

厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会が12日に開かれ、電子処方箋のモデル事業開始後2カ月半で重複投薬等の検知件数が8000件を超えたことに対して件数の多さを指摘する声が上がった。運用開始後に患者とのトラブルを避けるため、重複投薬をチェックすることを丁寧に説明する必要性を強調する意見なども出た。昨年10月末から全国4地域で始まったモデル事業は、今月6日時点で薬局31施設、医療機関7施設の計38施設が参加している。

**●厚労省　錠剤粉砕等の対応要請-小児の解熱鎮痛剤不足で（薬事日報1月18日）**

厚生労働省は13日、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に伴い、解熱鎮痛薬等の限定出荷が続いていることを受け、小児用製剤の不足時には錠剤を粉砕し、散剤とするなど調剤上の取り組みを要請する通知を都道府県に発出。小児用製剤の不足時に調剤上の取り組みをした際は「自家製剤加算」等の加算を算定可能との見解も公表した。

**●リフィル応需実績は穏やかな増加ながら薬局の機能発揮～ NPhA（薬局新聞1月18日）**

日本保険薬局協会（NPhA）がまとめた会員薬局のリフィル処方箋応需に関する実態調査で、昨年10月単月データにおける受付薬局は3割弱、総受付件数に対する割合は0.1％強と、依然として緩やかな広がりを見せていることが示された。また地域性や一部薬局に実績が集中する状況が指摘される一方、患者・医療機関との関係性向上や、薬剤師による受診勧奨などの成果も報告され、NPhAでは好事例などノウハウの収集・共有を通じてリフィルへの組織的な対応を進める方針にある。

**●訪日中国人による感染症対策関連OTC薬の大量買いに警戒（薬局新聞1月23日）**

新型コロナ感染拡大が伝えられる中国で渡航制限が緩和され、春節に多くの訪日が見込まれる状況に対し、インバウンド再興への期待の一方で過剰な購買行動に伴う感染対策商品の品薄への警戒が強まっている。厚生労働省は年末に薬業3団体に対して一般用解熱鎮痛薬やかぜ薬の安定供給に対する協力を事務連絡したが、そうした動きに関する報道が生活者の危機感を助長する傾向もあり、都市部をはじめとする一部のOTC薬販売の現場では難しい対応に迫られている。

**●薬局単位のAMR対策有効-さくら薬局、抗菌薬使用量を4割削減（薬事日報1月26日）**

さくら薬局長岡古正寺店の大黒氏は15日に都内で講演、同薬局で小児領域の抗菌薬適正使用に向け、患者への服薬指導や医師とのコミュニケーション強化、抗菌薬使用量調査などの取り組みの結果、4年間で抗菌薬の使用量を約4割削減したことを報告した。薬局薬剤師の視点から「薬局でのAMR対策には、薬局内の薬剤師同士で共通認識を持つことが重要」と指摘。薬局単位での抗菌薬使用量調査は「AMR対策を効果測定でき、薬局薬剤師のモチベーション維持にも有用」と呼びかけた。

**●厚労省、ゾコーバ投与で注意喚起-禁忌の妊婦投与2例報告（薬事日報1月27日）**

厚生労働省は、「ゾコーバ錠」が禁忌である妊婦に投与されたことを踏まえ、患者が妊娠していないか確認することなどを医療機関に注意喚起するよう事務連絡で都道府県に要請した。添付文書では、「禁忌」の項目に妊婦または妊娠している可能性のある女性を記載しているが、市販直後調査期間に、同剤の投与後に妊娠が判明した症例が2件確認された。

**●後発品推進「80％が限界」-長期品依存の構造で議論～厚労省（薬事日報1月30日）**

厚生労働省の「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」は26日、長期収載品から後発品への切り替えや、長期収載品売上に依存する先発品企業のビジネスモデル転換をどう図るべきかについて議論した。後発品使用割合がほぼ80％に達し、構成員からは「これ以上後発品比率を上げるのは限界があるのではないか」との指摘が出た。長期収載品の後発品の数量シェアは80％にほぼ到達しているが、特許切れ後医薬品の金額シェアを見ると、長期収載品が59％、後発品が41％と改善の余地がある。

**●電子処方箋システム対応混乱も薬局基本機能として体制整備急ぐ（薬局新聞1月31日）**

電子処方箋が１月26日から始まり、保険調剤の現場では応需に向けた検討や準備に追われている。日本薬剤師会の渡邊副会長は記者会見で、作業が集中するシステム事業者の対応力から全国的な広がりには時間がかかるとの認識を示しつつ、「基本的に処方箋の応需体制であり、なるべく早い段階で（電子処方箋が）受けられるようになっていければと思っている」との考え方を示した。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

# 共有すべき事例

2022年
No.11
事例1

調剤

## 不適切な薬剤変更

### 事例

**【事例の詳細】**
患者に【般】アンブロキソール塩酸塩徐放口腔内崩壊錠45mg1回1錠1日1回14日分が処方された。当薬局にはアンブロキソール塩酸塩徐放OD錠45mg「ZE」の在庫が7錠しかなかったため、7日分を先に渡し、残り7日分は薬剤を取り寄せて渡すことにした。しかし、卸業者に薬剤を発注した際に製薬企業による出荷調整等により先発医薬品・後発医薬品いずれも入荷困難で納入できないと伝えられた。薬剤師Aは、不足分は在庫があるアンブロキソール塩酸塩錠15mg「タイヨー」に変更しようと考え直し、処方医に連絡することなく初めの7日間はアンブロキソール塩酸塩徐放OD錠45mg「ZE」を服用、その後の7日間はアンブロキソール塩酸塩錠15mg「タイヨー」を服用するよう患者に説明して交付した。その後、薬剤師Aは在宅訪問から戻ってきた薬剤師Bに今回の対応について報告した。対応の間違いに気付いた薬剤師Bが医師に連絡したところ、アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠45mg「ZE」を1回1錠1日1回で7日間服用後、アンブロキソール塩酸塩錠15mg「タイヨー」を1回1錠1日3回で7日間服用するよう処方変更になった。

**【背景・要因】**
薬剤師Bが不在で、経験年数の浅い薬剤師Aが一人で対応した。薬剤師Aは、必要な薬剤が納入されないと聞いて焦りが生じ、徐放OD錠と普通錠の違いは知っていたが、対応を誤った。

**【薬局から報告された改善策】**
同一成分の徐放錠、崩壊錠など製剤特性が異なる薬剤に関する知識や変更調剤における注意事項を、薬剤師及びレセプト入力業務を担当する事務員で共有する。薬剤を取り寄せる場合は納期を確認してから焦らずに対応する。薬剤師が一人体制になる時間を減らすようシフトを組む。薬剤師が薬局内に一人になることが避けられない場合には、その際に起きた出来事を薬剤師間で共有する。

### その他の情報

**アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠45mg「ZE」の添付文書**　2015年9月改訂（第3版）（一部抜粋）
【組成・性状】
本剤は速放性顆粒及び徐放性顆粒を含有する口腔内崩壊錠である。
【用法・用量】
通常、成人には1回1錠を1日1回経口投与する。

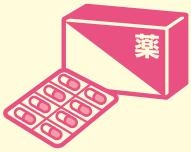
**アンブロキソール塩酸塩錠15mg「タイヨー」の添付文書**　2016年10月改訂（第16版）（一部抜粋）
【組成・性状】
白色の片面1/2割線入り素錠
【用法・用量】
通常、成人には、1回1錠を1日3回経口投与する。

### 事例のポイント

●アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠は普通錠とは製剤特性が異なるため、疑義照会を行わずに薬剤師の判断のみで変更して調剤することはできない。
●現在、一部の医療用医薬品について、製造・供給停止による供給不足が相次いでおり、当該薬剤に限らず、同様の事例が発生する可能性がある。
●処方された医薬品が入手できない場合、他剤への変更を検討する必要がある。そのような状況でも焦らず適切に調剤できるように、業務手順書を作成し全体の流れを把握しておくほか、具体的な対応手順について薬局内で研修を行うことが有用である。
●薬剤師Aが一人だけの時間帯で行った行為を薬剤師Bに報告したことで、対応の間違いが速やかに発見された。医療事故防止にはスタッフ間での情報共有が重要である。

公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部
〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町1-4-17　東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）　FAX：03-5217-0253（直通）
http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。




薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

# 共有すべき事例

2022年
No.11
事例3

一般用医薬品等

## 受診勧奨(薬剤服用歴)

### 事例

**【事例の詳細】**
【般】テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム配合口腔内崩壊錠を服用中の70歳代患者の家族が来局した。患者本人が涙がたくさん出て見えづらいと訴えるので市販の点眼薬を購入したい、と相談を受けた。聴取した患者の状況から、抗がん剤による流涙の可能性が考えられた。防腐剤無添加の人工涙液を販売し経過観察するという選択肢もあるが、総合的に判断して速やかに医療機関を受診するよう勧めた。
**【背景・要因】**
患者は抗がん剤の副作用について説明を受けたはずだが、十分に理解しておらず、主治医に眼の自覚症状について相談しなかった可能性がある。
**【薬局から報告された改善策】**
抗がん剤の副作用が疑われる際の対応方法を把握するため、添付文書だけではなく医薬品の適正使用ガイドや患者用の服用のてびきなどを日頃から確認しておく。

### その他の情報

**＜参考＞注意すべき自覚的副作用とその対応　流涙※**

ティーエスワンによる流涙は半数の症例が投与開始から3ケ月以内に発現しています。軽度の例ではティーエスワン投与中止により軽快していますが、涙道狭窄の見られる重度の症例では眼科的処置が必要です。そのため流涙が持続する場合や流涙の程度が強い場合には、涙道の狭窄や閉塞が発生していることも考えられることから、眼科医に相談し、適切な処置をとることになります。

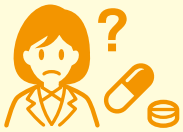
※大鵬薬品ホームページ　ティーエスワン医療関係者向け総合情報サイト
（参照2022年11月01日）
https://www.taiho.co.jp/medical/brand/ts-1/

### 事例のポイント

- 本事例は、一般用医薬品の購入を目的として来局した家族から、聴取した情報をもとに抗がん剤による副作用を疑い、受診勧奨を行った事例である。
- 抗がん剤による眼の副作用は、早期であれば抗がん剤の中止によって改善することもあるが、不可逆的変化をきたす可能性があるので速やかに対応する必要がある。
- 一般用医薬品の販売は、使用者の症状や病歴、薬剤服用歴などを把握したうえで、適切に対応することが重要である。
- 近年、通院でがん化学療法を受ける患者が増えており、薬局薬剤師にはプロトコールに基づく薬物療法の管理が求められている。日頃から知識を深め、一般用医薬品の販売時にもその知識を活用することが重要である。

公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部
〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町1-4-17　東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）　FAX：03-5217-0253（直通）
http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

# 共有すべき事例

2022年
No.12
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

## 副作用歴

### 事例

**【事例の詳細】**
医療機関の発熱外来から新型コロナウイルス感染症患者に、ロキソニン錠60mg　1日3錠1日3回毎食後7日分を含む薬剤が処方された。患者は自宅療養を指示され、電話で服薬指導を行うことになった。患者は当薬局を利用したことがなかったため、副作用歴などを確認したところ、一年前にロキソニン錠の服用により腎障害が発現したことがわかった。処方医に情報提供し薬剤変更を提案した結果、カロナール錠500　1日3錠1日3回毎食後7日分へ変更になった。

**【推定される要因】**
医療機関の発熱外来はひっ迫した状態であり、患者の副作用歴を確認していなかった可能性がある。

**【薬局での取り組み】**
当薬局を利用したことがない新型コロナウイルス感染症患者へ薬剤を交付する際は、電話で患者から副作用歴などの必要な情報を聴取する。

### その他の情報

**ロキソニン錠60mg／ロキソニン細粒10%の添付文書**　2022年10月改訂(第2版)(一部抜粋)

11.副作用
11.1 重大な副作用
11.1.4 急性腎障害（頻度不明）、ネフローゼ症候群（頻度不明）、間質性腎炎（頻度不明）
急性腎障害に伴い高カリウム血症があらわれることがあるので、特に注意すること。

### 事例のポイント

●新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、厚生労働省は「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて※」を発出し、本来のオンライン服薬指導とは異なる時限的・特例的な対応として、電話等を用いた服薬指導が可能となった。
※令和2年4月10日付け厚生労働省医政局医事課　厚生労働省医薬・生活衛生局総務課　事務連絡

●医療機関から「0410対応」あるいは「CoV自宅」、「CoV宿泊」と記載された処方箋情報の送付を受けた薬局は、特に自局を利用したことがない患者の場合、来局しない患者に電話で薬剤服用歴、既往歴・現病歴、副作用歴、アレルギー歴など、調剤するうえで必要な情報を聴取する必要があり、患者に対し丁寧でわかりやすい対応が求められる。

●2022年9月30日には「オンライン服薬指導の実施要領について」（薬生発0930第1号　厚生労働省医薬・生活衛生局長通知）が発出され、今後オンライン服薬指導がさらに広がることが予想される。

●保険薬局は、オンライン服薬指導の特性を理解したうえで有効に活用できるような体制の構築に取り組み、薬剤師が患者の個別の状況に応じて薬学的知見に基づき適切に対応できるよう業務手順を検討し、手順書を作成・周知しておく必要がある。

公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部
〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町1-4-17　東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）　FAX：03-5217-0253（直通）
http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。

沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

# 「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] 片頭痛がひどく4時間前にラックル速溶錠（一般名：アセトアミノフェン300mg/回）を飲んだが、効いてない。今イブA錠（イブプロフェン150mg・アリルイソプロピルアセチル尿素60mg・無水カフェイン80mg/回）を飲んでもいいですか。

[回答]最初のお薬の服用から4時間程経過していますので問題ないと考えます。お薬を追加しても頭痛が治まらないようでしたら、医療機関へご相談ください。

[質問] 1歳の子が蚊に刺された。化膿してないが、家にある市販のドルマイシン軟膏（コリスチン硫酸塩、バシトラシン配合）、ドルマイコーチ軟膏（バシトラシン、フラジオマイシン・ヒドロコルチゾン配合）と医療用のベトネシド軟膏（ベタメタゾン吉草酸エステル）の中で使用できるものはありますか。

[回答]（それぞれの効能、抗生物質、ステロイドの強さ、使い分け等について説明）ドラッグストア等には赤ちゃんから使用できる虫刺され用のお薬が市販されています。ムヒベビー等は炎症や痒みを抑える成分が含まれており、虫刺されにも効果があります。また、掻きむしりを防ぐ貼るタイプの市販薬等もお勧めです。

●安全性情報●

[質問]入院中に点滴をした腕にしびれ等違和感がある。刺したときにピピピとしていた。何が原因ですか。治りますか。

[回答] しびれの原因が注射の手技によるのかについては、こちらでは判断することはできません。注射によるしびれや痛みについては通常1週間程でよくなるとされています。違和感が続いているようでしたら入院されていた医療機関にご相談ください。

[質問] 中学生3年生の子が、5時間前にイブA錠を8錠（通常は2錠）と新ジキニン顆粒を1包飲んでしまった。気分が悪いと言っているが大丈夫ですか。嘔吐等はなく喉が渇いているようだ。

＊新ジキニン顆粒（1包中:ジヒドロコデインリン酸塩、dl-メチルエフェドリン塩酸塩、カンゾウエキス、クロルフェニラミンマレイン酸塩、無水カフェイン、アセトアミノフェン：300mg）

[回答] イブA錠の成分イブプロフェンは服用後3～4時間が体内の濃度が一番高い時間となります。お薬は時間と共に徐々に体から排出されるため、今後は症状も治まってくると考えます。ただし、イブプロフェンの過剰摂取で悪心嘔吐や血圧の変動、動悸、眠気などが起こることがありますので、症状がつらいようでしたらすぐに受診するようにしてください。喉が渇いているようですので、水分を摂るようにしてください。

近年若者の間で精神的な苦痛から逃れるために市販薬を過剰服用するオーバードーズ問題が取りざたされています。過剰な服用は心身への重大な影響をもたらすこともあります。お子様が元気になられましたら、市販の医薬品にも決められた用法用量があるので、過量服用は危険だということをお話いただければと思います。

⇒2時間後にご家族に体調を確認。

「食欲が少し出てきているみたいで、食べている」との返答があった。

[質問]ツムラ防風通聖散（カンゾウ2.5g/日、マオウ1.2g/日）を服用中。風邪をひいたのでツムラ葛根湯(カンゾウ2.0g/日、マオウ3.0g/日）が4日分処方された。一緒に飲んでもいいですか。医師は大丈夫と言っていた。

[回答] 2種類の漢方薬にはどちらにも、生薬のマオウとカンゾウが含まれています。漢方薬とはいえ量が多くなると副作用が出る可能性が高くなります。マオウでは不眠、発汗、動悸などが短期間に現れることがあります。また、カンゾウの長期服用では、血中のカリウムが減少し、血圧上昇、筋肉痛、口渇等が現れることがあります。服用後これらの症状やいつもと違う症状が出るようでしたら、すぐに処方医にご相談ください。

[質問] 抑肝散エキス顆粒の説明書に低カリウムになると書いてある。以前にカリウムの値が低いと言われたことがある。大丈夫なのか心配になった。

[回答]お薬に含まれているカンゾウという生薬はカリウムの排泄を促す作用があります。血液中のカリウムが低くなると手足の力が抜けたり、血圧上昇、筋肉痛、体のだるさ、手足のしびれ、こむら返り、顔や手足のむくみ、口渇、動悸などが現れることがあります。服用後気になる症状がありましたら、すぐに処方医に相談してください。

沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

# 「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

[質問]ビオフェルミンとドンペリドンを服用中。頭痛がするのでイブA錠を飲んだら、2時間後に熱が37.2℃出た。一緒に飲んではいけなかった？
[回答] 飲み合わせに問題はなく、発熱はお薬を一緒に飲んんだことによるものではないと考えます。

[質問] 前に服用していたブロプレスの説明書に、顔が腫れると書いてあった。薬が怖い。
[回答] ブロプレスは、血管を収縮して血圧を上げる体内の物質に拮抗し末梢血管の抵抗を低下させて血圧を下げる薬です。ブロプレスの副作用の中には、急に皮膚が腫れる等の症状も報告されています。多くの場合、瞼や唇、頬に多くみられます。赤みや痒みはなく、腫れがひくまでに通常 １～３ 日ぐらいかかかるとされています。副作用は服用した全ての人に現れるわけではありません。ご自身の服用するお薬については副作用を知っておき、症状が出たらすぐに医師・薬剤師に相談することが大切です。
参考：重篤副作用疾患別対応マニュアル 血管性浮腫（血管神経性浮腫）：厚生労働省

[質問]起床時にげっぷしたり胃の調子が悪いので食後服用の胃薬をお願いしたところ、アコファイド（機能性ディスペプシア治療剤：アコチアミド塩酸塩）をもらった。薬局の薬剤師にアコファイドは食前に飲む薬だと言われたが、医師に確認してもらい食後服用になった。もらった紙には、食後に飲んでも大丈夫か確認したい。
[回答]アコファイドは食後の症状改善を目的としているため基本的には食前の服用としています。また、アコファイドの食後服用は食前と比べて効果が弱い事が報告されています。しかしながら、今回の場合医師の確認も取られていますので、指示通りに服用するようにしてください。安全性については問題はありません。

[質問]骨粗鬆症治療薬のボノテオ（ミノドロン酸水和物）を10年位服用している。歯の治療するときには飲まない方がいいですか。また、他の医師がこんなに長い間飲まない方がいいと言っていたがどうですか。
[回答] 治療の継続や歯科での対応については、症状や治療法によって対応が異なりますので、それぞれの医師に確認するようにしてください。

[質問]家族が心臓の病気でイグザレルト、アロプリノール、ガランタミン、アジルバ、ニフェジピンを服用中。風邪のため、メジコン、カルボシステインをもらったが、バファリンAやイブプロフェンは飲めますか。今日はクリニックが閉まっていて聞くことができない。
[回答] 血液サラサラのイグザレルトを服用中なので、アスピリンやイブプロフェンは出血傾向が増加する可能性があります。痛みや熱がある場合には効果に影響のないアセトアミノフェンを服用してください。明日必ず主治医にご相談ください

[質問] 帯状疱疹でファムビルを3日間処方された。痛みが強かったので再度受診しさらに4日分追加で薬をもらった。帯状疱疹の薬は通常何日間服用しますか。また帯状疱疹は普通どのような治療をしますか。
[回答]ファムビルの帯状疱疹の治療では、通常7日間服用します。ただし、重症時には10日間服用する場合もあります
帯状疱疹の治療については、できるだけ早期に抗ウイルス薬（アシクロビル、バラシクロビル、ファムシクロビル）の内服薬を投与します。重症な場合は、入院して抗ウイルス薬（アシクロビル、ビダラビン）の注射をすることもあります。外用薬としては、初期には抗炎症薬、水疱ができたら細菌二次感染を防ぐために抗生剤を含む外用薬を使用します。
参考：日本皮膚科学会HP

[質問]統合失調症でバルプロ酸、オランザピン、トラゾドン､エスゾピクロンを服用している。市販のペラックT錠と新ジキニン顆粒を持っている。咳があるが、どれがいいか。
・ペラックT錠：トラネキサム酸,カンゾウ乾燥エキス,ピリドキシン塩酸塩（ビタミンB6）,リボフラビン（ビタミンB 2）, L-アスコルビン酸ナトリウム（ビタミンCナトリウム）
・新ジキニン顆粒：ジヒドロコデインリン酸塩,dlメチルエフェドリン塩酸塩,カンゾウエキス,アセトアミノフェン,クロルフェニラミンマレイン酸塩,無水カフェイン
[回答]咳止め成分が含まれている新ジキニン顆粒を勧めます。これらの市販薬には重複する成分が含まれていますので、これらを一緒に飲まないようにしてください。

沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

# 「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

●新型コロナウイルス感染症関連●

[質問]コロナ陽性で療養中ずっと眠っていたが、大丈夫ですか。熱は2～3日で下がり咳などの症状もなく、明日から療養解除となります。

[回答]コロナ罹患後に眠気が続く場合があります。日中も眠気が続くようでしたら受診することを勧めます。

[質問] 5回目のワクチンを予定している。昨日知人からインターネットで医師がワクチンは免疫力が下がるから、打たない方がいいと言っていたと聞いた。打たない方がいいのか。

[回答]ワクチンには発症予防、感染や重症化を予防する効果が確認されています。ワクチン接種の可否については、ご自身で判断して頂くことになっています。

[質問] コロナ療養後に抗原検査をやっても陽性と出る場合があるんですか。

[回答] 療養解除後に感染力の無いウイルスが検出されることがありますが、軽症・中等症では、発症10日目以降に「陽性」が出ても他人に感染を拡げることは殆どないとされています。

[質問] コロナ陽性。痰がらみの咳がある。ツムラ当帰芍薬散、小青竜湯、フェキソフェナジン、鉄剤を服用している。症状が改善しないので、新ジキニン顆粒を飲んだら動悸がしたが、一緒に飲んだせいですか。

[回答] 小青竜湯とジキニンにはどちらにもカンゾウという生薬が含まれています。カンゾウの副作用として動悸や口渇等が現れることがありますが、お薬の量が多すぎた可能性があります。お薬が2種類以上の時や定期薬に追加したいときには薬剤師に確認してもらうことを勧めます。

●サプリメント●

[質問]テアニンというサプリメントを飲みたい。現在、加味帰脾湯、酸棗仁湯を服用しているが、大丈夫ですか。

[回答]テアニンは、グルタミン酸のエチルアミド誘導体であり、緑茶に含まれるうま味成分の一つとされています。医薬品との相互作用については報告がありません。

[質問]主人が境界型腎臓病と言われたが、薬も処方されていない。健康にいいというサプリメントの金氏高麗人参（朝鮮人参含有）を飲ませてもいいですか。

[回答]腎臓に対する有害事象は今の所報告がないようです。参考までに、厚生労働省は通常量での短期間の摂取は（最大6カ月）問題ない、長期の安全性に関しては疑問があるとしています。

●その他のご質問●

[質問]医師に湿布薬を多めに処方してもらったが、期限が3か月後だった。薬局に電話したら、後日入荷予定なので一部は交換するといわれた。患者に渡すお薬の使用期限について決まりがあるのか確認したい。

[回答]薬局で患者様にお渡しするお薬は処方日数を考えてその日数内で期限が切れないものをお渡しします。使用期限までに使用できないのであれば、薬局にその旨ご相談ください。

[その他ご意見・ご相談]

・軟膏の容器の廃棄について。薬局に回収ボックスなどを設置してほしい。

・薬を間違えるなんて法律違反だ。患者の命をないがしろにしている。懲罰ものだ。

・手術後夜眠れなくて安定剤を出された。以前の薬はあまり眠気が出なかった。最近朝食の片づけ中に鍋を焦がして火災報知機も鳴り大変だった。前の薬を出してほしい。

・お薬手帳を持っているのと持たないのとで支払いは代わるのか。出すのを忘れて支払いが高くなったので薬局に確認したら、変わらないと言われた。

・事情がある時は、例外的に処方箋の有効期限をのばすことはできないのか。いつまでも昔のままの法律で縛れているが、時代に合わせて変えることはないのですか。

・大学生の子供が県外で一人暮らしをしている。昨晩から40℃の熱が出て筋肉の痛みとだるさ、腰痛がある。新ジキニン顆粒とバファリンプレミアム、新セデス錠があるらしいが薬は何を飲ませればいいですか。

# 医薬雑誌ひろい読み

*Medical Magazines Browsing*

## 老年症候群における漢方薬の活用

新薬と臨床　1月号

老齢症候群（Geriatric Syndrome:GS）は高齢者に多くみられる症状を特徴とする病態である。認知症、認知機能低下の周辺症状である興奮に対して抑肝散が用いられるが、認知症の進行に伴い意欲低下に至るため必要がなくなる事が多い。エキス製剤は特性上、誤嚥のリスクもあるため、全身状態から継続の可否を判断しなければならない。含有する生薬にも配慮が必要である。「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」において麻黄、甘草、附子、芒硝、大黄、黄芩、山梔子を含有する漢方薬の使用については注意喚起がなされている。甘草は保険適用の漢方薬の約7割に含まれている。芍薬甘草湯は1包の甘草含有量が2ｇと多く、定期内服をしていた高齢者が偽アルドステロン症を起こすことが多々ある。麻子仁丸、潤腸湯には芒硝、大黄、黄芩が含まれるが、これらは他の構成生薬と共に作用することで少ない量で効果を発揮できるため、酸化マグネシウム製剤より有害事象のリスクは低く効果が期待できる。急性期上気道感染症に用いられる漢方薬は麻黄を含むことが多く高齢者の使用には注意が必要である。

東北大学病院
齊藤　奈津美・高山　真

## ドラッグストアで買える解熱鎮痛薬

薬局　11月号

ドラッグストアで買える解熱鎮痛薬でも多くの場合は医療用と変わらない効果が期待できる。ただし”1日に使える量の上限”がやや厳しめに設定されている。特にアセトアミノフェンは「医療用は1500～4000mgまで使えるから」と用法・用量から逸脱した使い方をすると、医薬品副作用被害救済制度の対象外となる可能性がある。OTC医薬品でも医療用と同じ薬を使えるということは、リスクに対する備えも同様に行う必要がある。しかしその一方で、腎障害やインフルエンザの際の注意などが外箱などにも記載されていなかったり、安易な多剤配合の商品が沢山販売されていたりと、安全性に関してはやや警戒が緩い面も感じられる。多剤配合された商品は、確実に相互作用や副作用のリスクも高くなっている。特に、アリルイソプロピルアセチル尿素やブロモバレリル尿素といった催眠鎮静剤の入った商品は、相応のリスクを伴う成分が配合されている事を知らずに使っている人もかなり多いと思われる。各商品の特徴もしっかり把握したうえで的確なコンサルタントを行い”あなたに合った薬”を選べる薬剤師が増える事を願っている。

sing薬局馬込　　児島　悠史

# Book Information

日薬斡旋図書のご注文は事務局（代表：098-963-8930）までお願いします。
※日薬斡旋図書は会員価格で購入できます。
※会員価格のない書籍については定価での購入となります。
★印は情報センターに見本があります。

### ★ポケット医薬品集 2023 年版　第 32 版

【監修】龍原 徹　【発行】南山堂　【発行日】2023 年 1 月
【版型/頁】B6 変型判/1485 頁　【定価】5,170 円（税込）

添付文書の情報にとどまらず、薬の作用メカニズムや、薬剤選択・薬物療法管理に必須となる最新の医薬品情報を掲載。本改訂では 2022 年 9 月までの新薬・後発品の情報をアップデート。日常診療、薬剤業務で手元に置いておきたい定番の医薬品集。

### 感染対策はこわくない！
### ICT 初心者のための必携対応マニュアル

【著者】中村 造　【発行】南江堂　【発行日】2023 年 1 月
【版型/頁】A5 判/248 頁　【定価】3,630 円（税込）

COVID-19 の流行を受け、改めて適切な対応が求められている院内感染対策について、明確な根拠に基づき実施するためのノウハウをベストティーチャー賞受賞の著者が分かりやすく解説。ICT（Infection Control Team）のスタッフとして対応を迫られた際に、「何を」「いつまでに」「どうやって」しなければならないかを簡潔にまとめた。実例や現場でよく聞かれる Q&A などの情報も豊富に盛り込み、エビデンスから現場のリアルまでを学ぶことができる一冊。

Medical Magazines titles

# 今月の特集・論文

＊薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

**【今月の特集】**

◇ medecina　59 巻 1 号
＊ 10 年前の常識は非常識 !? イマドキ　消化器診療にアップデート
◇エキスパートナース　39 巻 1 月号
＊何がちがう？どこをみる？高齢者の急性期ケア
◇エキスパートナース　39 巻 2 月号
＊よく使うスケールの「落とし穴」と「正しい評価のしかた」
◇きょうの健康　1 月号
＊腰痛症・肺炎
◇月刊薬事　65 巻 1 号
＊【1】SGLT2 阻害薬・インクレチン関連薬の使い方
【2】病棟での糖尿病療養支援
◇産科と婦人科　90 巻 1 号
＊産婦人科診療漢方ステップアップ - 三大処方の次なる一手とは -
◇産科と婦人科　90 巻 2 号
＊超音波がもたらす産婦人科診療の新機軸
◇総合診療　33 巻 1 号
＊ COVID-19 パンデミック　振り返りと将来への備え
◇調剤と情報　29 巻 1 号
＊薬学的管理に活かす　臨床薬理 UPDATE2023
◇治療　105 巻 1 号
＊困ったときの 2 の手、3 の手　今こそ知りたい漢方・針灸
◇日経ドラッグインフォメーション　303 号
＊薬局薬剤師の働き方はこう変わる！
◇日本医事新報　5146 号
＊認知症の人への医療行為に対する意思決定支援
◇日本医事新報　5149 号
＊見逃さない！便秘に隠れた重大疾患
◇日本医事新報　5151 号
＊高齢者に多い脳卒中後てんかんの診かた
◇日本医事新報　5152 号
＊皮膚との相性を考慮した貼付剤効果の高め方
◇薬局　74 巻 1 号
＊おくすり比べてみました～知っておきたい！同種・同効薬の使いどころ

**【今月の論文等】**

**■薬物療法■**

▶片頭痛にバルプロ酸を少量追加投与する理由
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p.PE001
▶円形脱毛症に投与されたオルミエント
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p.PE045
▶急性下痢 - 原因不明、新型コロナウイルスも含めて
Medecina60（1）p.34
▶非オピオイドの選び方と原則
治療 105（1）p.119

**■新薬■**

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬なるめ読み [27]
テゼスパイアⓇ皮下注 210mg シリンジ [ テゼペルマブ（遺伝子組み換え）] 皮下注
月刊薬事 65（1）p.140

**■安全性情報■**

▶緑茶抽出物でロスバスタチンの血中濃度低下
月刊薬事 64（16）p.124
▶プロトンポンプ阻害薬（PPIs）の長期使用で糖尿病リスクが上昇
月刊薬事 64（16）p.125

**■薬剤師業務■**

▶フォローアップに生かす薬歴の書き方 - 処方解析からプロブレムを探っていこう
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p.PE016
▶服薬指導　ゾコーバが処方された新型コロナウイルス感染症患者
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p. PE043
▶服薬指導　服薬指導　ＳＳＲＩから変更されたトリンテリックス
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p. PE047
▶患者背景に応じた療養支援 - 残薬の多い患者
月刊薬事 65（1）p.98
▶患者さんからの素朴な質問にどう答える？｜ 34 気になるプラセボの効果
総合診療 33（1）p.107

**■産科・婦人科■**

▶タクロリムス軟膏使用中に妊娠が判明した女性
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p. PE022

**■新型コロナウイルス感染症関連■**

▶精神症状に使える漢方 -long COVID-
治療 105（1）p.61
▶ COVID-19 診療・対策振り返り編――新型コロナウイルスが教えてくれたこと
臨床①感染症専門医――COVID-19 流行が浮き彫りにした臨床現場の 3 つの問題
総合診療 33（1）p.24
▶新型コロナワクチンと帯状疱疹リスク
日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　(233) p.PE020

**■その他■**

▶乳幼児期からの水泳で喘息は予防できるか？
日本医事新報（5151）p.50
▶型が身につく薬物動態学 [12]- 投与間隔
月刊薬事 65（1）p.127
▶怒っている患者への対応 - 良好な患者 - 医師関係形成のために
日本医事新報（5147）p.14

# 薬事情報センターの利用のしかた

## ○業務内容

(1)医薬品情報の提供　(2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行　(3)医薬品に関するお問い合わせ　(4)県薬ホームページの制作・管理　(5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」　(6)ドーピング防止ホットライン業務

## ○業務時間

(会員対象)　平日　午前：８時 30 分～12 時　午後：１時～５時 30 分　（土・日・祝日休業）
(一般対象)　「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」
平日（月～金）午前：９時～12 時　午後：１時～５時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

## ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931　　FAX：098-963-8937
**沖縄県薬剤師会　薬事情報センター**

## ＊　＊　公認スポーツファーマシスト認証制度について＊　＊

*（公益財団法人　日本アンチ・ドーピング機構）*
*https://www.sp.playtruejapan.org/about/index.html*

公認スポーツファーマシストは、最新のアンチ・ドーピング規則に関する知識を有する薬剤師です。（公財）日本アンチ・ドーピング機構が定める所定の過程（アンチ・ドーピングに関する内容）終了後に認定される資格制度です。

○公認スポーツファーマシストの活動例
・国民体育大会に向けての都道府県選手団への情報提供・啓発活動等
・学校教育の現場におけるアンチ・ドーピング情報を介した医薬品の使用に関する情報提供・啓発活動等

○認定までの流れとスケジュール

- 4 月~5 月頃　受講者募集受付　受講料：7,600 円
- 6 月~7 月頃　基礎講習会開催
- 11 月~12 月頃　実務講習申込受付
- 12 月~翌 1 月頃　［e-ラーニング内］　実務講習　知識到達度確認試験　認定申請　認定料：21,000 円
- 4 月 1 日　認定

◎2023 年度の募集は、2023 年 3 月上旬に告知の予定です。

# ＭＲ残酷物語－回顧録－（前編）

レモン薬局 糸満店
詫摩 敏康

この度バトンを受け取りましたレモン薬局糸満店の詫摩敏康と申します。

まだ沖縄県薬剤師会の会員になり約3年の駆け出しですが、新型コロナワクチンコールセンターの仕事が縁でバトンが回ってきましたので今回寄稿させていただきます。なかなかいい題材が思い当たらず、つまらない内容ですが、自分の半生を振り返りながら執筆しましたので、どうかお付き合いください。

題名の通り私の前職は、20年以上に渡り製薬会社の医薬情報担当者（MR）として働いておりました。会員の皆様の中にも前職がMRとして、ご活躍された方もいらっしゃるかと思います。薬剤師からみてMRは身近なようですが、最近ではめっきり仕事での接点も減っていると感じてらっしゃる先生方も多いのではないでしょうか？若い先生方はそもそも「MRに会って直接話をした事も無いよ」なんて言われる先生方もいらっしゃるのではないでしょうか？そんなMRへの理解を新たに面白可笑しく深めてもらおうと思い暴露も含め今回この内容で筆を執りたいと思いました。内容としては20年も前の事を多く書きましたが、現在は適正化されている事が殆どだと思いますので過去の笑い話と思ってお読みください。

本題に入る前に私の簡単なプロフィールですが、製薬会社は今まで3社経験しております。今では普通の転職回数ですが大昔なら何か問題がある人物なの？と思われたかもしれません。海外ＭＲだと一社に留まるなんて能力ない人だから転職もできない人材と見られます。大学卒後、国内大手（以後A社）に就職し約10年間栃木県で開業医5年（同一エリア）、大病院5年（3年・2年と担当交代あり）担当。2社目（以後B社）は世界的には外資大手で愛知県の三河配属になり約8年（最後は一人で愛知県の面積の半分以上の三河地区と某大学担当兼任）、そして3社目（以後C社）も新薬開発型外資で沖縄県にたどり着き約6年（離島含む県全域と3年間は福岡県の朝倉地区兼任時期あり）で業界から足を洗い現職についております。20年以上に渡るMR人生で、転職での移動はしておりますが、転勤を一度も経験した事がないとても珍しいMRでした。先生方の中には3年位でやっと少し仲良くなったのに転勤しちゃうのかと感じるMRも今までいたかとは思いますが、若いころの私は転勤にあこがれるMRでした。栃木で開業医を担当していた時は、先生方から「まだいるのか」とよく冗談を言われました。

MRの1日ですが、スペシャリティー製品しか扱わないので病院活動が中心のMRも増えているので、卸訪問をあまり重視しないメーカー、MRも増えていると思います。しかし、今も昔も基本は朝一で卸訪問、事務所に戻って内勤、その後営業での外回り、夜には事務所に戻りまた内勤です。勤務地によっては担当エリアまで遠方だと宿泊する事もあり、私も月曜日に家を出て土曜日に戻る事を繰り返す時期もありました。日によっては直行・直帰もあります、事務所での内勤ができない時は喫茶店や卸で空きスペースをお借りします。県内卸でもMR用ブースを設けてくれている卸が殆どです。スマホも会社から通常は支給されるので10年以上前から内勤の場所を選ばなくなり自宅での内勤も増えているかと思います。基本はMR各自でのスケジュール調節なので、建前上は卸に行きましたって報告して、自宅でゆっくり内勤というMRも珍しくはないと思います。先生方も次

にＭＲが訪問してきたときに「朝は何をしていた？」と尋ねてみて下さい。急にタジタジになるMRもいると思います。とは言っても、会社によっては昨今の経費削減でオフィスが無く原則自宅内勤も認めているメーカーもあります。また、最近では営業車にドライブレコーダーを取り付けている会社も増えていると聞いております。営業車のドライブレコーダーはここでは詳しく記載しませんがまさに社員の監視です。動いているか、スピード出しすぎてないか、車内の音声なども録音されるそうです。恐ろしいアイテムですね。私は導入される前に退職し良かったです。

さて、皆さまはMRを一言でいうと何と答えますか？私の答えは「営業」です。医薬情報担当者は私からすれば建前です。もちろん近年は営業色が薄まっている部分もあり本来のMRとしての責務を果たすという姿勢が強くなってきていますが、患者様の為＝自社製品が使われる事なのです。そのように徹底的に教え込まれます。営業成績も数字としてしっかり出るので、社内では比較されてそれが評価になります。営業なので月末・期末は数字の詰め作業もありますが扱う製品によっては勿論そんな事はしませんし、A社の時はほぼ毎月詰めでしたが、外資のB社とC社は殆どした事が無かったです。外資は詰め原則禁止しているメーカーも多いです。なので、どこかの外資メーカーが数年前に売り上げを評価に入れませんって発表したのを記憶しておりますが、うらやましい限りです。

「数字の詰め」と聞いて皆さまはどのようなイメージを持たれますか？多い時で、１MR数百万円単位を各施設に購入していただく作業です。深くは触れませんが伝票上だけの作業もあれば施設に出向き、頭を下げてお願いをして実納入させて頂くことも多かったです。今は伝票上だけの作業は原則できなくなっているとは思いますが真相はわかりません。開業医担当だとグロス（売上）と軒数両方詰めないといけない製品もあります。そこで開業医担当ＭＲは卸MSとの連携が特に重要になります。毎月詰めの会議をMS一人一人と実施し「A病院の〇〇100万位何とかならない？」「B薬局に2箱お願いして」「C薬局の返品を阻止して」「D薬局に一緒に行ってお願いしましょう」等々数字を作るためのミーティングです。なので、月末が近づくとMSはMRに会いたがらないです。その当時は夜もデポ（卸営業所）にMSがいるので通常営業終了後にデポに行き、MSが首を縦に振るまで帰れませんでした。自分で病院の薬剤部長に月末お願いする施設もありました。特に思い出深い施設は、A社時に県病院薬剤師会で名前の通っている先生の施設では部長に直接名刺の裏に〇〇10箱、△△20箱、□□10箱とお願いしたい製品と個数を書いた名刺を渡し、お伺いを立てて購入してもらうのが流れでした。施設外の会議に出席されていると部長のお戻りが遅いと22時位ですが諦める事はできません。他の薬剤師からはまだいるよと冷たい視線を感じながら部長室の前の椅子に一人座り続けて部長の帰りを待ち焦がれるのでした。詰めの許可をもらった後に夜中でもチーム長にすぐに報告しますが褒められる事はないです。「気を付けて帰って来いよ」と言われその日の業務が終わります。詰めては消化させる自転車操業です。自分が薬局薬剤師になり感じている事は、最近ではMRが自分で薬局にお願いに来ることはないのだと時代を感じております。詰めにはもう一つの詰めがあり、それはある注力製品をまとめ買いしてもらう事です。「〇〇を100箱購入、30％引きでいかがですか？」そんな営業をMSから受けた先生もいるのでは無いでしょうか？昔は常套手段でした。勿論形式上MRは営業ではないので価格設定権はMSです。表面上の主導はMSですが仕掛けるのはMRからが殆どでした。また一度薬価差益の旨味を知った施設では、逆にキャンペーンやってないの？と買うから数字出してと言われる先もあります。恥ずかしながら、そうやっ

て国内医薬の数字は膨らみ作られていったのです。

次に、MRになり立ての頃のＡ社での話を少し書きたいと思います。当時A社の栃木県宇都宮営業所は社の中でも常に営業成績がトップかほぼトップ3に入る営業所で、そこに所属する先輩方もエース級の集団でした。A社では占拠率を重要視していて県内医薬品総売りの何%がＡ社の売りなのかがとても大事でした。つまり売り上げシェアです。それはMRも同様で担当エリアのシェアが成績評価にも重要でした。その当時武田薬品工業が全国シェア1位を長年キープしていたと思いますがＡ社の栃木県のシェアは武田薬品工業を上回るシェアと取ることもありました。私自身の担当は栃木県の南部エリアの開業医市場でしたので営業所からは1時間位は車でかかる所にあり一番遠い訪問先までは2時間位はかかりました。卸さんもエリアにデポがありそこに朝一で訪問しないといけないのです。通常は朝の8時半までに訪問します。となると7時過ぎには家を出る日が多かったですが、それだけ聞くと何甘えているのだとお思いの方もいるでしょう。しかし前日の夜が地獄なのです。若手は営業所に戻ることが原則だったので営業所に戻るのが早くても20時、遅いと22時でした。A社の宇都宮営業所はそんな時間でも人が沢山居るのです。たまに用事があり18時位に戻ろうものならサボるなと所長に大激怒されたこともあります。営業所に戻ってからも長い時間を費やします。遠方担当者は直行が殆どなのでオフィスで内勤ができる時間はとても貴重なのですが、20時を過ぎると先輩方から飯食いに行くぞって誘われることが多かったです。やる事がありますと断ろうものなら、食った後にやればいいだろとのジャイアン理論です。誘われた時のお支払いは先輩が出すか経費でした。飯を食う＝お酒を飲む事だったので戻って22時過ぎからの内勤再開だと午前様が多かったです。また今日は誰もいないからラッキーと思って一人で内勤をしていると…

**次号には、引き続き詫摩 敏康 先生の「MR残酷物語－回顧録－ (後編)」を掲載します。**

## 会報原稿募集のご案内

### 広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。

広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

**【会報表紙及びカット写真】**

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

**【会員からの意見箱】**

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

・誌上匿名は可能です。
・回答者を指名されても結構です。

**【寄稿コーナー】**

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

**【会員作品・趣味のコーナー】**

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

**☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）**

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで　〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930　FAX 098-963-8932　e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

# 第58回　暮らしの中の薬草学
## 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会
狩俣 イソ

「肥満の多い県民の救世主となるか⁉」という見出しに思わず目を止めて読んだのが、オオイタビ茶の研究でした。紫外線に負けずに育った県産の植物は様々な健康パワーを秘めている‼と毎回感嘆します。

**オオイタビ**
学　　名　Ｆicus　pumila　Ｌ.
科　　名　Ｍoraceae　クワ科
属　　名　Ｆicus　イチジク属
使用部位　葉・茎・枝・果実
有効成分　ルチンなどのフラボノイド
　　5環性トリテルペノイド・クマリン類

オオイタビの茎・葉

雄株雌株の果実の中

**【オオイタビの名称】**

オオイタビの名は、大きなイタビカズラを意味し、大きな果実ができることによる。イタビはイヌビワ、カズラはツル性植物のこと。

沖縄の方言ではチタ・ミンチャンバー・イシマキガンジュウ・イシバーキなどがある。

**【オオイタビの形態】**

オオイタビ(大崖石榴)は、**クワ科イチジク属の常緑つる性木本**。葉や茎を傷つけると白色の乳汁(フロクマリン)が出る。東アジア南部に分布し台湾や中国にも自生が見られる。**日本では千葉県以西～沖縄**、特に海岸近くの暖地に自生し、栽培もされる。茎から出る気根で固着しながら木や岩に這い登る。暑さや乾燥に強く、丈夫な性質を持つため、石垣やコンクリート壁面の緑化に使われる。

葉はツルから互生する単葉で、全縁でギザギザはなく厚い。楕円形で葉先は尖らず、成葉で長さ5 ～ 9cm、表面は光沢があり、側脈は4対あり、主脈から30～40度の角度で分岐する。裏面は白っぽく、葉脈がきれいに浮きでる。幼葉は長さ3cmほどの3角状卵形～披針形、全縁で、イタビカズラやヒメイタビ（枝葉に褐色の毛がある）と区別しにくい。

葉腋に花嚢が1個ずつ付く。オオイタビの開花は7～9月だが、花は花弁もあるが壷状の隠頭花序の中に咲き、これを割らないと観察できない。**雌雄異株**で雄の花嚢の中にはイチジクコバチの卵があり、これが内部で孵化すると花粉を着けて飛び立ち、雌の花嚢に入ることで受粉がなされる。またその寄生により雄花序が果実様にふくれる。雌花序が受粉すると内部に多数の果実が形成され径5　cm程になる。熟すと花序の壁が破れて外に出て果嚢に変わる。10月～1月の紫色の完熟雌果嚢は、甘みが強くまろやかな味わいがある。

**【オオイタビの成分】**

オオイタビは多数の5環性トリテルペノイドのほかクマリン類、そして、ルチンなどのフラボノイドが多く含まれている。花托は、メソイノシトール、**ルチン**、β-シトステロール、タラクセロール酢酸エステル、β-アミリン酢酸エステルを含む。種子はゲル状物質を含み、加水分解するとブドウ糖、果糖、アラビノースを生じる。その他、アルカロイド、フラボン配糖体、粘液を含む。

**【オオイタビの効能効果】**

リウマチによるしびれと痛み、下痢、淋病、打撲傷に用いる。強壮、風邪、糖尿病に茎葉の煎汁を服用する。その他、のぼせ、高血圧症、熱さまし、暑さ負け、腎臓病、膀胱炎、排尿痛、肺結核、肝臓病に薬効があるとされる。中国では、若果を抗癌剤として応用している。

**【I型コラーゲン産生促進剤、抗老化剤およびしわ改善剤】**

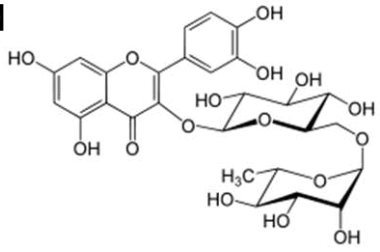
しわ・たるみの成因の一つは、加齢にともない皮膚組織が菲薄化することによる。老化した皮膚において、真皮の主要なマトリックス成分であるI 型コラーゲン線維の減少が著しい。 I型コラーゲンの産生を促進させ量を維持することが、しみ・たるみの予防・改善に有効であると考えられる。

また､さらにI型コラーゲンの産生促進は皮膚の創傷治癒の改善にも有効である。

リュウキュウチク､**オオイタビ**及びツルナの植物体又はその抽出物は、 I型コラーゲン産生促進剤､抗老化剤､しわ改善剤としての効果がある。

オオイタビは**ヒアルロン酸産生能増強剤**として効果が確認され、また**ビタミンCトランスポーター産生促進剤**としての効果も確認され、それぞれ特許を獲得し用いられている。

**【ルチン】**



・ヒトでは、ルチンは鉄イオンFe2+に取り付くことでFe2+の過酸化水素への結合を妨げ、細胞に傷害を与えるフリーラジカルの生成を抑えることになり、**抗酸化作用**を示す。
・ルチンはin vitroにおいて細胞毒性を示さない濃度で血管内皮細胞増殖因子(VEGF) を阻害し、**血管新生阻害剤**として働くことが確認された。ルチンがある種のがんの増殖および転移を制御できる可能性を示している。
・ルチンは痔、静脈怒張、細小血管障害の治療に有効に使用できる。
・高コレステロール食摂取ラットに、ルチンを摂取させたところ、糖尿病の指標である糖耐性に改善が見られ、肝臓および心血管組織機能にも改善が見られた。また肝臓及び心臓中の酸化ストレス・炎症が正常と同程度まで回復したことから、ルチンは**生活習慣病予防効果を持つ**と期待されている。
・糖尿病誘発ラットに対して、ルチンを50mg/kg摂取させたところ、血中のALT・AST、LDHに改善が見られたことから、ルチンは**糖尿病並びに肝臓心血管合併症予防効果**が期待されている。
・アルツハイマー病ラットに対して、ルチンを25mg/kg の量で経口投与したところ、脂質過酸化物であるTBARS、ADPリボシルポリメラーゼ、一酸化窒素レベル、グルタチオン、グルタチオンペルオキシダーゼ、グルタチオンレダクターゼの有意な改善が認められた。

さらに炎症性物質であるシクロオキシゲナーゼ2(COX2)やインターロイキン‐8(IL‐8)の増加が抑制されたことから、ルチンは抗炎症作用を持ち、**アルツハイマー病の予防に役立つ**ことが示唆された。

**【大気環境浄化能力】**

**環境浄化能力の高い植物：オオイタビ**へのイオンビーム照射による培養で、窒素酸化物(NOx)吸収能力の高い**特異種：ＫＮＯＸ(ノックス)**が生まれた。これは広島大学が、(独)日本原子力研究開発機構の協力のもと2000 ～ 2006年にかけて行った研究成果により発明された世界初の成果である。

**一般的な植物の約２倍の窒素酸化物(NOx)吸収能力を持つオオイタビ**に対し､更に1.4～1.8倍の吸収能力が確認されている。

**CO2を体内で分解し、酸素を大気へ放出**する量の多さも確認されている。

**【コラーゲン豆知識】**

人の体をつくっているコラーゲンは、約30種類の異なるポリペプチド鎖の組み合わせにより、19種類の型が存在し､Ⅰ型､Ⅱ型､Ⅲ型と分類されている。

**Ⅰ型**コラーゲン(線維性)：体内に最も大量に存在する。骨や皮膚を形成し、弾力性を持たせる働きがある。
**Ⅱ型**コラーゲン(線維性)：関節・軟骨に主に含まれる。眼の角膜、硝子体の成分でもある。
**Ⅲ型**コラーゲン(線維性)：臓器に主に含まれている。細い線維で、組織に柔軟性を与える。
**IV型**コラーゲン(非線維性)：皮膚の表皮と真皮をつなぎとめる役割を持った、基底膜に存在するコラーゲン。
**V型**コラーゲン(線維性)：血管、平滑筋、胎盤に主に含まれている。I型、Ⅲ型コラーゲンの含まれる組織に、極少量含まれている。

参考　沖縄の山菜類データベース、生命科学関連特許情報、奄美群島生物資源webデータベース・ガジ丸が思う沖縄、株式会社ウチダ和漢薬生薬の玉手箱､わかさの秘密、牧野和漢薬草大図鑑､山田養蜂場の気になる健康情報

薬連だより

# 政幸だより

## 薬剤師の確保

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸

薬剤師の地域偏在、特に病院薬剤師の確保の問題は、令和３年６月の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会のとりまとめ」でも指摘されており、また、令和３年度予算事業である「薬剤師確保のための調査・検討事業」によると、全く足りない、足りないと回答された割合が、病院では64.8%、薬局では41.2%であったとのアンケート結果が出されています。

私が候補者として全国訪問をしていた時も、薬剤師不足という声を多くの方々からお聞きしました。昨年10月27日に国会議員となって初めて厚生労働委員会で質問する機会を得ましたが、その中で、医薬品の供給に責任を持っている薬剤師の確保に関して医療計画に規定することが必要ではないかと質問しました。厚労省の医政局長からは、現在第八次医療計画等に関する検討会において次期医療計画作成指針に盛り込むべき事項について検討を進めており、薬剤師の確保に関して明確に記載してはどうかといった意見が上がっており、特段大きな異論はない旨の答弁をいただきました。

そして、昨年12月に上記の検討会に提出された「意見のとりまとめ（案)」には、薬剤師の確保の観点から、病院薬剤師及び薬局薬剤師それぞれの役割を明確にし、就労状況の把握及び地域の実情に応じた薬剤師の確保策を講じること、地域医療介護総合確保基金の積極的な活用、都道府県の薬務主管課と医療政策主管課が連携して取り組むこと等が必要である。取組の検討及び実施に当たっては、都道府県、都道府県薬剤師会・病院薬剤師会、関係団体等が連携する旨が記載されています。

今後、厚生労働省においては第八次医療計画の作成指針がまとめられることになりますが、薬剤師不足の状況が早期に改善されることを期待しております。

# オレンジ日記

## 2023年抱負

参議院議員・薬剤師
本田 顕子

寄稿を続けさせていただいているオレンジ日記も早６回目の年越しとなりました。月に１回、思い（想い）を文章にして会員の皆様に読んでいただけるコーナーがあることは大変ありがたいことです。皆様への感謝の気持ちを込めて、今年は熱く語る年にしたいと思います。

大晦日に年内訪問が叶わなかった薬局数軒に電話をかけました。留守電にメッセージを残す気持ちでかけたところ、「はい、〇〇薬局です」、「うちは大晦日に関わらずあけています」、「年末年始に備えて特に抗原検査キットの需要が多く、皆さんのためにあけています」というお言葉でした。転送先の携帯電話につながる薬局もありました。休みなく医療対応が続く光景は各地とも同じであったと思います。ご対応なさった先生方に感謝を申し上げます。

４月に統一地方選挙があります。地域経済や教育、医療、福祉など暮らしに直結する政策を競う選挙ですので党としても重要な政治日程と捉えています。そして、世界を見据えると５月にG7サミットが広島、保健大臣会合が長崎で開催されます。G7サミットは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7首脳が一つのテーブルを囲んで、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について率直に意見を交わす場です。これらに薬剤師議員として関われることを大変うれしく思っています。パンデミックを含めた将来への予防、備え、対応を強化していくことを国内外に発信する機会になるようにしっかり取り組ませていただきます。

今年は兎年です。跳ねる年にしていくため、この冬を大切にしてまいります。

薬剤師として政策提言を続け、国民の皆様の命と暮らしを守り、心豊かな日本を次世代につないでまいります。

## ぶれいくたいむ

地元紙に掲載された会員の投稿を紹介します！

**転載記事**

### 茶のみ話

スマートフォン

池間きよ（76）

2022・12・21　沖縄タイムス

いまだに電話・メール以外のスマホ機能を使いこなせていないので、このままでは世の中の情報に疎くなって取り残されてしまうのではないかという不安に駆られる。スマホには「エントリーしてポイントをゲットしよう！」などというメールが毎日届くが、触らぬ神にたたりなしの心境である。

「マイナポイントをスマホで手続き」は仕方なく役所に行って、手取り足取り教えていただいて申請にこぎ着けた。最近では各市町村が行っている「事業者応援商品券」。市町村によって内容に違いがあるようであるが、U市ではプレミアム率30％と60％の2種類があり、専用のはがきによる応募とスマホからの応募のどちらからもできた。

もちろんはがきで応募したのだが、はがきによる応募は各世帯1枚、ところが後で知ったのだが、電子商品券の応募は個人単位で、スマホを持っている家族全員が応募でき、しかも1人2口まで応募可能だったという。販売額は電子商品券も紙商品券も、同数なのだが、はがきによる応募が多かったと思われる。

スマホで応募した人は、応募した分全てゲットしたという話を聞いた。その後2次販売があったので、今度こそはと、電子商品券応募に挑戦したが、途中で諦めてしまった。やっとパソコンを使いこなせるようになったのに、今度はスマホ教室に行かないといけないようである。

（浦添市）

### 茶のみ話

アルバイト

池間きよ（76）

2023・1・25　沖縄タイムス

私が初めてアルバイトをしたのは小学生の時、映画館の切符売り場であった。あの頃は切符とお金をやりとりする小さな小窓があるだけだったので、きっと売り手が小学生とは気が付かなかったと思われる。

子どもが見ても問題ない映画を上映している時にお呼びがかかった。

当時は映画館ごとに、上映できる映画会社が決まっていて、私が行く映画館は「大映」と「日活」と決まっていた。「大映」といえば看板俳優は「市川雷蔵」「勝新太郎」「若尾文子」「長谷川一夫」等々、「日活」は「小林旭」「石原裕次郎」「浅丘ルリ子」「赤木圭一郎」「吉永小百合」等々。

日曜日は朝早く、一人で電車を乗り継いで映画館に向かった。午前中切符売り場の仕事をしてお昼になると天丼が出てくる。これがまたおいしい！　適当な時間になるとお菓子を持たされて映画鑑賞の時間になる。「眠狂四郎」「雪之丞変化」「銭形平次」「赤銅鈴之助」「狸御殿」「キューポラのある街」等々。当時は3本立てが多かったので、見終わる頃には頭はガンガン割れそうに痛いし、目はチカチカして明かりがまぶしい。

帰りは父親か母親が来ていて、帰る途中でラーメンかおそばを一緒に食べて帰路に就いた。親と2人きりになるというのはめったにないことなので、とてもうれしい時間であった。

（浦添市）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

医療保険

# 調剤報酬請求業務Q&A

沖縄県薬剤師会医療保険委員会では、適切な調剤報酬請求業務に努めて頂くよう、審査支払機関から査定や返戻の多い事例を本会報誌にシリーズで掲載しています。

なお、調剤報酬請求業務について、ご質問がある場合には、後頁掲載の質問票をご利用のうえ、FAXまたはメールにて本会事務局へご提出下さいますようよろしくお願い致します。

【重複投薬・相互作用等防止加算】についての例です。

**事例1**

| 処方 | 調剤数量 | 調剤料 | 加算料 |
|---|---|---|---|
| ［内服］1日2回朝夕食後<br>オロパタジン塩酸塩錠5ｍｇ　2錠 | 14 | 24<br>28 | |
| ［外用］1日1回　塗布<br>デキサメタゾンプロピオン酸エステル軟膏0.1%　10ｇ<br>レスタミンコーワクリーム1%　10ｇ | 1 | 10 | 計　80 |

摘要：治療継続のため問い合わせしデキサメタゾン・レスタミン追加

**事例2**

| 処方 | 調剤数量 | 調剤料 | 加算料 |
|---|---|---|---|
| ［外用］1日1回　塗布　顔<br>ベピオゲル2.5%　10ｇ | 1 | 10 | |
| ［外用］1日1～2回　塗布　顔<br>ヒルドイドローション0.3%　50ｇ | 1 | 10 | |

摘要：診察時ベピオゲル副作用予防のため保湿剤処方と説明あり。
今回処方なく問い合わせにてヒルドイドローション追加確認済み。

重複投薬・相互作用等防止加算・残薬調整以外（防Ａ　40点）の算定をされた例です。

投薬時に処方されていない薬があることを聞き取り、疑義照会にて追加になった内容かと思います。

残薬調整や患者の要望等による薬剤の追加や処方医の処方もれによる薬剤の追加は、「薬学的観点から必要と認める事項」とは言い難いことから、算定要件には該当しないものと取り扱うことになります。

# 調剤報酬請求業務質問票

調剤報酬請求業務についてご質問事項がございましたら、下記までご質問を受付致します。
薬局名・電話番号・担当者名を必ずご記入ください。

質問受付メールアドレス
**nagamine@okiyaku.or.jp**

FAXにてご質問いただく場合は、このページをコピーしてご利用ください。
**FAX返信先：０９８－９６３－８９３２**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 薬局名 | | 電 話 番 号 | |
| 担当者 | | メールアドレス | |

【ご質問事項】

**令和4年12月**

1木○令和4年度 都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者研修会　県薬研修室　吉田理事、笠原大吾、杉森千里、事務局金城

1木○辞令交付式　県薬会長室　前濱会長、大城事務局長、伊江主任

3土○令和4年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議　福岡県薬剤師会館　前濱会長、村田部会長、知名理事

4日○**青年薬剤師部会第17回総会**　県薬ホール　上原青年部会長、西川青年部副部会長、宮城勇己、金城春樹、喜友名朝史

4日○**沖縄県青年薬剤師部会主催研修会**　県薬ホール　講師：島袋朝太郎（中頭病院）

5月○ファミリーハウス「がじゅまるの家」抗原定性検査キット贈呈　ファミリーハウス「がじゅまるの家」 前濱会長、大城事務局長

5月○令和4年度第10回理事会準備委員会　県薬研修室

6火○沖縄タイムス週刊ほ～むぷらざ記者来訪「新型コロナウイルス感染第8波に向けての対策について」 県薬研修室　前濱会長、吉田理事、大城事務局長

6火○九州山口若手薬剤師協議会　Web　西川常務理事、上原理事

6火○オンライン資格確認システム及び電子処方箋に関する説明会　県薬ホール

7水○審査運営協議会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部　宮城常務理事

8木○軽症者発熱外来における投薬に関する沖縄県薬剤師会との調整会　那覇市医師会　前濱会長、盛本常務理事、姫野理事、吉田那覇地区薬剤師会会長、大城事務局長

8木○令和4年度第3回災害対策委員会　県薬研修室

10土○令和4年度第9回理事会　県薬研修室

12月○女性薬剤師部会お薬相談室打合せ　県薬会議室　村田副会長、草壁女性薬剤師部会長、狩俣イソ、髙木英子、与儀和子

13火○大分県立大分上野丘高等学校2年生（薬学・化学グループ）探究活動発表のため来訪　県薬研修室　古謝玄太那覇市副市長、中村副会長、佐藤常務理事

13火○薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー in沖縄 事前打ち合わせ　県薬研修室　前濱会長、中村副会長、姫野理事

15木○会報「Spotlight」吉田久子先生､渡嘉敷見先生　取材　県薬会議室　前濱会長､吉田久子、渡嘉敷見、大城事務局長、伊江主任

17土○令和4年度第2回沖縄県認知症疾患医療連携協議会　Web　中尾滋久（保健福祉委員会）

18日○令和4年度第9回学校薬剤師部会役員会　県薬研修室

18日○**令和4年度第2回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会**　県薬ホール　中村副会長、潮平英郎（学術研修委員会委員長）

19月○令和4年度薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー in沖縄　県薬ホール　前濱会長、中村副会長、姫野理事

20火○令和4年度第3回九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会　Web　佐藤常務理事、宮城常務理事、兼城崇（薬学生実務実習受入委員会）

20火○令和4年度第9回管理者会議　県薬研修室　前濱会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田薬事情報センター長、大城次長、小泉試験検査センター長、玉寄課長、當山主任

20火○日本薬剤師会との抗原定性検査キットの販売体制の整備・充実に関する意見交換会　県薬研修室　前濱会長､佐藤常務理事･盛本常務理事､幸地理事､吉田理事､姫野理事､石川理事､名嘉理事、下地宮古地区薬剤師会会長、大城事務局長、長嶺主任

21水 ○ 日本薬剤師会との抗原定性検査キットの販売体制の整備・充実に関する意見交換会　県薬研修室　前濱会長、姫野理事、吉田理事、姫野理事、屋嘉比康作、大城事務局長、長嶺主任、屋嘉比（北部地区薬剤師会事務局）
21水 ○ 令和4年度第3回薬学生実務実習受入委員会　県薬研修室
22木 ○ 令和4年度第1回試験検査センター委員会　県薬研修室
23金 ○ **第181回健康とおくすり相談会**　琉球新報社
23金 ○ 令和4年度沖縄県医療安全推進協議会　県庁　中尾滋久（薬事情報委員会副委員長）
27火 ○ 沖縄県子育て支援課、沖縄県教育庁保健体育課訪問　県庁各課　村田学校薬剤師部会長、新垣学校薬剤師副部会長、事務局：長嶺主任・平安山
28水 ○ 琉球放送株式会社の取材対応「新型コロナウイルス感染症対策のための医療用抗原検査キットと解熱鎮痛剤等の備えについて」 県薬会長室　前濱会長

**令和5年1月**

8日 ○ 初薬師　県薬神殿
8日 ○ 第83回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(薬学教育者ワークショップ) in九州・山口　Web　上原卓朗、村田智哉
10火 ○ 令和4年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会　沖縄県後期高齢者医療広域連合　佐藤常務理事
10火 ○ 令和4年度第11回理事会準備委員会　県薬研修室
11水 ○ 審査運営協議会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部　宮城常務理事
11水 ○ 日本薬剤師会 令和4年度第4回都道府県会長協議会　Web　前濱会長
12木 ○ 沖縄県「県内国公立大学薬学部設置推進協議会」(第3回) 事前説明　県薬会議室　前濱会長、沖縄県保健医療部衛生薬務課：池間専門官・津波主幹、大城事務局長
14土 ○ 令和4年度第10回理事会　県薬研修室
15日 ○ **沖縄県薬業連合会主催 令和2・3・4年度薬事功労受賞者合同祝賀会**　ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 首里の間
16月 ○ 沖縄県「県内国公立大学薬学部設置推進協議会」(第3回)　沖縄県市町村自治会館　前濱会長、中村副会長、大城事務局長
16月 ○ 令和4年度「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】」における事業1に係る説明会（Zoomウェビナー） Web　西川常務理事、盛本常務理事、喜友名朝史
17火 ○ 令和4年度第10回管理者会議　県薬研修室　前濱会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田薬事情報センター長、小泉試験検査センター長代理、大城事務局長、玉寄課長、幸地・當山主任医療事務
18水 ○ 安東賢太郎千葉科学大学薬学部教授来訪　県薬会長室　前濱会長、佐藤常務理事、大城事務局長
18水 ○ 令和4年度日本薬剤師会生涯学習担当者全国会議　Web　知名理事
18水 ○ 令和4年度第5回広報委員会　県薬研修室
19木 ○ 令和4年度沖縄県薬事審議会事前打ち合わせ　県薬会議室　前濱会長、泉水由美子、大城事務局長
19木 ○ 会営薬局医療センター前無菌調剤室に関する打合せ　県薬会議室　前濱会長、川満副会長、大城事務局長、玉寄課長

19木 ○ 令和4年度第1回薬学部創設推進特別委員会　県薬会議室
19木 ○ 令和4年度第3回医療保険委員会　県薬研修室
22日 ○ 令和4年度第10回学校薬剤師部会役員会　県薬研修室
23月 ○ 令和4年度沖縄県薬事審議会　八汐荘　前濱会長、中村副会長、村田副会長
25水 ○ 沖縄県国民健康保険団体連合会来訪　県薬会議室　大城事務局長、長嶺主任
25水 ○ 令和4年度第3回保健福祉委員会　県薬研修室
26木 ○ 令和4年度第2回沖縄県国民健康保険運営協議会　沖縄県市町村自治会館　宮城常務理事
27金 ○ 沖縄県UIターンガイダンス（崇城大学）　県薬会議室・Web　石川理奈（沖縄県保健医療部衛生薬務課）、大城事務局長、伊江主任
29日 ○ 乳児検診相談員募集のための勉強会　県薬研修室　村田副会長、草壁女性薬剤師部会長
31火 ○ 令和4年度第1回沖縄県自殺対策連絡協議会　Web　島袋理事

## 沖縄県薬剤師連盟

**令和4年12月**

3土 ○ 沖縄未来セミナー　パシフィックホテル沖縄　石川幹事長、大城事務局長
24土 ○ 衆議院議員ミヤザキ政久激励の集い　ダブルツリー byヒルトン那覇首里城　川満副会長、石川幹事長、知名組織強化担当

**令和5年1月**

6金 ○ 2023「公明党沖縄本部賀詞交歓会」　アイム・ユニバース てだこホール　前濱会長
7土 ○ 島尻あい子新春の集い　沖縄市民会館中ホール　前濱会長
9月 ○ 衆議院議員コクバ幸之助 令和5年新春の集い　沖縄県市町村自治会館　川満副会長
14土 ○ 衆議院議員ミヤザキ政久 令和5年新春の集い　浦添市社会福祉協議会　川満副会長
26木 ○ **沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム**　県薬ホール　講師：荻野構一日本薬剤師連盟副会長、古謝玄太那覇市副市長

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

内間 俊和 先生（享年75歳）　令和４年12月25日ご逝去

**会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について**

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
（香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】沖縄県薬剤師会事務局（玉寄・大城）：098-963-8930

## 職員人事

# 大城喜仁氏が事務局長に就任

本会事務局職員の大城喜仁氏が、令和４年11月12日開催の令和４年度第８回理事会において、同年12月１日付けで事務局長に就任することが全員一致で承認された。

大城氏の就任について、前濱朋子会長は、「大城氏は事務局次長として、不在であった事務局長と同等の立場で、長年、他の団体等との連携や調整を行ってきた。実際の働きぶりも事務局長と遜色がない。組織としての対外的な関わりにおいて、役職は重要な要素である。」と期待を寄せた。

また、同理事会における就任挨拶で大城氏は、「事務局長という大役を拝命し、たいへん身の引き締まる思いである。改めて、会組織の中における事務局の立ち位置を確認し、会員のため、そして、薬剤師職能向上のために、職員の職務分掌および強化を図ると共に、現在空席となっている専務理事を迎えるための体制を整えたい。改めて、役員方々の相変わらぬご指導ご鞭撻を職員共に賜りたい。」と抱負を述べた。　（文：事務局 伊江 朝士）

辞令を手にする大城喜仁氏（左）と前濱朋子会長

## お知らせ

# Facebook をご覧下さい！

**下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。**
**https://www.facebook.com/okinawaopa**

# 誌上ギャラリー（裏表紙）について

令和4年 誌上ギャラリー大賞

第315号（令和4年11・12月号）掲載　**宮本 直樹氏の撮影写真「光と造形美」**

令和4年 誌上ギャラリー優秀賞

第314号（令和4年9・10月号）掲載　**安次富 大氏の撮影写真「Kumamoto castle illumination」**

おめでとうございます！ これからも会員の皆様からの多くの作品をお待ちしております!!

## 編　集　後　記

去った1月15日（日）にダブルツリーｂｙヒルトン那覇首里城、首里の間において、令和2年度・3年度・4年度薬事功労受賞者合同祝賀会が開催された。再びコロナ感染者、更に加えてインフルエンザ患者が増加しつつある最中での開催でしたので、参加人数を絞ってつつましやかな祝賀会であった。コロナ禍前は余興も盛りだくさんであったが、今回は「かぎやで風」だけ。かぎやで風といえば沖縄では定番で皆さん聞き飽きてもいるし、見飽きてもいる。踊っている最中会場内はガヤガヤとうるさく音楽も聞こえないほどである。何人の人が舞台を見ているのだろうかと数えることもある。それが今回まるで違っていた。

途中の経過は省くが行きがかり上、前濱会長とかぎやで風を踊ることになってしまった私は、シーンと静まりかえった中で曲が流れ出したので、思いがけない状況に緊張してしまい足が震えてしまった。しかしおかげさまで静まりかえった会場でつたない踊りを踊らせていただいて感謝であった。踊りの方は見るに堪えない踊りだったとしたらごめんなさい。　（ピアナ）

2023年マラソン初め！石垣島マラソン[フルの部]に出場してきました！（編集後記ではマラソンの事ばかり書いていますが普段はちゃんと仕事していますよ、一応ね、一応）

今回のスターターはダイナミック琉球でも有名な歌手の成底ゆう子さん。司会の方とのトークをしたり、ダイナミック琉球をアカペラでワンフレーズ歌ってくださったりして、ランナーも「本物は歌うまいねぇ！」とか盛り上がっていていました。すると突然司会の方から「それでは10秒前からみんなでカウントダウンしていきましょう！そろそろ体を温めていてくださいね？それでは！ 10、9、8、、、」といきなりカウントダウンが始まって慌ただしいスタートとなりました(^^;

どんな大会でも「１分前です」「30秒前です」とかあるので、周りのランナーも「え？」「10秒前？」「うそ？いきなり？」とザワついたままの驚きのスタートでしたね。まぁこれも離島マラソンの良さの1つということで、、、（どこがや！）

何事も準備が大切と感じた2023年の初マラソンでした。今年もよろしくお願い致します。
（ハンバーグ）

新年あけましておめでとうございます。令和も早くも５年になりました。自分は今年で30歳を迎えるので、新しいことにチャレンジしていきたい！と思っていた矢先、正月から差し歯は取れ、そして挙句の果てには結膜炎になるという新年の幕開けでした。そんな中迎えた2023年ですが、今年も充実した1年になるよう頑張っていこうと思います。

本年もよりよい会報になるよう努めていきたいと思いますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。　（ちゃげ）

---

お知らせ

## 沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい！

**下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。**

**https://www.facebook.com/okinawayakuren/**


## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105　沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10　http://www.okiyaku.or.jp　e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事　　務　　局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932　■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946　■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原1-26-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1　TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026



**おきなわ薬剤師会報**　第316号　令和5年2月20日発行

◇次号は、令和5年4月下旬発行予定です。

**発行人：沖縄県薬剤師会　会長　前濱朋子**

**編　集：**広報委員会　委員長／宮城敦子　委員／池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・運天芳生・宮本直樹
久米島通信員／山城晶　宮古地区通信員／前里由紀子
八重山地区通信員／安村慶子　事務局／伊江朝士

**印 刷：**株式会社 東洋企画印刷

# 令和4年 誌上ギャラリー大賞

「光と造形美」photo by 宮本 直樹(クララ薬局ティエラ)
第315号(令和4年11・12月号)掲載

# 令和4年 誌上ギャラリー優秀賞

「Kumamoto castle illumination」photo by 安次富 大(すこやか薬局)
第314号(令和4年9・10月号)掲載

定価四〇〇円(会員の購読料は含会費)